

第 12 回 新座市民意識調査

報 告 書

平成 21 年 3 月

新 座 市

はじめに

新座市では、「オープンドアの市政」を基本に、市民の皆様から市政に対する意見・提言を頂く市長への手紙・ファックス・メール制度を始め、市長市政懇談会の開催や、パブリック・コメント制度などの広聴活動を通して、市民の皆様と意見のキャッチボールを行いながら、「連帯と協働のまちづくり」を進めております。

現在、経済情勢の悪化や、少子高齢社会の急速な進展、地方分権の推進など、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化する中、行政に対するニーズは多様化、高度化してきております。

今回の第12回新座市民意識調査は、市民の皆様のまちづくりに対する意見や要望を把握することにより、これらの時代の変化、市民ニーズの変化に的確に対応するために実施したものです。

調査結果につきましては、「元気の出るまちづくり」を進めるための貴重な資料とさせていただくとともに、平成23年度を初年度とする「第4次基本構想総合振興計画」の策定の基礎資料として活用し、これからの市政運営に役立ててまいりたいと考えております。

最後に、この調査に御協力を頂きました市民の皆様に、心から御礼を申し上げます。

平成21年3月

新座市長 須田 健 治

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	回収状況	1
4	標本抽出	1
5	標本誤差	2
6	報告書の見方	2
II	調査回答者の属性	3
1	性別	3
2	年齢	3
3	居住地域	3
4	職業	4
5	居住年数	4
6	住居形態	4
7	家族構成	5
8	通勤・通学先	5
III	調査の分析	6
1	定住意識について	6
(1)	新座市の住み心地	6
(2)	住みよいと感じる理由	10
(3)	住みにくいと感じる理由	13
(4)	定住意向	16
2	市の窓口サービスについて	20
(1)	窓口サービスの評価	20
(2)	職員の対応を「不満」に思う理由	25
(3)	事務処理の対応を「不満」に思う理由	28
(4)	窓口サービスへの要望	30
3	広聴について	32
(1)	市政への苦情や要望の申し出方法	32
4	市民相談について	34
(1)	利用したい相談内容	34
5	情報公開・個人情報保護制度について	37
(1)	情報公開制度の利用意向	37
6	市政情報について	39
(1)	市政に関する情報やイベント情報の入手方法	39

(2)	日常生活の中で必要な情報.....	41
(3)	市ホームページで今後利用したい情報・サービス.....	44
(4)	市政情報の提供で力を入れるべきもの.....	46
7	学校教育について.....	48
(1)	学校教育で力を入れるべき内容.....	48
8	人権について.....	51
(1)	関心のある人権問題.....	51
9	環境問題について.....	53
(1)	環境問題の関心課題.....	53
(2)	市に望む環境に関する施策.....	55
(3)	環境に負荷をかけないために実践、心がけていること.....	57
10	地域の商店街について.....	60
(1)	身近な商店街での買い物について.....	60
(2)	商店街に求めること.....	62
11	市民参加について.....	64
(1)	市民活動への参加について.....	64
(2)	市政への参加形態.....	66
(3)	市政への市民参加を進めるために力を入れるべき内容.....	68
(4)	地域活動に参加する場合の活動内容.....	70
(5)	地域活動への市の支援策.....	72
12	地下鉄の延伸について.....	74
(1)	延伸促進活動の認知.....	74
(2)	延伸することへの賛否.....	76
13	スマートインターチェンジの設置について.....	78
(1)	スマートインターチェンジ設置の取組みの認知.....	78
(2)	スマートインターチェンジ設置の賛否.....	80
14	新座らしさについて.....	82
(1)	新座らしさを感じるもの.....	82
15	新座市のイメージについて.....	85
(1)	新座市のイメージ.....	85
(2)	望むまちの将来像.....	87
16	市政への要望について.....	89
(1)	施策の満足度と重要度.....	89
	(参考) 使用した調査票.....	99

Ⅰ 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の生活環境に対する意識や市政への要望、評価等を把握し、今後の市政運営の基礎的資料を収集することを目的とした。

2 調査の設計


- (1) 調査対象 6,000 人（新座市に居住する無作為抽出による 20 歳以上の市民）
- (2) 調査方法 郵送によるアンケート調査
- (3) 調査期間 平成 21 年 2 月 13 日～2 月 27 日

3 回収状況

- (1) 配布数 6,000 件
- (2) 回収数 3,073 件
- (3) 回収率 51.2%

4 標本抽出

対象者の抽出にあたって、市内を第 3 次新座市基本構想総合振興計画で定めた地域区分による 7 地域に分類し、各地域における 20 歳以上の人口（平成 20 年 12 月 1 日現在）により、6,000 の標本を比例配分した。各地域の配布数と回収数を以下に示す。

地域区分	配布数	回収数	回収率	
	市全体	6,000	3,073	51.2%
	北東地域	1,468	723	49.3%
	北西地域	692	474	68.5%
	東部地域	501	230	45.9%
	中央地域	620	316	51.0%
	西部地域	402	194	48.3%
	南部地域	1,666	782	46.9%
	南西地域	651	313	48.1%
	不 明	-	41	-

5 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体(新座市に住む 20 歳以上の男女)の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の<算出式>と<早見表>を次に示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数(サンプル数)及び回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は±1.80%以内となる。

<標本誤差算出式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N = 母集団数(新座市の 20 歳以上の男女)
n = 比率算出の基数(回答サンプル数)
p = 回答の比率(0 ≤ p ≤ 1)

<誤差早見表>

回答比率(p) 標本数(n)	5%又は 95%程度	10%又は 90%程度	20%又は 80%程度	30%又は 70%程度	40%又は 60%程度	50%程度
100	±4.36%	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
200	±3.08%	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
500	±1.95%	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
1,000	±1.38%	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
3,073	±0.79%	±1.08%	±1.44%	±1.65%	±1.77%	±1.80%
5,000	±0.62%	±0.85%	±1.13%	±1.30%	±1.39%	±1.41%
10,000	±0.44%	±0.60%	±0.80%	±0.92%	±0.98%	±1.00%

上表は $\frac{N - n}{N - 1}$ 1 として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95%である。

6 報告書の見方

- (1) 図表中の N とは、回答者総数のことである。
- (2) 割合は N を 100.0%として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が 100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答が 2 つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は 100.0%を超える場合がある。
- (4) 統計学上 50 サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低い。そのため、クロス集計については、50 サンプル以上を記述(コメント)の対象としている。
- (5) 属性別(クロス集計)の記述では、原則として全体の集計結果と比較し、特徴又は傾向が見られるものをコメントの対象としている。
- (6) 【経年変化】、【属性別の傾向】については、ページレイアウトの都合により、順番を変更している場合がある。

II 調査回答者の属性

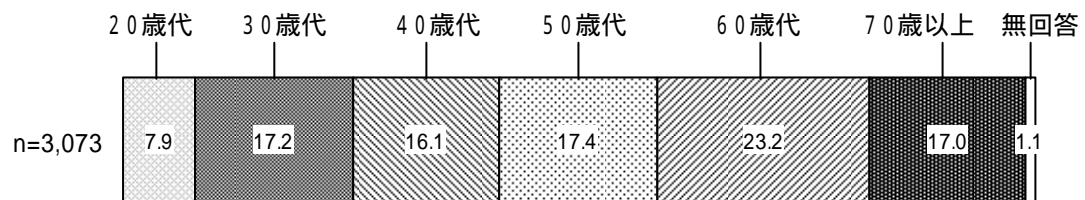
1 性別

図 1 性別



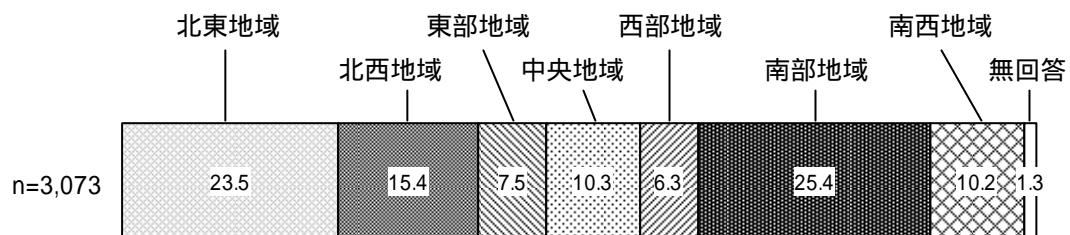
2 年齢

図 2 年齢



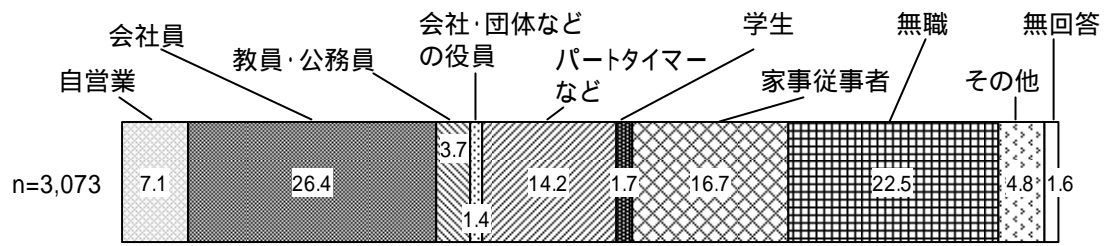
3 居住地域

図 3 居住地域



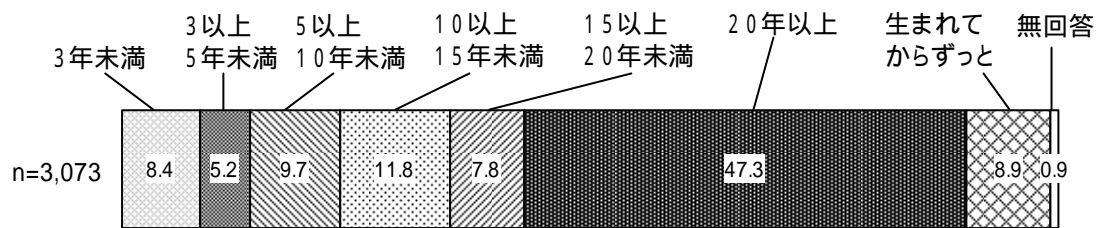
4 職業

図 4 職業



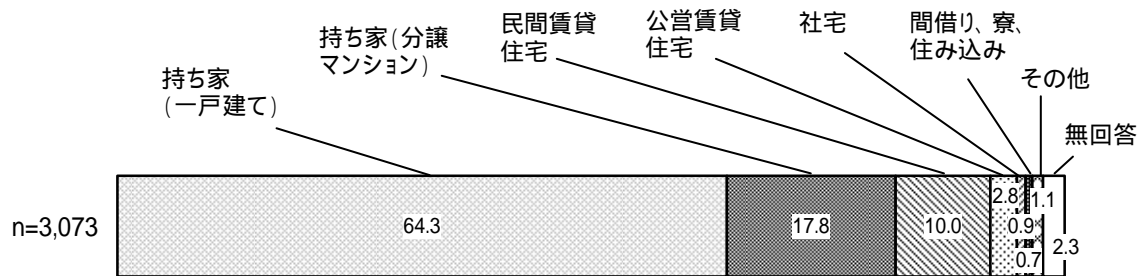
5 居住年数

図 5 居住年数



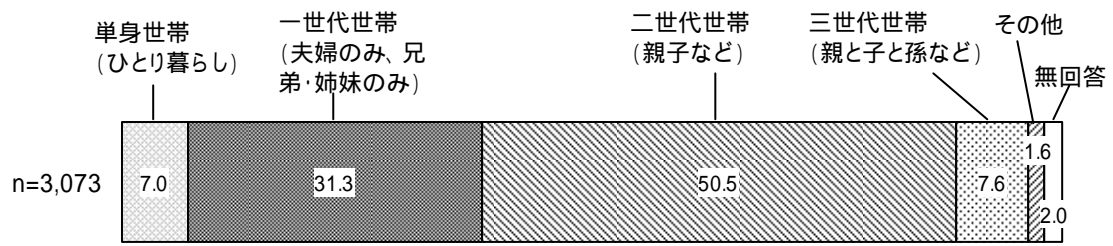
6 住居形態

図 6 住居形態



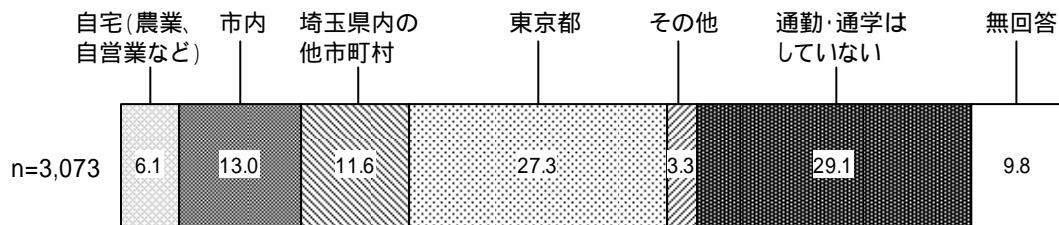
7 家族構成

図 7 家族構成



8 通勤・通学先

図 8 通勤通学先



III 調査の分析

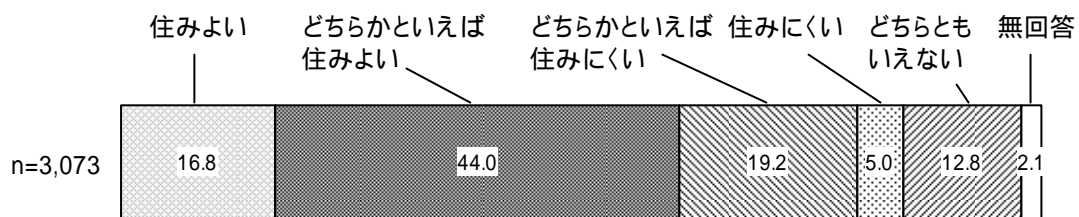
1 定住意識について

(1) 新座市の住み心地

問1 あなたは、新座市を住みよいと感じていますか。それとも住みにくいと感じていますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

新座市の住み心地については、「どちらかといえば住みよい」(44.0%)が最も高く、これに「どちらかといえば住みにくい」(19.2%)、「住みよい」(16.8%)、「どちらともいえない」(12.8%)、「住みにくい」(5.0%)が続いている。「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよい(計)』は60.8%で、6割以上であった。

図 9 新座市の住み心地



【属性別の傾向】

「性別」と「世帯構成別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、女性の70歳以上で「住みよい」が24.6%と高いのに対し、女性の30歳代(10.5%)、40歳代(11.6%)では低くなっている。男性の30歳代(25.7%)と女性の30歳代(26.5%)、40歳代(26.1%)では「どちらかといえば住みにくい」が全体に比べて高かった。

「居住年数別」では、生まれてからずっとで「住みよい」が28.9%と高く、「どちらかといえば住みにくい」が12.5%と低くなっている。

「居住地域別」では、北東地域で「どちらかといえば住みよい」が52.7%と高いのに対し、南西地域では34.8%と低い割合を示している。

図 10-1 属性別の新座市の住み心地(性別、性別・年齢別)

□ 住みよい ■ どちらかといえば住みよい ▨ どちらかといえば住みにくい ▩ 住みにくい ▪ どちらともいえない □ 無回答



【性別】



【性別・年齢別(男性)】



【性別・年齢別(女性)】

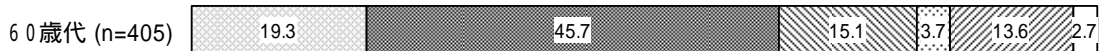
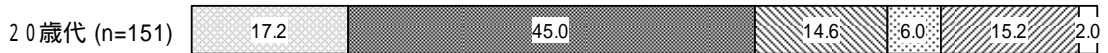
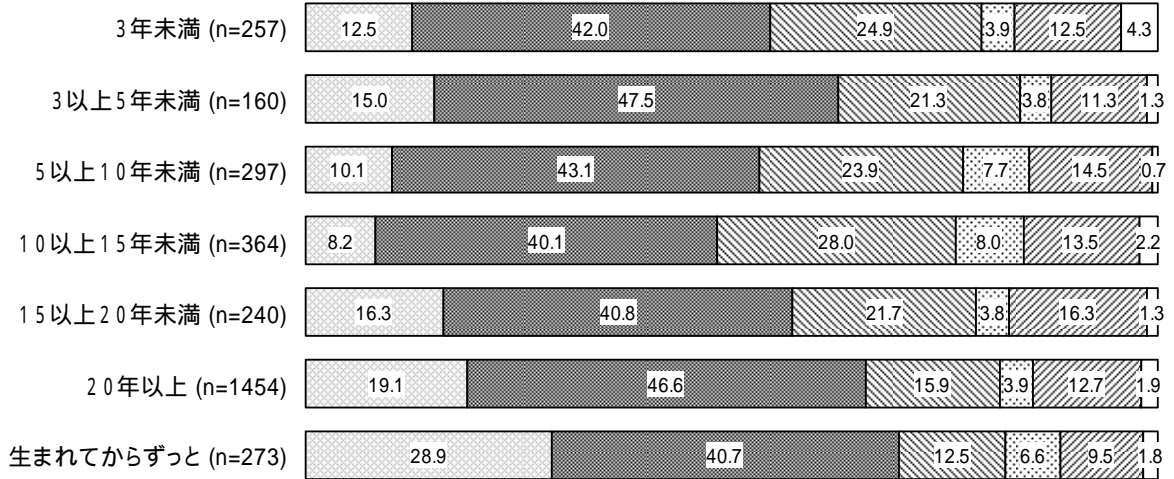


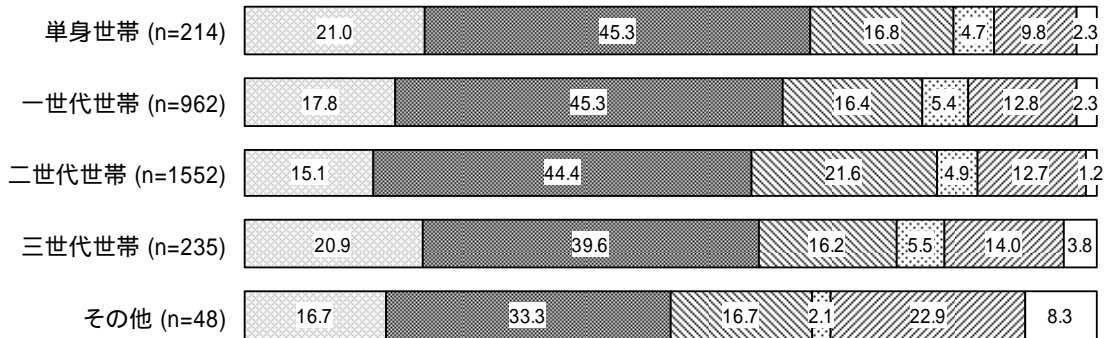
図 10-2 属性別の新座市の住み心地(居住年数別、世帯構成別、居住地域別)

□住みよい ■どちらかといえば住みよい ▨どちらかといえば住みにくい ▩住みにくい ▪どちらともいえない □無回答

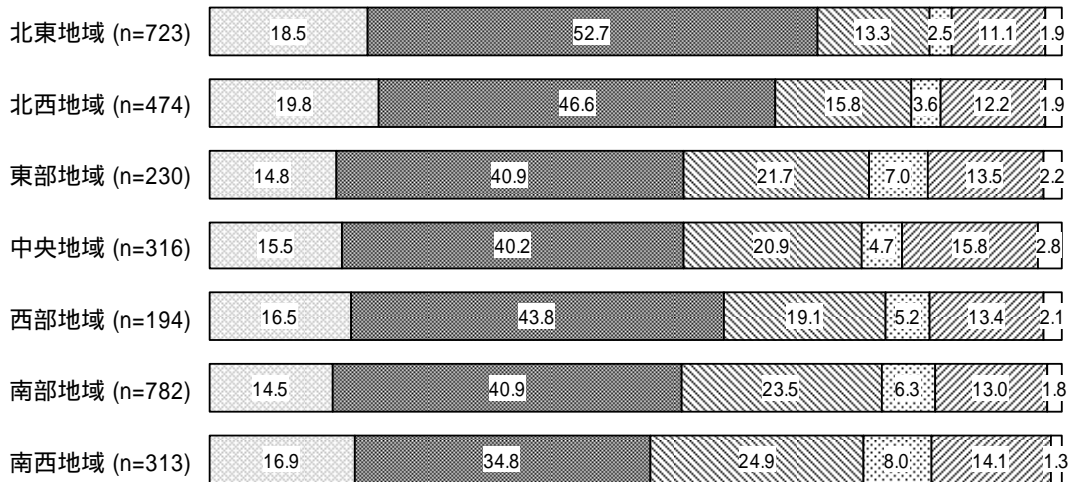
【居住年数別】



【世帯構成別】



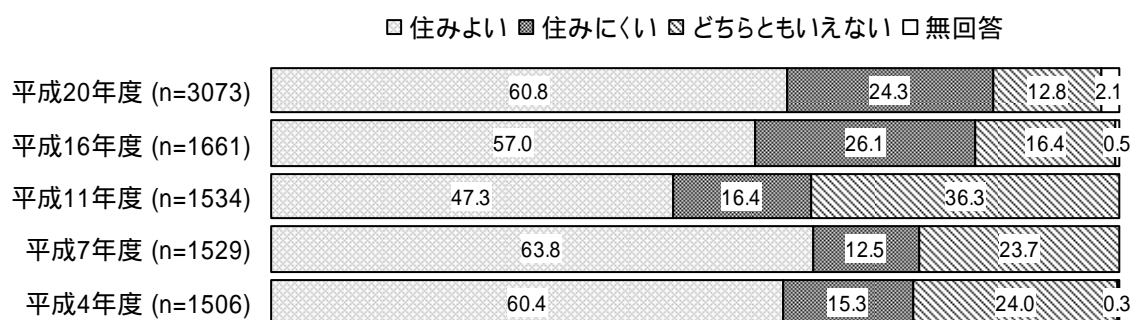
【居住地域別】



【経年比較】

過去4回の調査と比べた結果、平成11年度に「住みよい」が減少しているが、前回(平成16年度)から増加傾向となっている。「住みにくい」は前回に比べて1.8ポイントの減少となっている。

図 11 新座市の住み心地(経年比較)



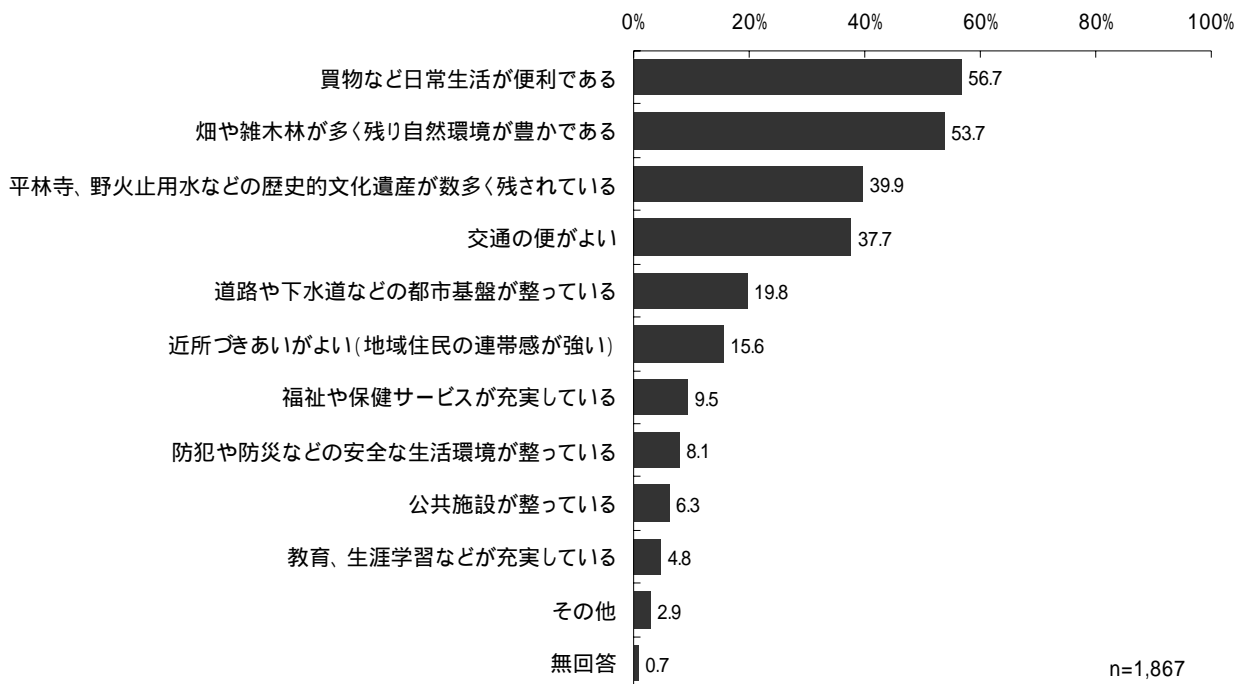
注:過年度比較では、平成20年度と平成16年度の選択肢「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を『住みよい』に、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を『住みにくい』として比較した。

(2) 住みよいと感じる理由

問 1-1 問 1 で「 1 住みよい」又は「 2 どちらかといえば住みよい」を選んだ方にうかがいます。どういう点で住みよと感じていますか。次の中から 3 つまで選んで、をつけてください。

前問で「住みよい」か「どちらかといえば住みよい」と答えた方は 1,867 件であった。住みよと感じる理由は、「買い物など日常生活が便利である」(56.7%)と「畑や雑木林が多く残り自然環境が豊かである」(53.7%)の 2 つが半数を超えて高くなっている。これに「平林寺、野火止用水などの歴史的文化的遺産が数多く残されている」(39.9%)と「交通の便がよい」(37.7%)の 2 つが続いている。

図 12 住みよと感じる理由



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の 70 歳以上で「買い物など日常生活が便利である」(45.6%)が、女性の 20 歳代(35.1%)と 70 歳以上(42.4%)で「畑や雑木林が多く残り自然環境がよい」が低くなっている。「平林寺、野火止用水などの歴史的文化的遺産が数多く残されている」は女性の 60 歳代(52.9%)と 70 歳以上(52.9%)で高かった。

「居住地区別」では、北東地域(73.0%)で「買い物など日常生活が便利である」が高いのに対し、中央地域(41.5%)、西部地域(41.0%)、南西地域(33.3%)で低くなっている。

表 1 属性別の住みよいと感じる理由

(単位:%)

属性		件数 (n)	買物など日常生活が便利である	畑や雑木林が多く残り自然環境が豊かである	平林寺、野火止用水などの歴史的文化遺産が数多く残されている	交通の便がよい	道路や下水道などの都市基盤が整っている	近所づきあいがよい(地域住民の連帯感が強い)	福祉や保健サービスが充実している	防犯や防災などの安全な生活環境が整っている	公共施設が整っている	教育、生涯学習などが充実している	その他	無回答
全体		1,867	56.7	53.7	39.9	37.7	19.8	15.6	9.5	8.1	6.3	4.8	2.9	0.7
性別	男性	767	52.7	56.3	39.1	38.3	21.8	14.6	9.8	8.7	5.2	4.7	3.7	0.8
	女性	1,083	59.5	51.7	40.2	37.5	18.2	16.2	9.5	7.4	7.1	5.0	2.4	0.7
年齢別(男性)	20歳代	58	55.2	46.6	27.6	43.1	20.7	8.6	5.2	19.0	5.2	3.4	5.2	1.7
	30歳代	104	53.8	51.0	32.7	46.2	17.3	14.4	3.8	1.0	2.9	6.7	3.8	0.0
	40歳代	115	48.7	60.0	31.3	38.3	18.3	13.9	12.2	7.8	4.3	2.6	5.2	0.0
	50歳代	123	56.9	61.0	38.2	43.1	15.4	13.8	4.9	6.5	3.3	2.4	3.3	1.6
	60歳代	205	56.1	62.0	44.9	33.7	24.4	15.6	10.2	8.8	7.3	3.9	2.4	0.5
	70歳以上	160	45.6	50.0	45.6	34.4	29.4	16.9	16.9	11.9	6.3	8.1	3.8	1.3
年齢別(女性)	20歳代	94	66.0	35.1	22.3	53.2	12.8	10.6	4.3	5.3	10.6	5.3	5.3	0.0
	30歳代	191	62.8	50.8	23.6	40.3	8.4	12.6	8.9	4.7	7.9	4.7	2.1	0.0
	40歳代	157	66.2	52.2	30.6	40.1	9.6	15.3	5.7	8.3	1.9	7.0	3.2	0.6
	50歳代	184	65.2	56.5	42.9	46.2	17.4	14.7	2.7	4.9	3.3	3.8	2.7	0.5
	60歳代	263	54.8	61.2	52.9	28.1	24.3	20.9	11.4	9.1	8.7	3.4	1.1	1.1
居住年数別	70歳以上	191	48.7	42.4	52.9	29.3	29.8	18.3	19.9	10.5	10.5	6.8	2.1	1.6
	3年未満	140	57.1	50.0	29.3	37.9	9.3	12.1	10.0	7.1	7.9	4.3	5.0	1.4
	3以上5年未満	100	56.0	59.0	33.0	34.0	9.0	14.0	12.0	10.0	4.0	9.0	0.0	0.0
	5以上10年未満	158	65.8	51.3	26.6	43.7	10.8	12.0	7.0	5.7	7.0	4.4	2.5	0.0
	10以上15年未満	176	62.5	61.9	38.1	35.2	15.3	12.5	10.2	6.3	4.0	4.0	2.8	0.0
	15以上20年未満	137	59.9	54.0	36.5	43.1	18.2	15.3	6.6	8.0	4.4	5.1	0.7	0.7
	20年以上	955	54.7	54.5	45.1	35.0	24.8	17.6	11.0	8.9	6.6	4.8	2.4	0.9
家族構成別	生まれてからずっと	190	52.1	43.2	37.9	47.4	18.9	15.8	4.7	6.8	7.9	4.2	7.4	1.1
	単身世帯	142	51.4	47.2	40.1	31.7	24.6	12.0	16.2	11.3	10.6	3.5	4.2	1.4
	一世代世帯	607	56.8	57.5	45.1	32.3	22.1	14.5	10.9	8.7	5.8	5.1	1.8	0.7
	二世帯世帯	924	57.9	53.5	37.2	39.7	17.2	17.0	7.5	7.1	6.1	4.8	3.2	0.9
	三世帯世帯	142	53.5	50.0	35.9	47.2	18.3	16.2	10.6	8.5	4.9	5.6	4.2	0.0
居住地域別	その他	24	62.5	41.7	29.2	54.2	29.2	16.7	12.5	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
	北東地域	515	73.0	40.4	35.3	57.5	19.2	10.3	8.0	4.9	5.0	4.3	2.1	0.0
	北西地域	315	62.2	46.7	34.0	45.7	15.9	15.9	8.3	10.5	6.0	4.8	2.9	1.6
	東部地域	128	57.8	56.3	35.9	19.5	32.0	17.2	13.3	13.3	8.6	7.0	2.3	0.0
	中央地域	176	41.5	61.9	49.4	25.0	19.9	17.0	12.5	8.0	9.7	3.4	2.8	1.1
	西部地域	117	41.0	65.0	53.8	29.9	18.8	14.5	11.1	6.8	5.1	6.8	2.6	0.9
	南部地域	433	52.7	60.3	38.8	27.3	20.3	20.3	8.8	7.4	6.2	4.6	4.6	0.9
南西地域	162	33.3	71.0	47.5	24.1	16.7	17.3	12.3	11.7	6.8	6.2	1.9	1.2	

【経年比較】

回答の選択肢に変更があるため同一には比べられないため、参考コメントとする。

過去4回の調査と比較すると、「買い物など日常生活が便利である」が前回同様最も高かった。また、2位以降もほぼ同じ傾向となっている。平成7年度、平成4年度に1位の「畑や雑木林が多く残り自然環境がよい」は今回の結果では第2位であった。

表2 住みよいと感ずる理由(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成20年度	平成16年度	平成11年度	平成7年度	平成4年度
買い物など日常生活が便利である	56.7	56.4 (1)	45.9 (3)	40.0 (4)	36.3 (4)
畑や雑木林が多く残り自然環境が豊かである	53.7	52.7 (2)	53.7 (2)	62.7 (1)	61.1 (1)
平林寺、野火止用水などの歴史的文化遺産が数多く残されている	39.9	40.5 (3)	-	-	-
交通の便がよい	37.7	37.0 (4)	43.3 (4)	41.1 (3)	40.0 (3)
道路や下水道などの都市基盤が整っている	19.8	19.0 (5)	22.8 (6)	15.8 (6)	13.6 (6)
近所づきあいがよい (地域住民の連帯感が強い)	15.6	16.1 (6)	24.8 (5)	22.7 (5)	25.3 (5)
福祉や保健サービスが充実している	9.5	10.4 (7)	8.6 (8)	9.5 (7)	6.8 (9)
防犯や防災などの安全な生活環境が整っている	8.1	6.3 (8)	-	-	-
公共施設が整っている	6.3	4.4 (10)	10.3 (7)	9.1 (8)	10.0 (7)
教育、生涯学習などが充実している	4.8	5.5 (9)	-	-	-
都心に近い	-	-	60.1 (1)	55.4 (2)	54.8 (2)
先祖代々の土地だから	-	-	8.6 (8)	4.9 (9)	8.0 (8)
地価や家賃が安い	-	-	4.8 (10)	4.4 (10)	5.1 (10)
その他	2.9	3.3 (11)	1.8 (11)	1.5 (11)	0.5 (11)

注:過去の()内の数字は、割合の高い順位を表わしている。以降の経年比較表についても同様である。

注:「-」印は調査項目なし。

今回の選択肢は過去4回と異なるものがある。過去4回を以下に示す。

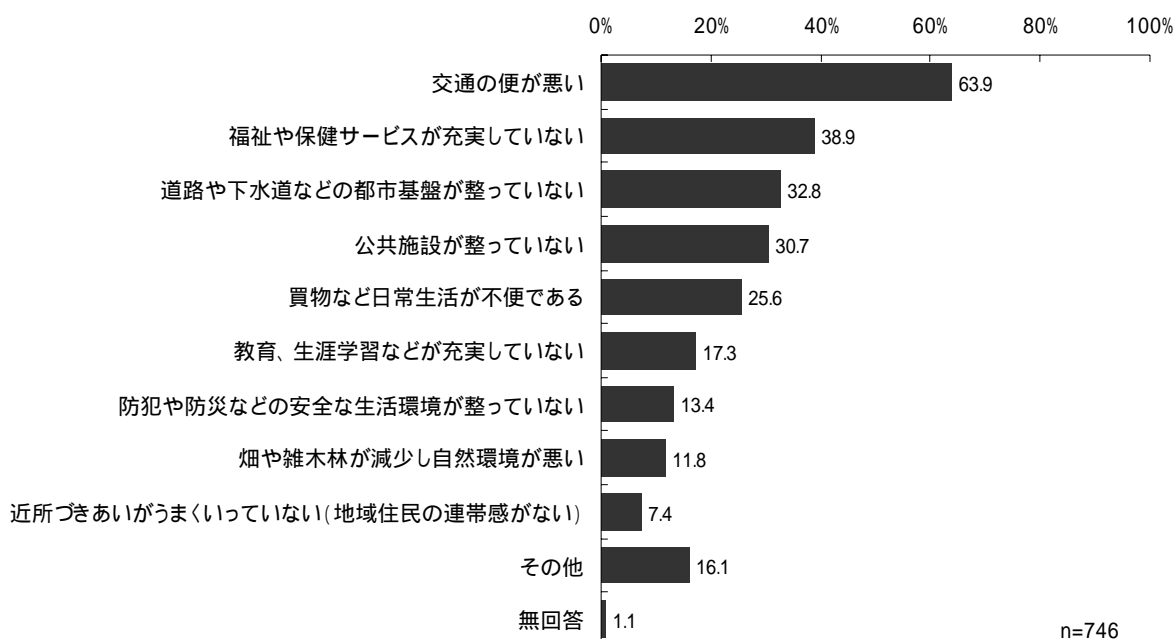
買い物など日常生活が便利である(買い物に便利) / 畑や雑木林が多く残り自然環境がよい(自然環境がよい) / 道路や下水道などの都市基盤が整っている(道路や下水道などが整備されている) / 近所づきあいがよい(近所とうまくやっている) / 福祉や保健サービスが充実している(福祉が充実している)

(3) 住みにくいと感じる理由

問1-2 問1で「3 どちらかといえば住みにくい」又は「4 住みにくい」と選んだ方
にうかがいます。どういう点で住みにくいと感じていますか。次の中から3つまで
選んで、をつけてください。

問1で「住みにくい」か「どちらかといえば住みにくい」と答えた方は746件であった。住みにくいと感じる理由は、「交通の便が悪い」(63.9%)が最も高く、これに「福祉や保健サービスが充実していない」(38.9%)、「道路や下水道などの都市基盤が整っていない」(32.8%)、「公共施設が整っていない」(30.7%)が3割以上を占めている。

図 13 住みにくいと感じる理由



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20歳代で「交通の便が悪い」が87.5%と高いのに対し、男性60歳代で51.9%と低くなっている。「福祉や保健サービスが充実していない」は、女性40歳代で52.0%と高かった。また男女の20歳代で「買い物など日常生活が不便である」がそれぞれ41.7%、45.2%と高くなっている。

「居住年数別」では、3年未満で「公共施設が整っていない」が43.2%で高くなっている。

「家族構成別」では、単身世帯で「その他」が26.1%と高かった。

「居住地区別」では、北東地域で「福祉や保健サービスが充実していない」(52.6%)、「公共施設が整っていない」(43.9%)が、東部地域で「福祉や保健サービスが充実していない」(51.5%)が、中央地域と南西地域で「買い物など日常生活が不便である」(45.7%、38.8%)が高い割合を示している。

表 3 属性別の住みにくいと感ずる理由

(単位:%)

属性		件数 (n)	交通の便が悪い	福祉や保健サービスが充実していない	道路や下水道などの都市基盤が整っていない	公共施設が整っていない	買物など日常生活が不便である	教育、生涯学習などが充実していない	防犯や防災などの安全な生活環境が整っていない	畑や雑木林が減少し自然環境が悪い	近所つきあいがうまくいっていない (地域住民の連帯感がない)	その他	無回答
全体		746	63.9	38.9	32.8	30.7	25.6	17.3	13.4	11.8	7.4	16.1	1.1
性別	男性	284	61.3	34.9	34.9	27.8	26.1	15.1	14.4	14.4	10.2	14.8	1.1
	女性	452	65.0	41.4	32.1	32.3	25.2	18.8	12.8	10.4	5.8	16.8	1.1
年齢別 (男性)	20歳代	24	87.5	16.7	33.3	20.8	41.7	12.5	8.3	8.3	4.2	20.8	0.0
	30歳代	58	60.3	37.9	27.6	27.6	20.7	17.2	10.3	3.4	5.2	24.1	3.4
	40歳代	56	57.1	37.5	32.1	33.9	17.9	28.6	23.2	16.1	5.4	12.5	0.0
	50歳代	59	57.6	30.5	44.1	30.5	27.1	15.3	11.9	18.6	15.3	10.2	1.7
	60歳代	52	51.9	38.5	38.5	26.9	26.9	7.7	17.3	21.2	15.4	9.6	0.0
	70歳以上	35	71.4	40.0	31.4	20.0	34.3	2.9	11.4	17.1	14.3	14.3	0.0
	年齢別 (女性)	20歳代	31	71.0	25.8	12.9	38.7	45.2	6.5	19.4	3.2	3.2	19.4
30歳代		110	60.9	47.3	24.5	31.8	20.0	21.8	12.7	7.3	1.8	21.8	2.7
40歳代		98	65.3	52.0	42.9	26.5	20.4	38.8	10.2	8.2	5.1	11.2	0.0
50歳代		88	67.0	33.0	40.9	42.0	25.0	18.2	11.4	11.4	6.8	15.9	0.0
60歳代		76	64.5	43.4	27.6	32.9	25.0	3.9	13.2	17.1	10.5	22.4	0.0
70歳以上		48	66.7	29.2	31.3	20.8	35.4	4.2	16.7	12.5	8.3	8.3	4.2
居住年数別	3年未満	74	63.5	31.1	24.3	43.2	25.7	12.2	10.8	4.1	6.8	17.6	1.4
	3以上5年未満	40	62.5	30.0	40.0	35.0	22.5	22.5	12.5	5.0	10.0	15.0	2.5
	5以上10年未満	94	56.4	43.6	35.1	19.1	19.1	24.5	22.3	6.4	10.6	17.0	0.0
	10以上15年未満	131	65.6	40.5	38.2	36.6	24.4	17.6	10.7	7.6	4.6	14.5	0.8
	15以上20年未満	61	72.1	39.3	32.8	37.7	26.2	18.0	9.8	11.5	4.9	14.8	1.6
	20年以上	287	64.8	41.1	32.4	28.6	27.2	14.6	14.3	17.8	9.1	16.0	0.7
	生まれてからずっと	52	61.5	30.8	26.9	19.2	30.8	21.2	7.7	17.3	1.9	15.4	3.8
家族構成別	単身世帯	46	67.4	28.3	23.9	10.9	28.3	6.5	17.4	4.3	15.2	26.1	0.0
	一世代世帯	210	60.5	39.5	30.5	32.9	27.1	11.9	12.9	16.2	10.0	20.0	1.4
	二世代世帯	412	66.0	39.8	35.2	33.3	24.0	21.8	12.4	9.5	5.6	13.3	0.7
	三世代世帯	51	58.8	39.2	35.3	15.7	29.4	17.6	19.6	13.7	7.8	15.7	2.0
	その他	9	66.7	55.6	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1
居住地域別	北東地域	114	42.1	52.6	36.8	43.9	13.2	20.2	14.9	14.9	10.5	15.8	0.9
	北西地域	92	64.1	43.5	29.3	32.6	25.0	17.4	13.0	12.0	2.2	19.6	1.1
	東部地域	66	72.7	51.5	21.2	24.2	16.7	16.7	6.1	15.2	6.1	13.6	1.5
	中央地域	81	69.1	22.2	35.8	14.8	45.7	18.5	11.1	14.8	7.4	9.9	4.9
	西部地域	47	70.2	31.9	40.4	31.9	34.0	17.0	17.0	6.4	6.4	17.0	0.0
	南部地域	233	67.0	35.6	35.6	34.3	19.7	18.0	13.3	9.9	9.0	15.9	0.4
	南西地域	103	70.9	35.0	29.1	22.3	38.8	12.6	17.5	10.7	5.8	17.5	0.0

【経年比較】

この設問も問 1-1 同様、回答選択肢に変更があり、同一に比較できないため、参考コメントとする。

過去 4 回の調査と比較では、「交通の便が悪い」が 1 位で変化が見られなかった。

過去 2 位の「道路や下水道などの都市基盤が整っていない」は、今回 3 位で、前回 3 位の「福祉や保健サービスが充実していない」が 2 位となっている。

表 4 住みにくいと感ずる理由(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成 20 年度	平成 16 年度	平成 11 年度	平成 7 年度	平成 4 年度
交通の便が悪い	63.9	65.2 (1)	63.1 (1)	58.1 (1)	59.3 (1)
福祉や保健サービスが充実していない	38.9	32.3 (3)	33.3 (5)	29.8 (5)	21.6 (5)
道路や下水道などの都市基盤が整っていない	32.8	36.9 (2)	57.1 (2)	49.7 (2)	54.1 (2)
公共施設が整っていない	30.7	31.8 (4)	43.3 (3)	37.2 (3)	36.8 (3)
買い物など日常生活が不便である	25.6	29.7 (5)	42.1 (4)	35.6 (4)	36.8 (3)
教育、生涯学習などが充実していない	17.3	10.4 (9)	- -	- -	- -
防犯や防災などの安全な生活環境が整っていない	13.4	18.2 (6)	- -	- -	- -
畑や雑木林が多く残り自然環境が悪い	11.8	12.0 (8)	- -	- -	- -
近所づきあいがうまくいっていない (地域住民の連帯感がない)	7.4	5.1 (10)	4.0 (10)	5.2 (10)	2.6 (10)
教育環境が悪い	-	- -	25.0 (6)	15.2 (8)	17.3 (6)
まちがごみごみしている	-	- -	19.4 (8)	19.4 (6)	15.6 (7)
地価や家賃が高い	-	- -	15.5 (9)	11.0 (9)	11.7 (8)
その他	16.1	17.1 (7)	19.7 (7)	17.8 (7)	8.7 (9)

注:「 - 」印は調査項目なし。

今回の選択肢は過去 4 回と異なるものがある。

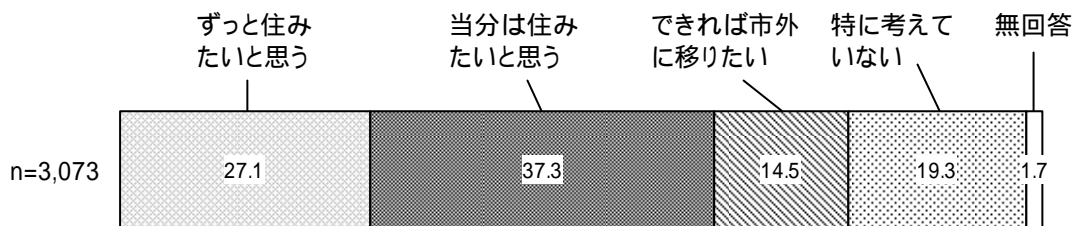
道路や下水道などの都市基盤が整っていない(道路や下水道などが整備されていない) / 買い物など日常生活が不便である(買い物に不便) / 近所づきあいがうまくいっていない・地域住民の連帯感がない(近所とうまくいっていない) / 福祉や保健サービスが充実していない(福祉が充実していない)

(4) 定住意向

問2 あなたは、今後も新座市に住みたいと思いますか。それとも住みたいとは思いませんか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

新座市への定住意向は、「当分は住みたいと思う」が 37.3%で最も高く、これに「ずっと住みたいと思う」(27.1%)、「特に考えていない」(19.3%)の順で続いている。「ずっと住みたいと思う」、「当分は住みたいと思う」の両者を合わせた『住みたいと思う(計)』(64.4%)は6割以上を占めている。「できれば市外に移りたい」は 14.5%であった。

図 14 定住意向



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴が見られなかった。

「性別・年齢別」では、「ずっと住みたいと思う」が男女とも年齢層が高くなるにしたがって、増加傾向となっている。「できれば市外に移りたい」について見ると、女性の 20 歳代(19.9%)と 40 歳代(20.5%)で高い割合を示している。

「居住年数別」では、20 年以上(34.4%)と生まれてからずっと(41.4%)で、「ずっと住みたいと思う」が高い割合を示している。

「世帯構成別」を見ると、三世帯世帯で「ずっと住みたいと思う」が 36.2%と高かった。

「居住地域別」については、東部地域と南西地域で「できれば市外に移りたい」がそれぞれ 19.6%、20.4%で 2 割前後と高かった。

図 15-1 属性別の定住意向(性別、性別・年齢別)

□ ずっと住みたいと思う ■ 当分は住みたいと思う ▨ できれば市外に移りたい ▩ 特に考えていない □ 無回答

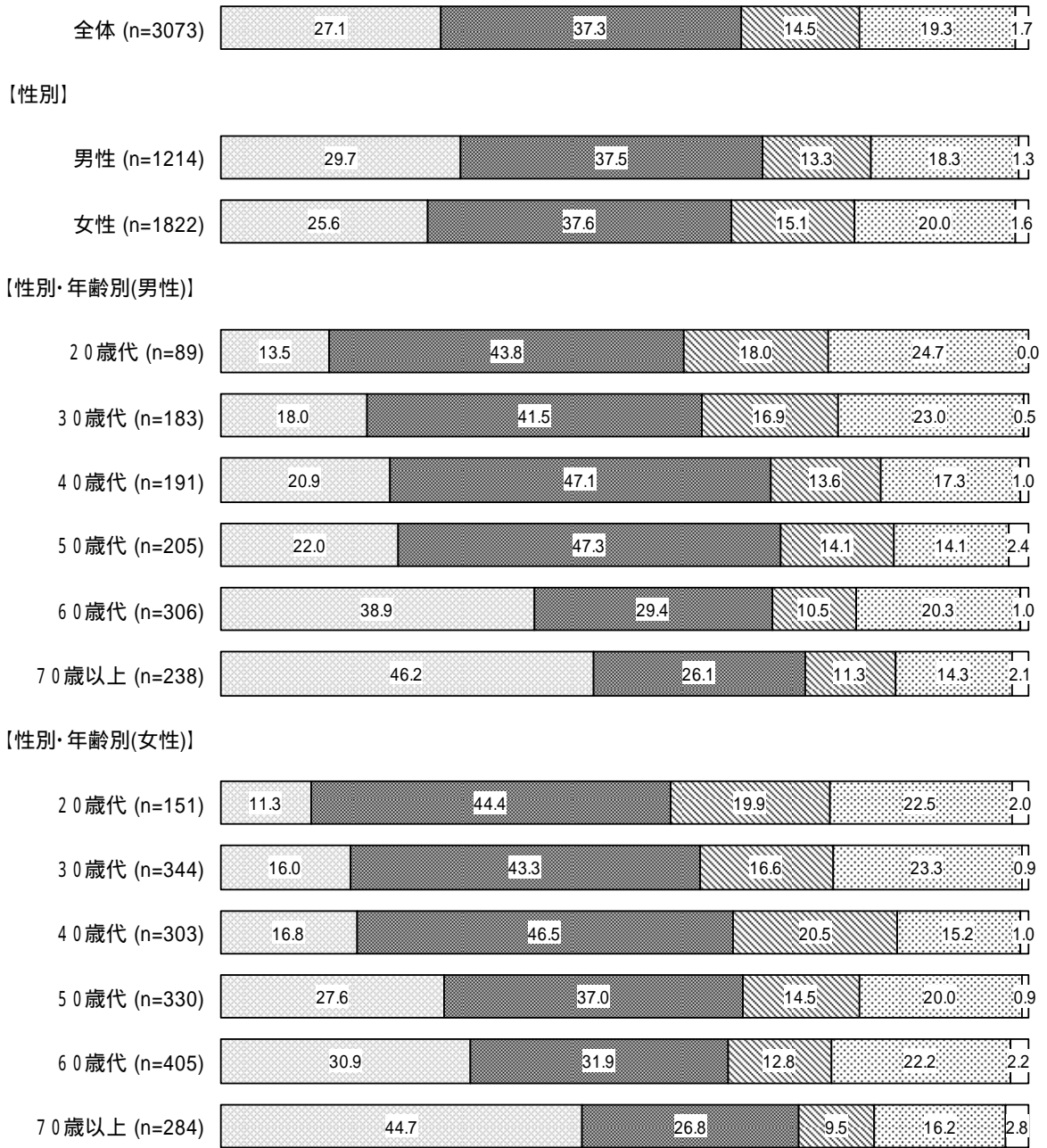
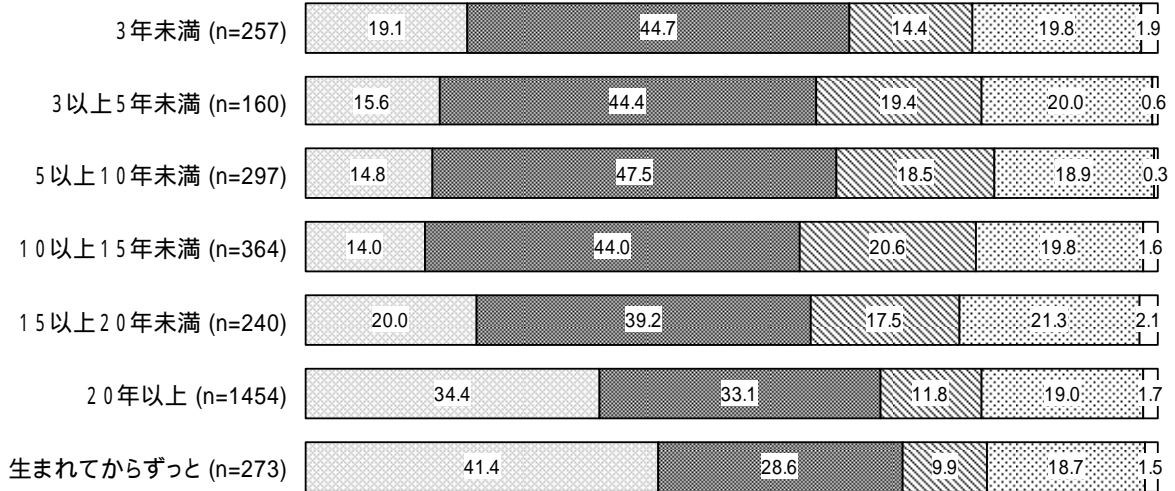


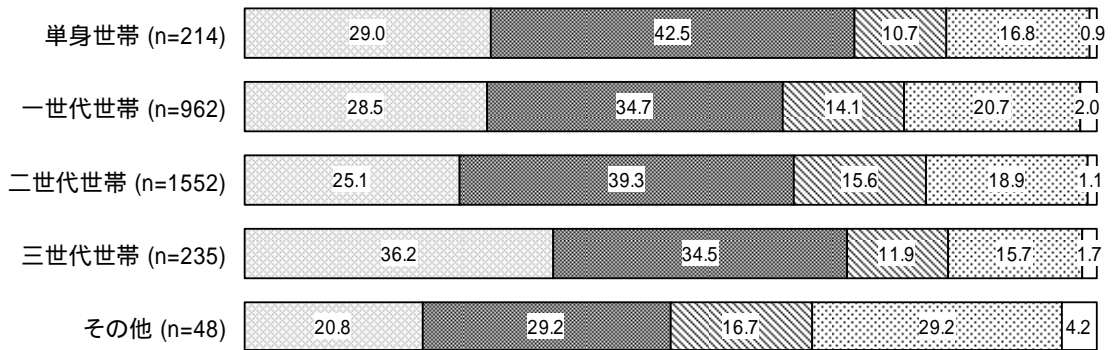
図 15-2 属性別の定住意向(居住年数別、世帯構成別、居住地域別)

□ ずっと住みたいと思う ■ 当分は住みたいと思う ▨ できれば市外に移りたい ▨ 特に考えていない □ 無回答

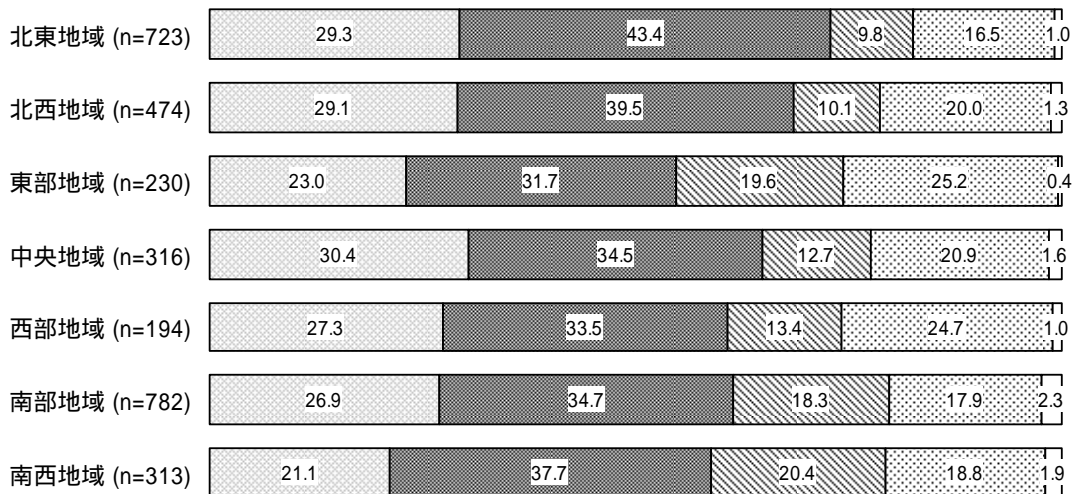
【居住年数別】



【世帯構成別】



【居住地域別】

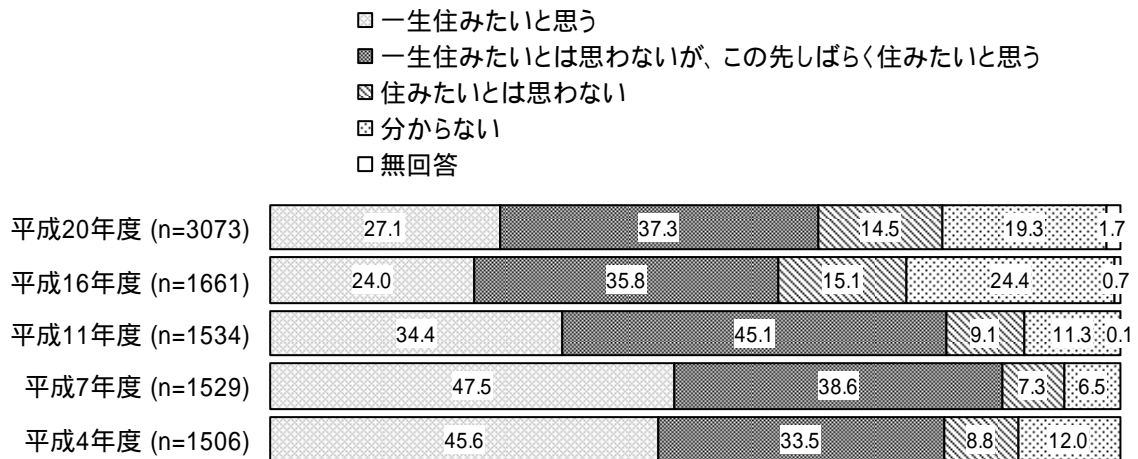


【経年比較】

選択肢の項目が同一でないため、参考コメントとする。

過去4回と比較すると、『住みたいと思う(計)』は平成16年度より増加となっている。しかし、平成11年度以前と比べると2割程度低い結果であった。

図 16 定住意向(経年比較)



注:経年比較では、平成20年度、平成16年度の選択肢「ずっと住みたいと思う」を『一生住みたいと思う』に、「当分は住みたいと思う」を『一生住みたいとは思わないが、この先しばらく住みたいと思う』に、「できれば市外に移りたい」を『住みたいとは思わない』に、「特に考えていない」を『分からない』として比較した。

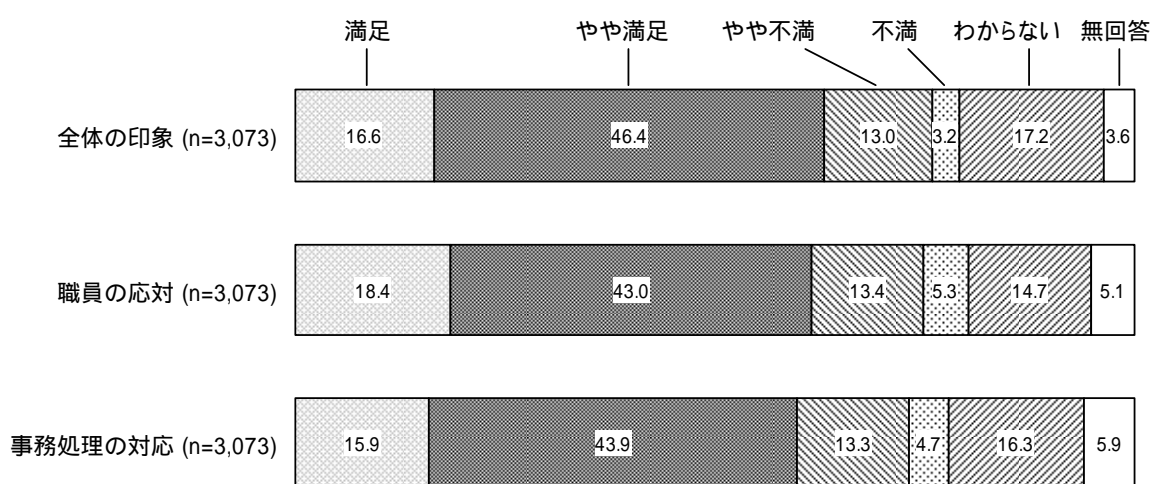
2 市の窓口サービスについて

(1) 窓口サービスの評価

問3 市の窓口サービスは、いかがですか。それぞれについて次の中から1つずつ選んで、をつけてください。

市の窓口サービスの評価について、全体の印象と職員の応対、事務処理の対応に分けて尋ねた結果、ほぼ同じような評価であった。「満足」が15.9～18.4%、「やや満足」が43.0～46.4%で、両者を合算した『満足(計)』は6割前後となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合算した『不満(計)』は2割以内(16.2～18.7%)であった。

図 17 窓口サービスの評価



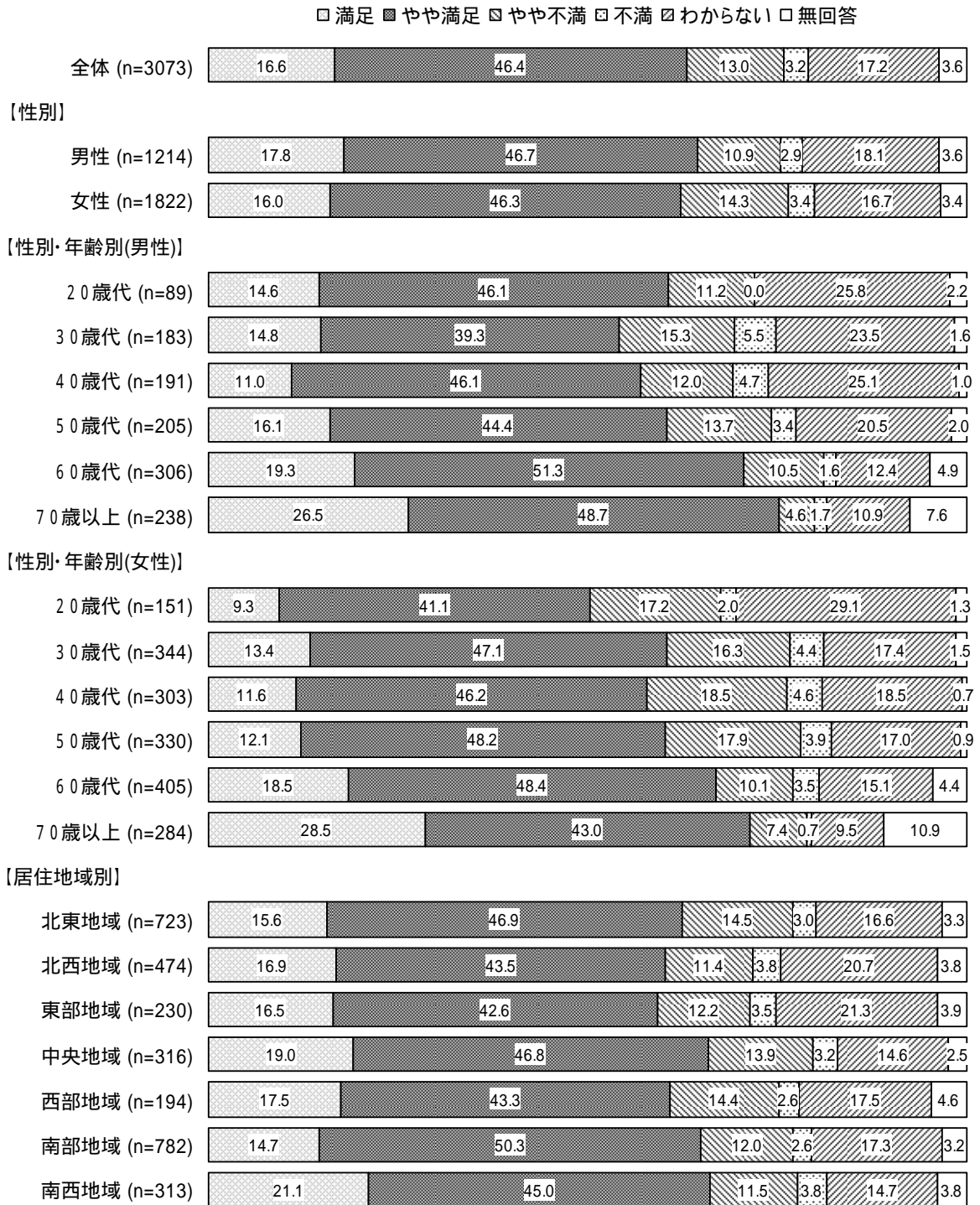
【属性別の傾向】

全体の評価

「性別」と「居住地域別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男女とも年齢層が高くなるにしたがい、「満足」が増加傾向となっている。そのほかでは、男性の20～40歳代(25.8%、23.5%、25.1%)と女性の20歳代(29.1%)で、「わからない」が高かった。

図 18-1 属性別の窓口サービスの評価(全体の印象)

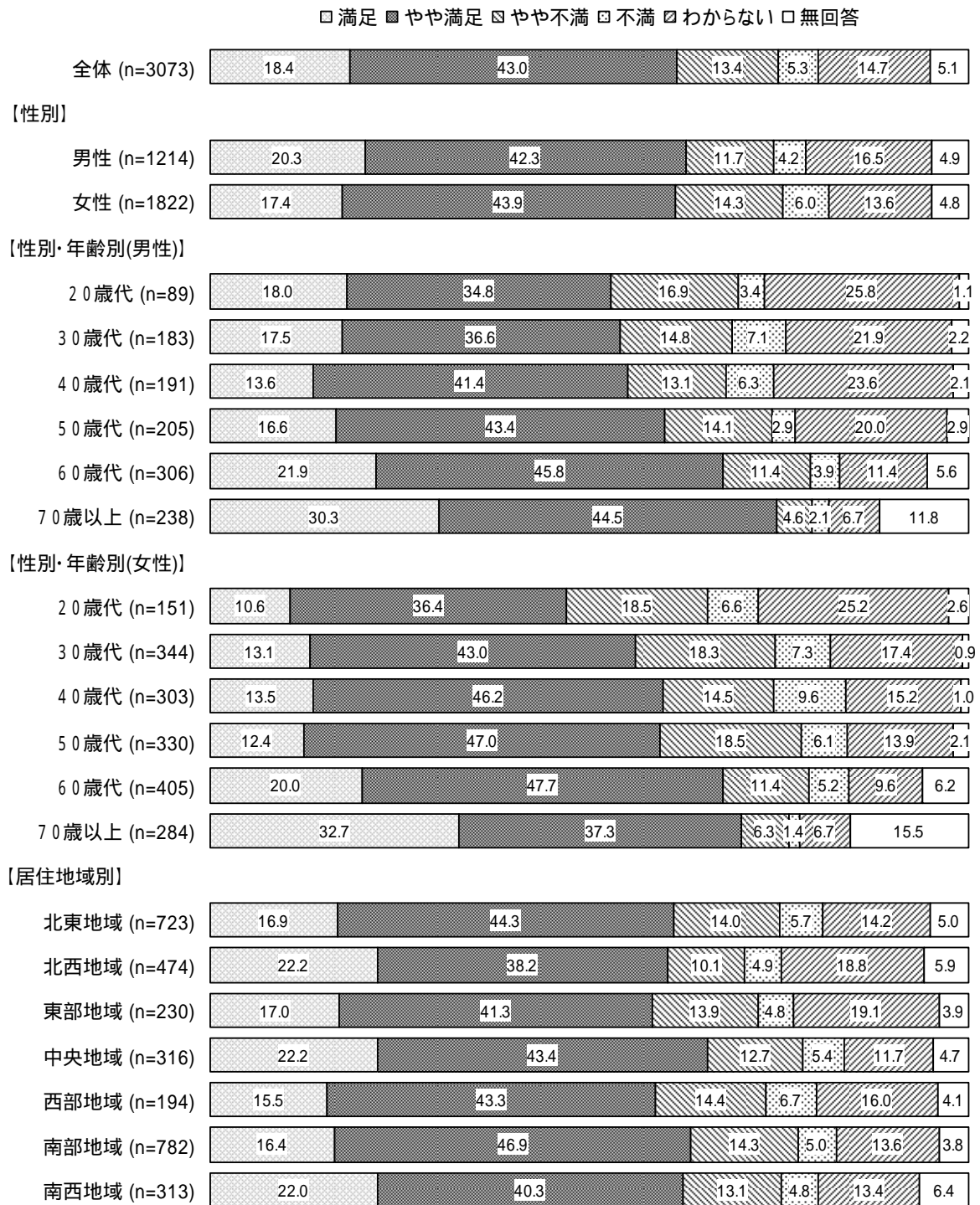


職員の応対

全体の評価と同様に、「性別」と「居住地域別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、こちらも全体の評価と同様に、男女とも年齢層が高くなるにしたがい「満足」に増加傾向が見られ、特に男女の70歳以上では、3割以上と高かった。

図 18-2 属性別の窓口サービスの評価(職員の応対)



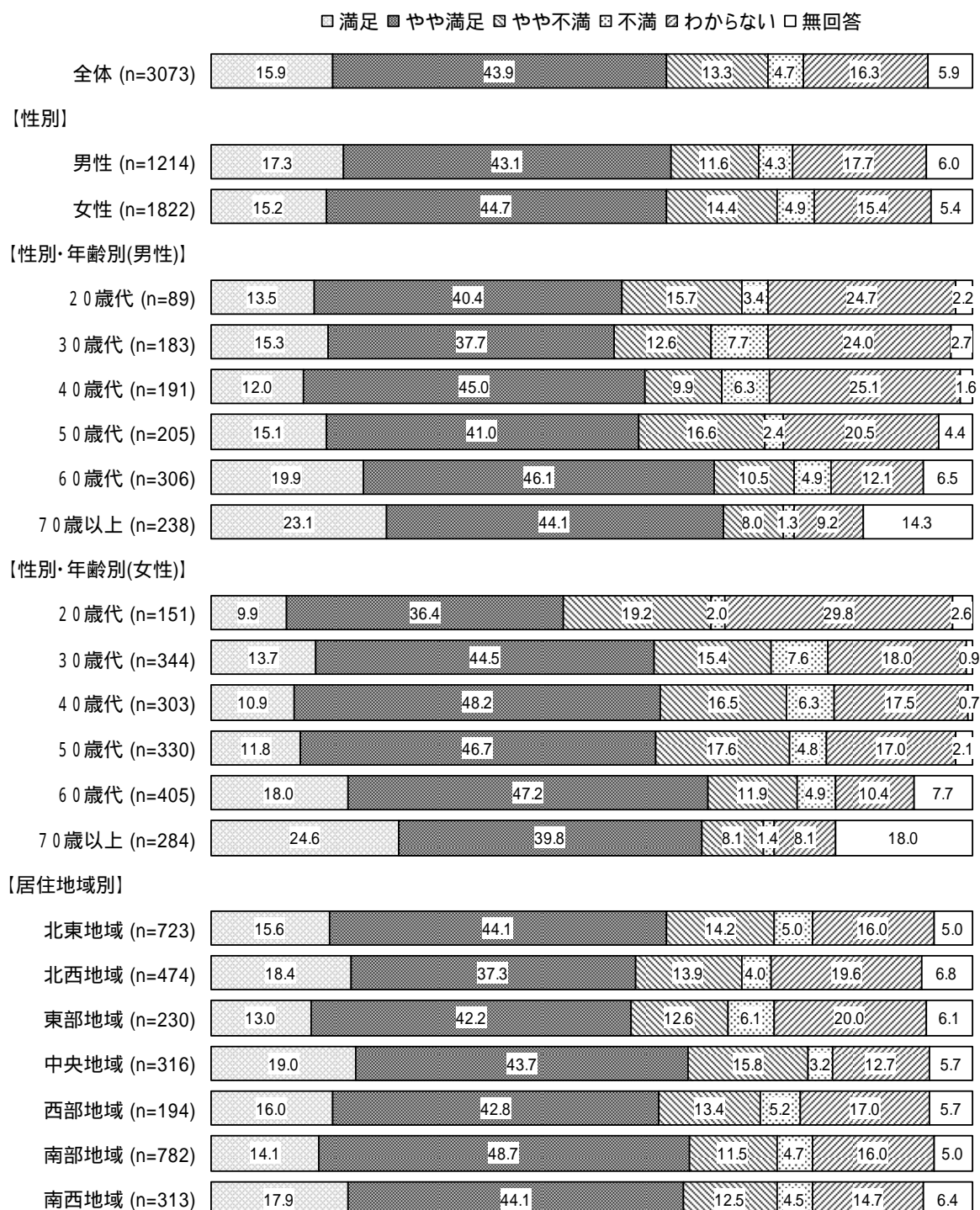
事務処理の対応

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、とと同様で、男女とも年齢層が高くなるにしたがい「満足」に増加傾向が見られた。

「居住地域別」を見ると、北西地域で「やや満足」が37.3%と全体に比べて低かった。

図 18-3 属性別の窓口サービスの評価(事務処理の対応)

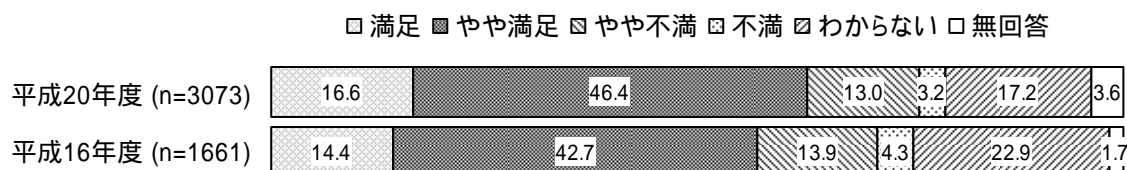


【経年比較】

全体の印象

前回調査結果と比較すると、「わからない」が5.7ポイント減少し、「やや満足」で3.7ポイント、「満足」で2.2ポイントの増加が見られた。

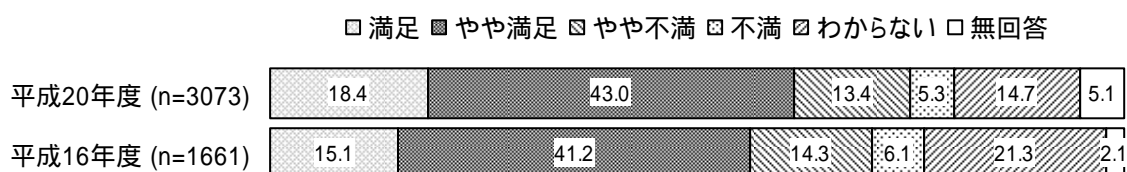
図 19 全体の印象(経年比較)



職員の対応

前回調査結果と比較すると、「わからない」が6.6ポイント減少し、「満足」で3.3ポイント、「やや満足」で1.8ポイントの増加が見られた。

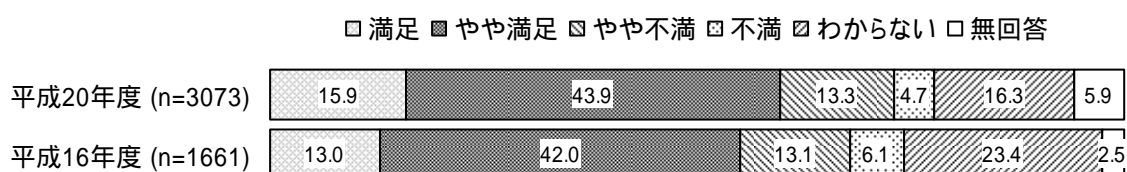
図 20 職員の対応(経年比較)



事務処理の対応

前回調査結果と比較すると、「わからない」が7.1ポイント減少し、「満足」で2.9ポイント、「やや満足」で1.9ポイントの増加が見られた。

図 21 事務処理の対応(経年比較)

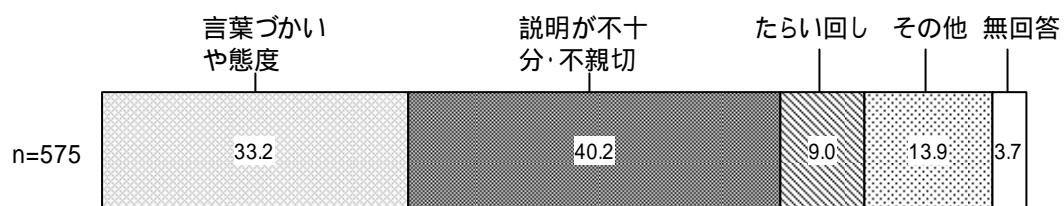


(2) 職員の対応を「不満」に思う理由

問3-1 問3(2)で「3 やや不満」又は「4 不満」と選んだ方にうかがいます。職員の対応のどういう点が不満ですか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

問3で職員の対応に「やや不満」又は「不満」と答えた方は575件であった。「不満」に思う理由は、「説明が不十分・不親切」が40.2%で最も高く、これに「言葉づかいや態度」(33.2%)、「その他」(13.9%)、「たらい回し」(9.0%)の順で続いている。

図 22 職員の対応を「不満」に思う理由



【属性別の傾向】

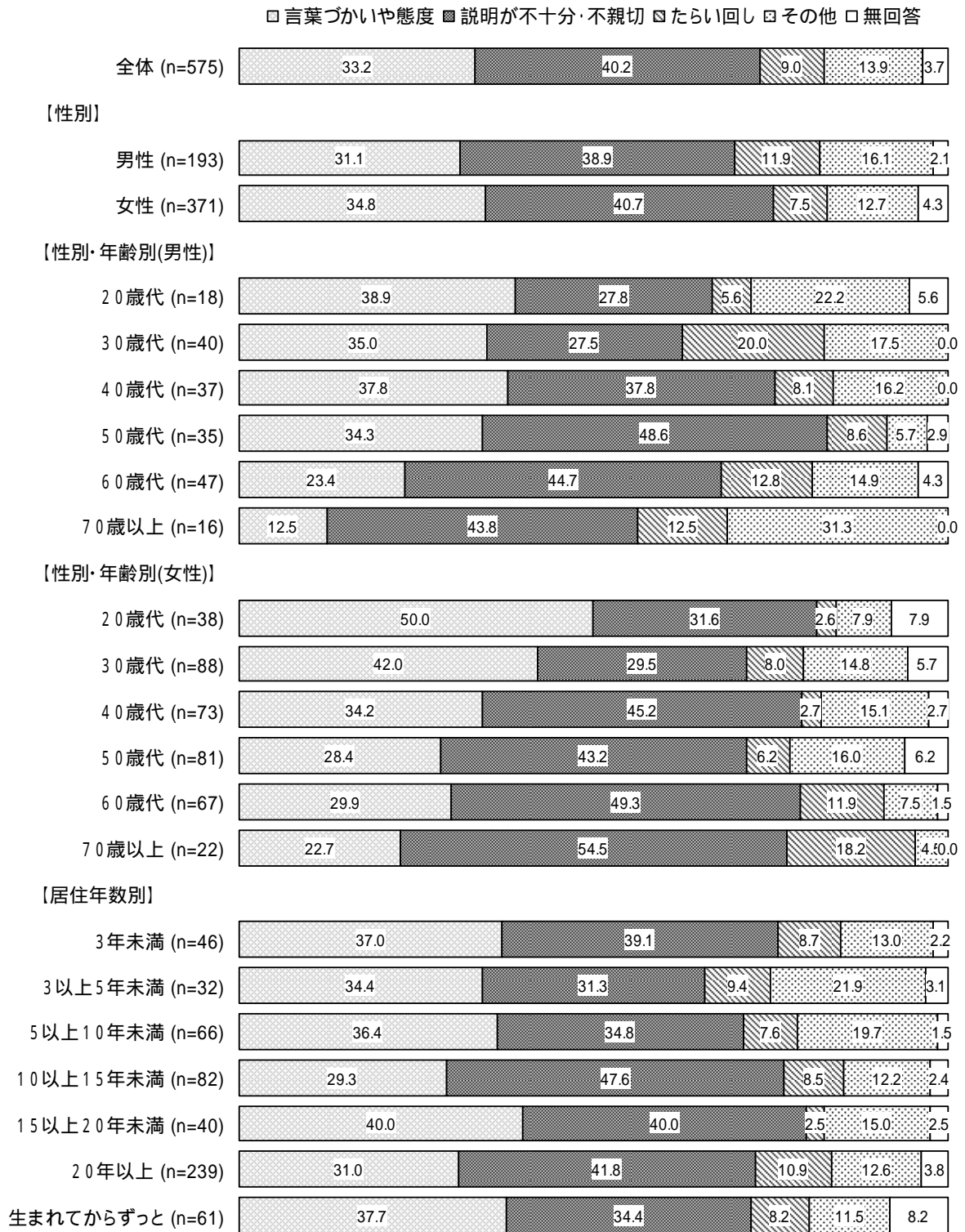
「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」は属性の件数が少ない(50件未満)ため、参考コメントとする。

女性の20歳代(50.0%)と30歳代(42.0%)で「言葉づかいや態度」が高い割合を示している。

「居住年数別」では、5以上10年未満(36.4%)と生まれてからずっと(37.7%)で「言葉づかいや態度」が最も高かった。

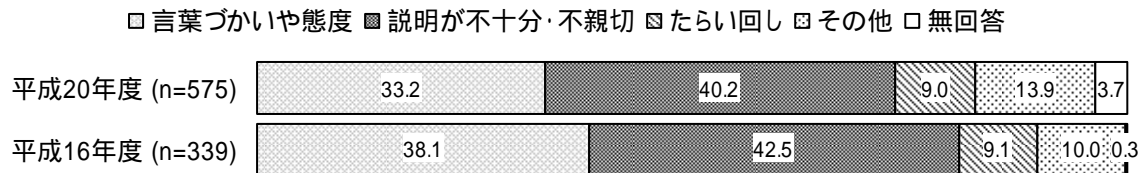
図 23 属性別の職員の対応を「不満」に思う理由



【経年比較】

前回調査結果との比較では、「その他」で3.9ポイント増加が見られ、「言葉づかいや態度」、「説明が不十分・不親切」でそれぞれ4.9ポイント、2.3ポイントの減少が見られた。

図 24 職員の対応を「不満」に思う理由(経年比較)

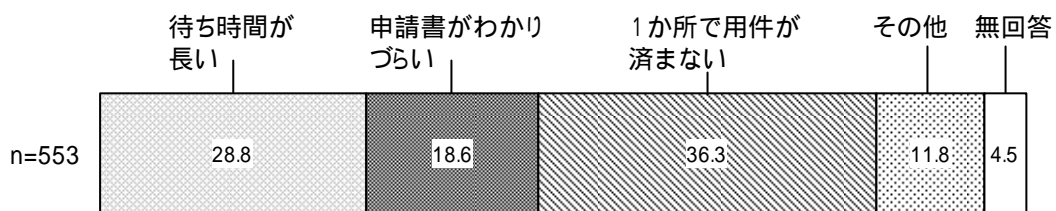


(3) 事務処理の対応を「不満」に思う理由

問3-2 問3(3)で「3 やや不満」又は「4 不満」と選んだ方にうかがいます。事務処理のどういう点が不満ですか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

問3で事務処理の対応について「やや不満」又は「不満」と答えた方は553件であった。事務処理の対応を「不満」に思う理由としては、「1か所で用件が済まない」が36.3%で最も高かった。以下、「待ち時間が長い」(28.8%)、「申請書がわかりづらい」(18.6%)、「その他」の順となっている。

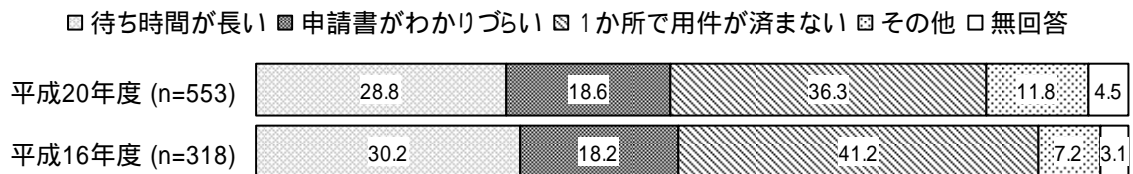
図 25 事務処理の対応を「不満」に思う理由



【経年比較】

前回調査結果との比較では、「その他」で4.6ポイントの増加が見られ、「1か所で用件が済まない」で4.9ポイントの減少が見られた。

図 26 事務処理の対応を「不満」に思う理由(経年比較)



【属性別の傾向】

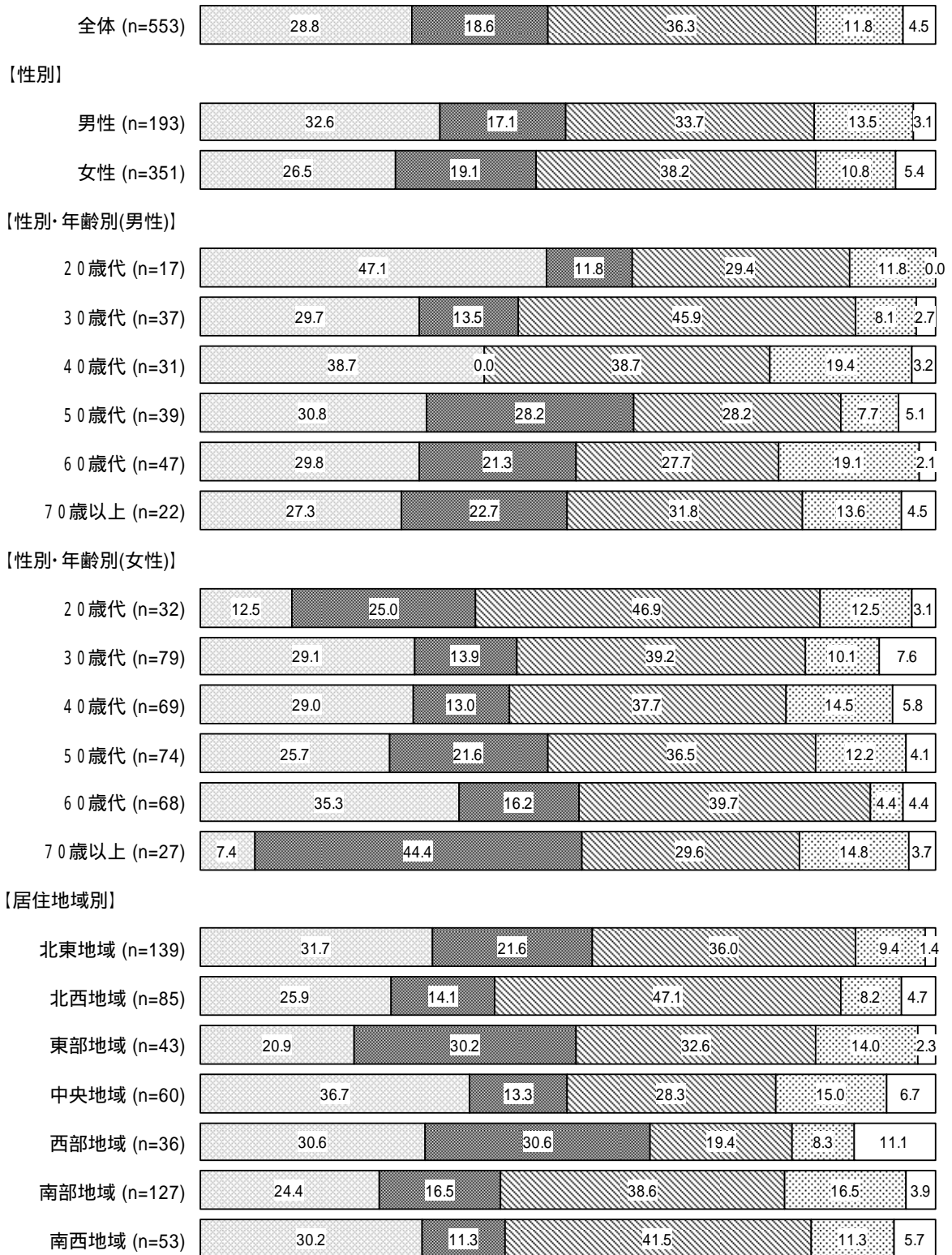
「性別」では、「待ち時間が長い」で男性の方が女性より高い割合となっている。

「性別・年齢別」は属性の件数が少ない(50件未満)ため、コメントの対象としない。

「居住地域別」では、中央地域で「待ち時間が長い」が36.7%で最も高かった。西部地域では、「待ち時間が長い」と「申請書がわかりづらい」がどちらも30.6%と同じ割合で最も高くなっている。

図 27 属性別の事務処理の対応を「不満」に思う理由

□ 待ち時間が長い ■ 申請書がわかりづらい ▨ 1か所で用件が済まない □ その他 □ 無回答

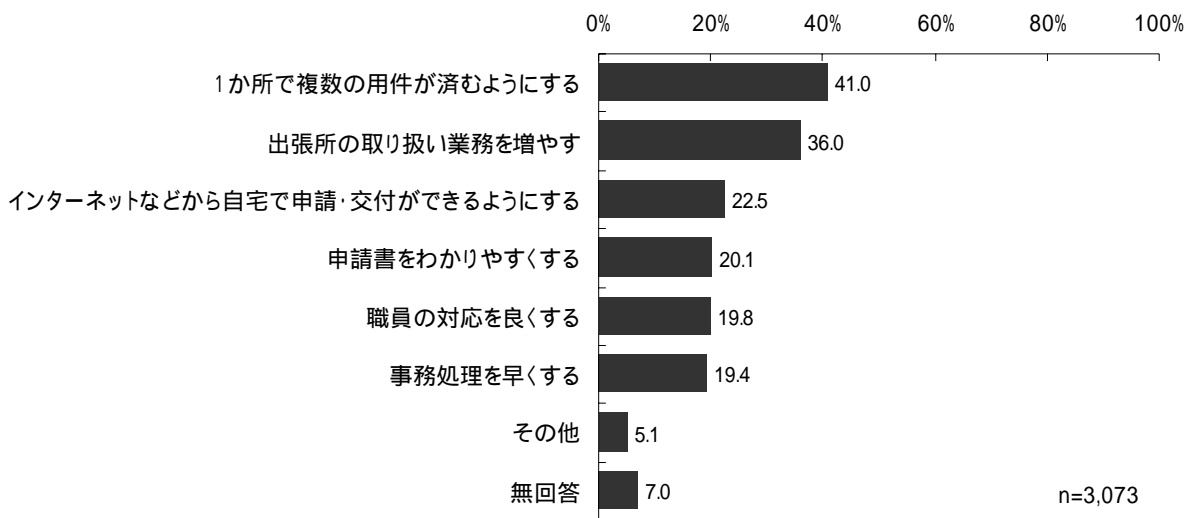


(4) 窓口サービスへの要望

問4 あなたは、窓口サービスに対して、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。
次の中から2つまで選んで、をつけてください。

窓口サービスへの要望については、「1か所で複数の用件が済むようにする」が41.0%で最も高く、これに「出張所の取り扱い業務を増やす」(36.0%)、「インターネットなどから自宅で申請・交付ができるようにする」(22.5%)、「申請書をわかりやすくする」(20.1%)の順で続く結果であった。

図 28 窓口サービスへの要望



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20～40歳代(40.4%、37.2%、35.6%)と女性の20～30歳代(38.4%、34.9%)で「インターネットなどから自宅で申請・交付ができるようにする」が高いのに対し、男性の70歳以上(8.8%)と女性の60～70歳以上(7.9%、4.2%)で低くなっている。

「居住地域別」では、東部地域で「出張所の取り扱い業務を増やす」が53.5%と高いのに対し、中央地域、西部地域ではそれぞれ15.5%、12.4%と低かった。

表 5 属性別の窓口サービスへの要望

(単位:%)

属性		件数 (n)	1か所で複数の用件が済むようにする	出張所の取り扱い業務を増やす	インターネットなどから自宅で申請・交付ができるようにする	申請書をわかりやすくする	職員の対応を良くする	事務処理を早くする	その他	無回答
全体		3,073	41.0	36.0	22.5	20.1	19.8	19.4	5.1	7.0
性別	男性	1,214	38.9	33.9	24.4	18.4	19.3	22.3	5.2	6.6
	女性	1,822	42.8	37.5	21.2	21.1	20.3	17.4	4.9	6.9
年齢別 (男性)	20歳代	89	29.2	33.7	40.4	21.3	21.3	22.5	4.5	3.4
	30歳代	183	37.7	31.7	37.2	12.6	19.1	17.5	9.8	2.7
	40歳代	191	37.7	29.8	35.6	9.9	18.3	22.0	7.3	6.8
	50歳代	205	31.7	35.1	27.8	15.6	18.0	23.9	3.9	7.8
	60歳代	306	47.4	36.9	14.7	21.6	22.5	24.2	3.9	4.2
	70歳以上	238	39.5	33.6	8.8	26.5	16.4	22.7	2.9	12.6
	年齢別 (女性)	20歳代	151	43.7	25.2	38.4	20.5	24.5	18.5	6.0
30歳代		344	37.2	41.6	34.9	15.4	24.4	14.8	6.4	3.8
40歳代		303	39.9	38.9	30.7	17.5	25.1	17.8	5.6	3.3
50歳代		330	46.7	38.5	21.8	22.1	19.1	20.0	6.1	2.7
60歳代		405	47.2	37.0	7.9	23.5	19.3	19.5	2.5	8.6
70歳以上		284	42.3	37.7	4.2	27.8	10.2	13.4	3.9	18.0
居住地域別		北東地域	723	40.9	34.0	24.9	18.9	20.3	18.9	7.1
	北西地域	474	42.8	36.9	21.3	20.7	17.3	20.3	3.4	8.4
	東部地域	230	41.7	53.5	18.7	20.4	17.4	13.0	1.7	5.7
	中央地域	316	44.3	15.5	23.7	24.7	22.2	27.5	6.6	4.1
	西部地域	194	44.8	12.4	23.2	25.3	24.7	24.2	7.2	6.7
	南部地域	782	39.3	42.8	21.6	18.4	19.9	17.3	4.2	7.3
	南西地域	313	38.3	45.7	22.7	17.9	17.3	17.6	4.2	6.7

【経年比較】

前回調査結果との比較では、1位と2位は変わらず、3位以降に変化が見られた。前回5位の「インターネットなどから自宅で申請・交付ができるようにする」が3位となっている。

表 6 窓口サービスへの要望(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成 20 年度	平成 16 年度
1か所で複数の用件が済むようにする	41.0	45.2 (1)
出張所の取り扱い業務を増やす	36.0	31.0 (2)
インターネットなどから自宅で申請・交付ができるようにする	22.5	18.9 (5)
申請書をわかりやすくする	20.1	16.9 (6)
職員の対応を良くする	19.8	21.9 (4)
事務処理を早くする	19.4	24.9 (3)
その他	5.1	4.8 (7)

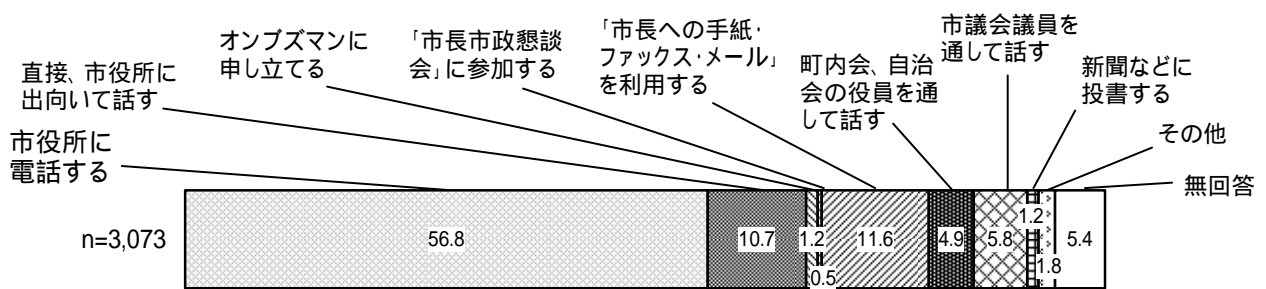
3 広聴について

(1) 市政への苦情や要望の申し出方法

問5 あなたは、もし市政に対して個人的に苦情や要望などをお申し出になるとしたら、まずどのような方法を選びますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

市政への苦情や要望の申し出方法については、「市役所に電話する」が56.8%と過半数以上を占め、最も高かった。これに『「市長への手紙・ファックス・メール」を利用する』(11.6%)、「直接、市役所に出向いて話す」(10.7%)が1割以上で続く結果となっている。

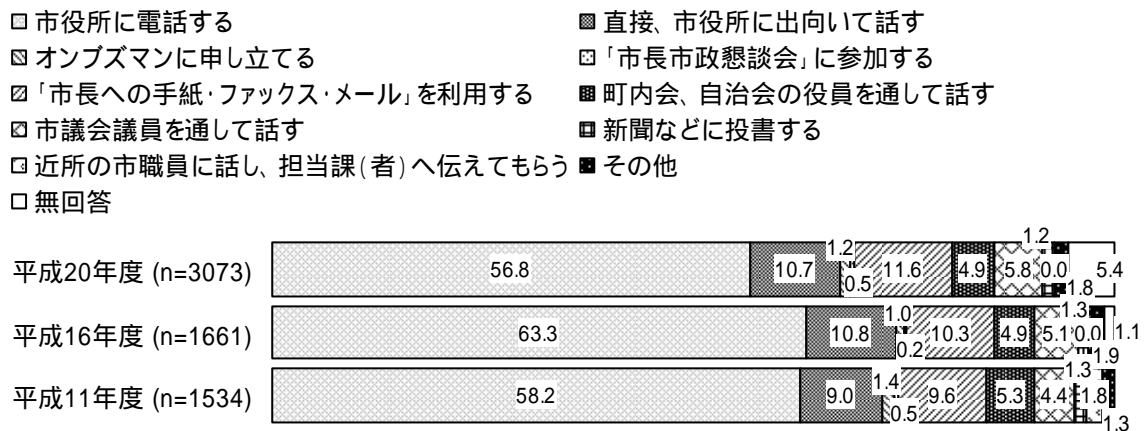
図 29 市政への苦情や要望の申し出方法



【経年比較】

過去2回との比較でも、「市役所に電話する」が最も高くなっている。各選択肢で数ポイントの増減はあるが、全体では大きな特徴は見られなかった。

図 30 市政への苦情や要望の申し出方法(経年比較)

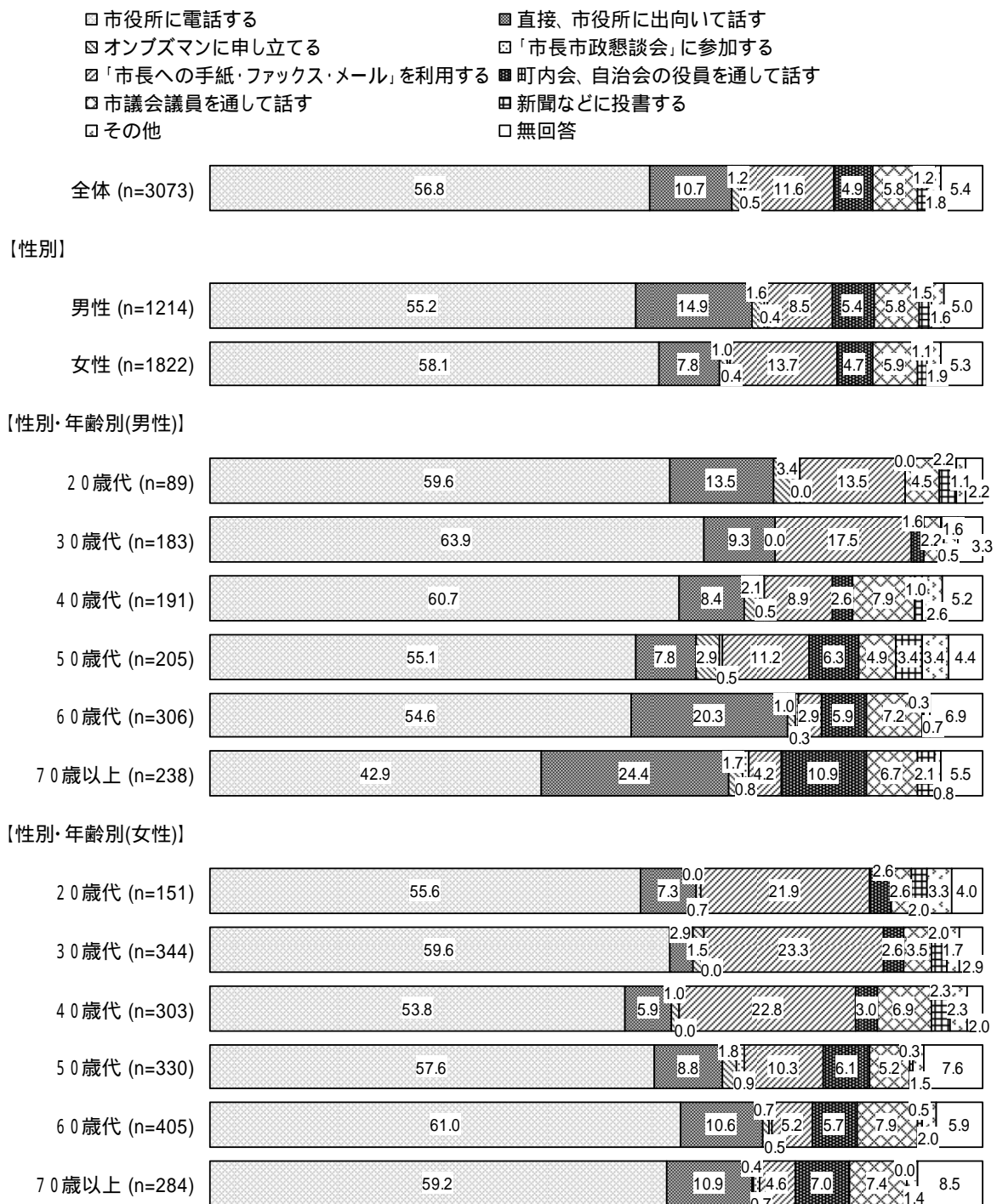


【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の60～70歳以上(20.3%、24.4%)で「直接、市役所に出向いて話す」が高いのに対し、女性の30歳代(2.9%)で低くなっている。また、男性の30歳代(17.5%)と女性の20～40歳代(21.9%、23.3%、22.8%)で『「市長への手紙・ファックス・メール」を利用する』が高い割合を示している。

図 31 属性別の市政への苦情や要望の申し出方法



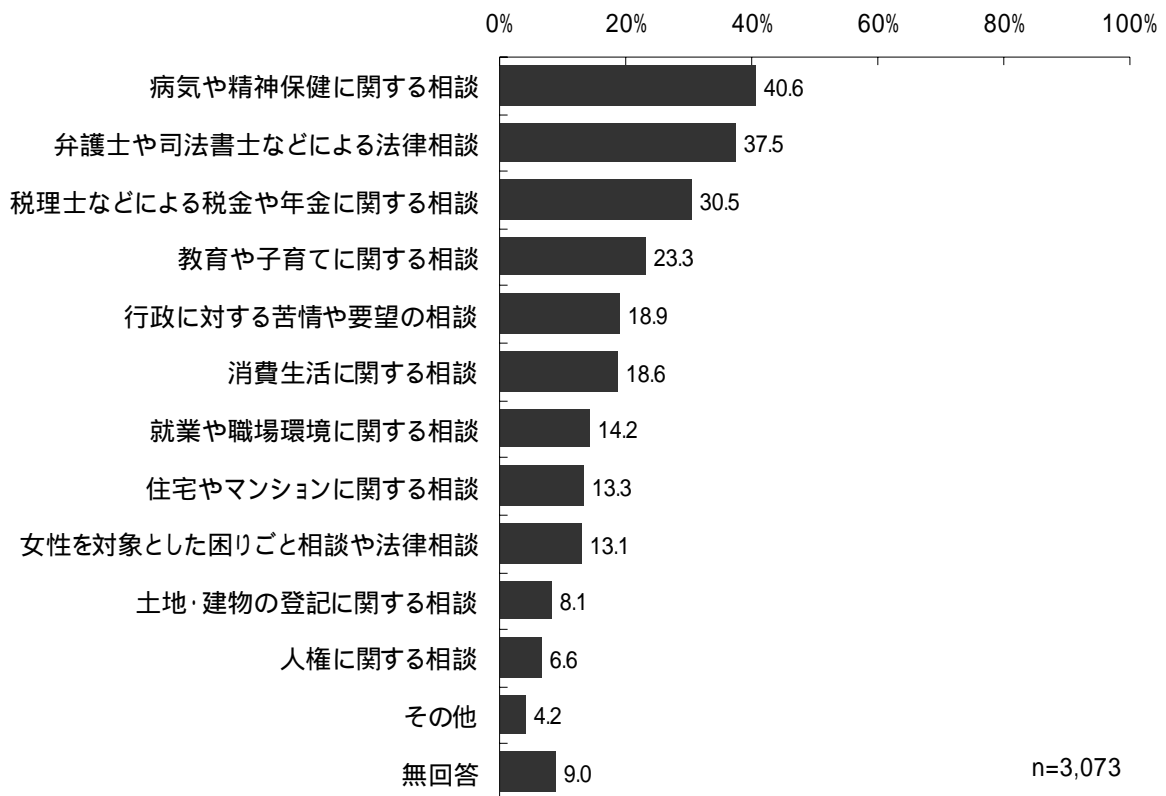
4 市民相談について

(1) 利用したい相談内容

問6 市では、専門家による様々な無料相談を行っていますが、あなたは、どのような相談を利用したい(又は充実してほしい)と思いますか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

利用したい相談内容については、「病気や精神保健に関する相談」が 40.6%で最も高く、これに「弁護士や司法書士などによる法律相談」(37.5%)、「税理士などによる税金や年金に関する相談」(30.5%)の順で続いており、上記3つが3割以上を占める結果であった。

図 32 利用したい相談内容



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20歳代で「就業や職場環境に関する相談」(38.2%)と「住宅やマンションに関する相談」(28.1%)が全体に比べ高かった。男性の30～40歳代(41.5%、37.7%)と女性の20～40歳代(44.4%、59.9%、38.6%)では、「教育や子育てに関する相談」が高くなっている。そのほか、女性の30歳代では「女性を対象とした困りごと相談や法律相談」が26.7%と高かった。

「職業別」を見ると、教員・公務員(34.8%)と学生(40.4%)で「教育や子育てに関する相談」が高い割合を示している。また、学生では、「就業や職場環境に関する相談」も44.2%と高かった。

「居住年数別」については、3年未満(42.8%)、3以上5年未満(40.6%)、5以上10年未満(43.4%)で「教育や子育てに関する相談」が全体に比べて高いのに対し、20年以上(11.9%)で低くなっている。

表 7 属性別の利用したい相談内容

(単位:%)

属性		件数 (n)	病気や精神保健に関する相談	弁護士や司法書士などによる法律相談	税理士などによる税金や年金に関する相談	教育や子育てに関する相談	行政に対する苦情や要望の相談	消費生活に関する相談	就業や職場環境に関する相談	住宅やマンションに関する相談	女性を対象とした困りごと相談や法律相談	土地・建物の登記に関する相談	人権に関する相談	その他	無回答
全体		3,073	40.6	37.5	30.5	23.3	18.9	18.6	14.2	13.3	13.1	8.1	6.6	4.2	9.0
性別	男性	1,214	39.7	41.0	30.0	19.2	22.3	17.4	13.7	14.2	4.5	8.9	6.7	4.0	8.9
	女性	1,822	41.3	35.1	30.9	26.2	16.6	19.5	14.7	13.0	19.0	7.7	6.5	4.4	8.6
年齢別(男性)	20歳代	89	41.6	41.6	31.5	30.3	22.5	25.8	38.2	28.1	9.0	9.0	11.2	1.1	5.6
	30歳代	183	25.7	44.8	26.8	41.5	21.9	18.6	22.4	18.6	6.0	10.9	6.0	2.2	7.1
	40歳代	191	30.4	48.2	29.3	37.7	23.0	16.2	17.8	17.8	7.9	8.9	6.3	2.6	5.8
	50歳代	205	44.4	46.3	37.6	11.7	22.9	17.1	13.7	15.6	2.9	9.8	6.8	4.4	7.3
	60歳代	306	44.4	38.6	32.0	7.2	25.8	15.7	8.5	8.8	2.6	8.5	7.5	5.2	9.2
	70歳以上	238	47.5	31.1	23.5	5.0	17.2	16.8	0.8	8.0	2.9	7.1	4.6	5.9	15.1
年齢別(女性)	20歳代	151	33.8	25.2	27.8	44.4	11.9	23.2	30.5	21.2	21.9	7.9	5.3	2.6	4.6
	30歳代	344	32.3	35.5	29.9	59.9	17.4	17.7	23.0	18.3	26.7	7.3	6.4	3.8	3.8
	40歳代	303	41.6	43.9	30.4	38.6	18.2	22.8	20.5	10.2	21.5	5.6	5.6	4.3	5.6
	50歳代	330	38.8	42.7	40.6	14.2	19.1	20.9	16.1	14.2	17.6	8.5	7.9	7.0	6.4
	60歳代	405	49.6	32.8	33.1	7.2	17.8	18.3	4.9	10.4	15.1	7.4	6.4	4.4	10.4
	70歳以上	284	46.8	24.6	20.1	3.9	12.0	16.5	2.5	7.4	13.4	9.9	7.0	3.5	19.0
職業別	自営業	218	40.8	44.0	31.2	16.1	21.6	12.8	6.9	8.3	9.2	6.9	6.9	4.1	10.6
	会社員	810	35.1	43.1	32.7	30.5	19.9	18.4	18.3	17.7	10.9	8.8	4.7	3.0	5.7
	教員・公務員	115	29.6	38.3	26.1	34.8	17.4	11.3	12.2	17.4	11.3	7.0	4.3	4.3	11.3
	会社・団体などの役員	42	45.2	42.9	35.7	16.7	28.6	14.3	11.9	14.3	11.9	4.8	7.1	7.1	2.4
	パートタイマーなど	435	41.4	39.8	34.3	26.4	16.6	21.4	19.1	13.6	20.0	8.7	6.7	5.1	6.7
	学生	52	48.1	28.8	36.5	40.4	17.3	25.0	44.2	19.2	19.2	3.8	13.5	1.9	5.8
	家事従事者	513	42.1	33.3	32.9	28.5	18.9	22.8	13.5	11.9	18.1	8.2	5.8	4.3	8.2
	無職	692	46.5	31.8	24.3	9.2	18.6	17.6	8.4	10.1	9.4	8.8	8.1	4.9	13.3
	その他	148	40.5	36.5	29.7	23.0	19.6	16.9	12.8	12.2	11.5	6.1	11.5	5.4	7.4
居住年数別	3年未満	257	37.7	28.0	32.3	42.8	16.7	17.5	22.6	23.0	17.9	7.4	4.7	5.1	4.7
	3以上5年未満	160	36.3	33.1	26.9	40.6	18.1	21.9	19.4	18.1	16.3	8.8	5.6	1.9	6.3
	5以上10年未満	297	34.7	40.1	30.6	43.4	20.2	23.6	16.2	19.2	18.5	7.7	7.7	3.7	2.4
	10以上15年未満	364	36.5	42.0	33.0	28.3	19.8	17.9	18.7	10.7	12.4	5.2	5.8	4.7	8.0
	15以上20年未満	240	41.3	41.3	33.3	22.9	21.3	20.4	17.1	15.0	13.8	7.9	5.8	3.3	7.1
	20年以上	1,454	44.8	36.9	29.7	11.9	18.1	18.2	9.0	10.9	10.9	8.9	7.1	4.9	11.7
	生まれてからずっと	273	34.4	40.7	30.8	28.2	21.6	15.4	21.2	11.4	13.9	9.2	6.6	2.2	7.7

【経年比較】

回答の選択肢に変更があるため同一には比べられないため、参考コメントとする。
 前回調査との比較では、前回3位の「病気や精神保健に関する相談」が1位となっている。
 順位の変動はあるが、上位5項目は前回と変わらなかった。

表 8 利用したい相談内容(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成 20 年度	平成 16 年度	
病気や精神保健に関する相談	40.6	20.1	(3)
弁護士や司法書士などによる法律相談	37.5	53.9	(1)
税理士などによる税金や年金に関する相談	30.5	42.6	(2)
教育や子育てに関する相談	23.3	12.6	(4)
行政に対する苦情や要望の相談	18.9	9.9	(5)
消費生活に関する相談	18.6	-	-
就業や職場環境に関する相談	14.2	6.4	(8)
住宅やマンションに関する相談	13.3	9.1	(6)
女性を対象とした困りごと相談や法律相談	13.1	9.0	(7)
土地・建物の登記に関する相談	8.1	-	-
人権に関する相談	6.6	-	-
交通事故に関する相談	-	4.0	(10)
その他	4.2	5.0	(9)

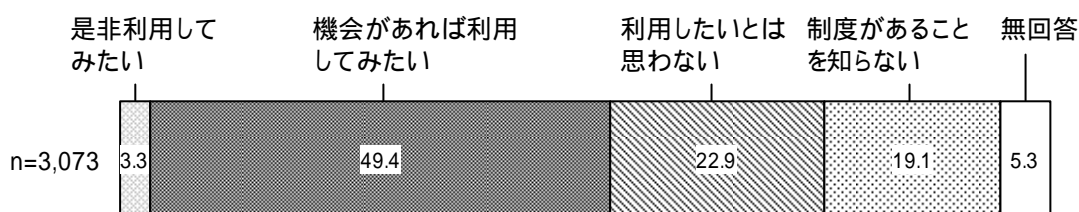
5 情報公開・個人情報保護制度について

(1) 情報公開制度の利用意向

問7 市では、市民の皆さんの知る権利の保障として公文書の開示を求めることができる情報公開制度や、個人の権利利益を保護するための個人情報保護制度を設けていますが、あなたは、今後、情報公開制度を利用してみたいと思われませんか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

情報公開制度の利用意向については、「機会があれば利用してみたい」が49.4%で最も高かった。一方、「利用したいとは思わない」は22.9%となっている。また、「制度があることを知らない」は19.1%であった。

図 33 情報公開制度の利用意向



【属性別の傾向】

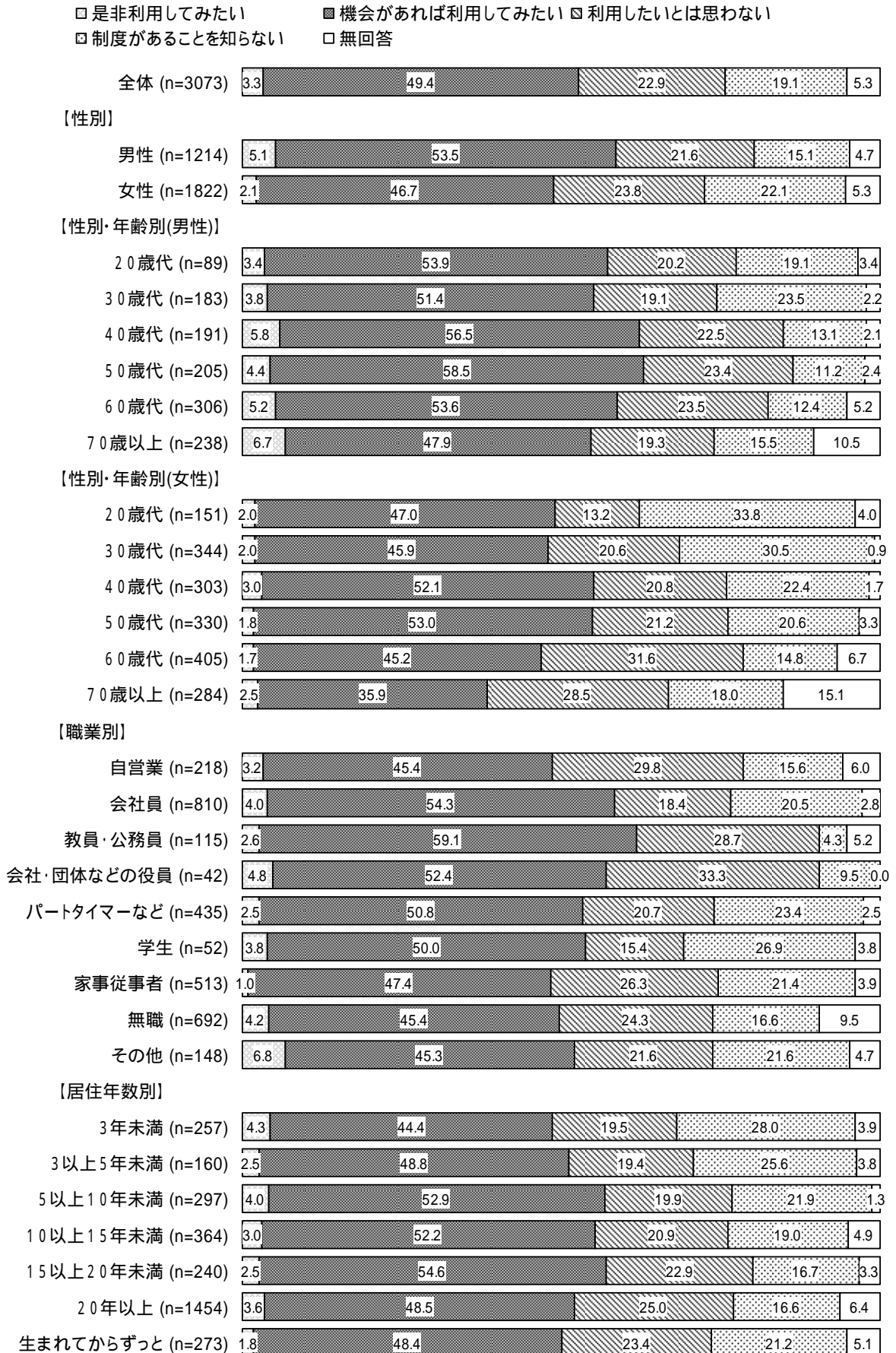
「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の40～50歳代(56.5%、58.5%)で「機会があれば利用してみたい」が全体に比べ高いのに対し、女性の70歳以上で35.9%と低かった。女性の20～30歳代では、「制度があることを知らない」がそれぞれ33.8%、30.5%と高い割合を示している。

「職業別」を見ると、自営業(29.8%)と教員・公務員(28.7%)、会社・団体などの役員(33.3%)で「利用したいとは思わない」が高い割合を示している。また、学生で「制度があることを知らない」が26.9%と高かった。

「居住年数別」の場合、3年未満(28.0%)と3年以上5年未満(25.6%)で「制度があることを知らない」が高かった。

図 34 属性別の情報公開制度の利用意向



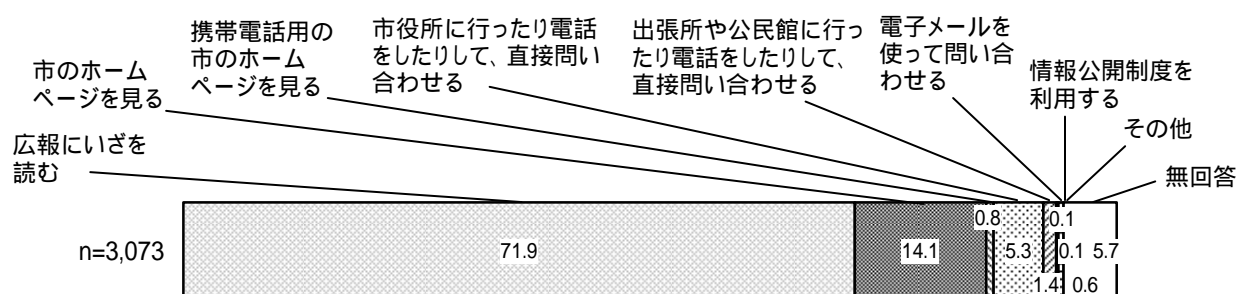
6 市政情報について

(1) 市政に関する情報やイベント情報の入手方法

問8 あなたは、市政に関する情報や、市が実施するイベント情報などを知りたい場合、どのような方法を選びますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

市政に関する情報やイベント情報の入手方法については、「広報にいざを読む」が71.9%と7割以上を占め、最も高かった。これに「市のホームページを見る」(14.1%)、「市役所に行ったり電話をしたりして、直接問い合わせる」(5.3%)の順で続いている。

図 35 市政に関する情報やイベント情報の入手方法



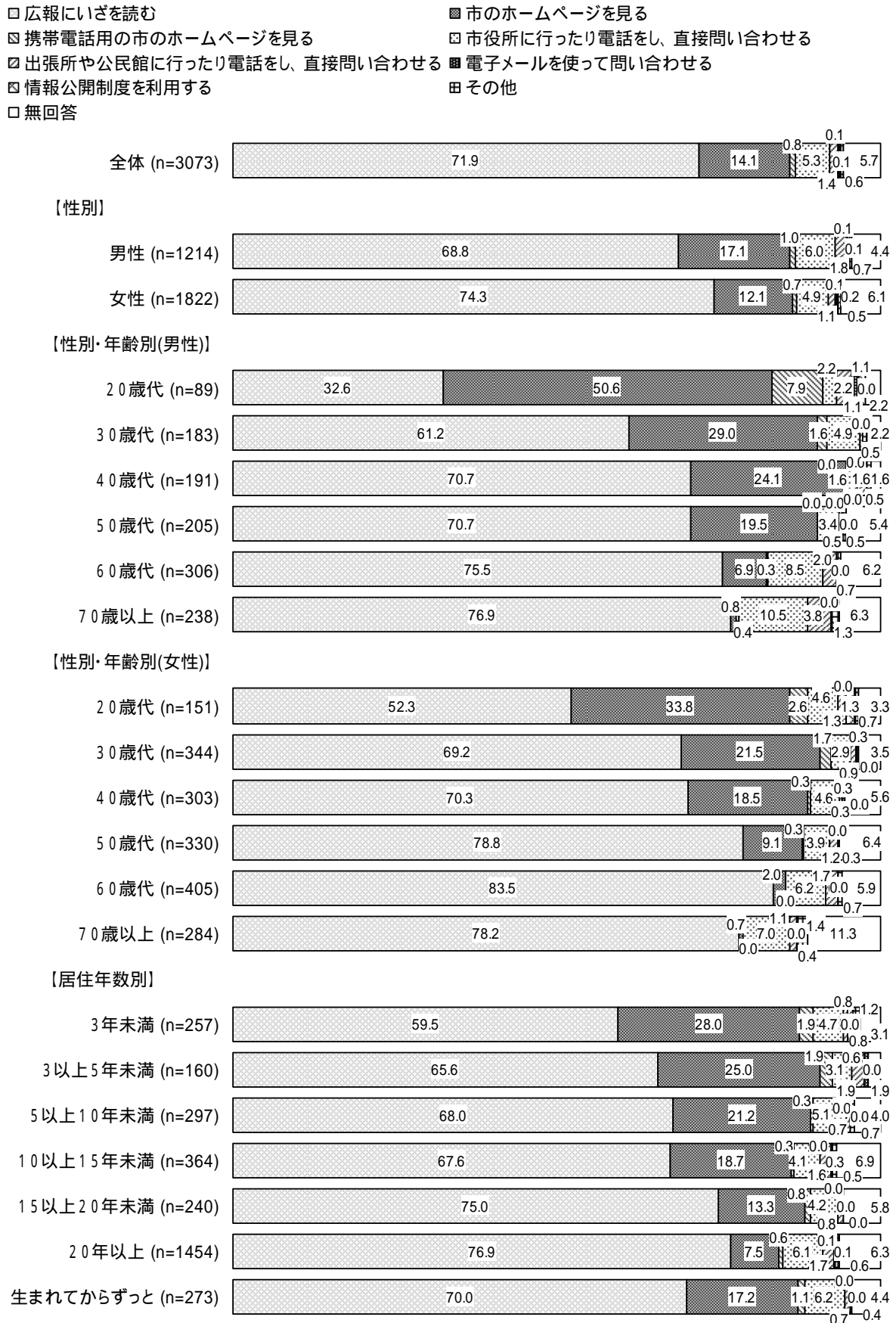
【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20～50歳代と女性の20～30歳代で「市のホームページを見る」が高い割合を示し、特に男性の20歳では50.6%で最も高かった。男女の20歳代(32.6%、52.3%)では、「広報にいざを読む」が低くなっている。

「居住年数別」については、3年未満(28.0%)、3年以上5年未満(25.0%)、5年以上10年未満(21.2%)で「市のホームページを見る」が高い割合を示しているのに対し、20年以上(7.5%)では低い割合であった。

図 36 属性別の市政に関する情報やイベント情報の入手方法

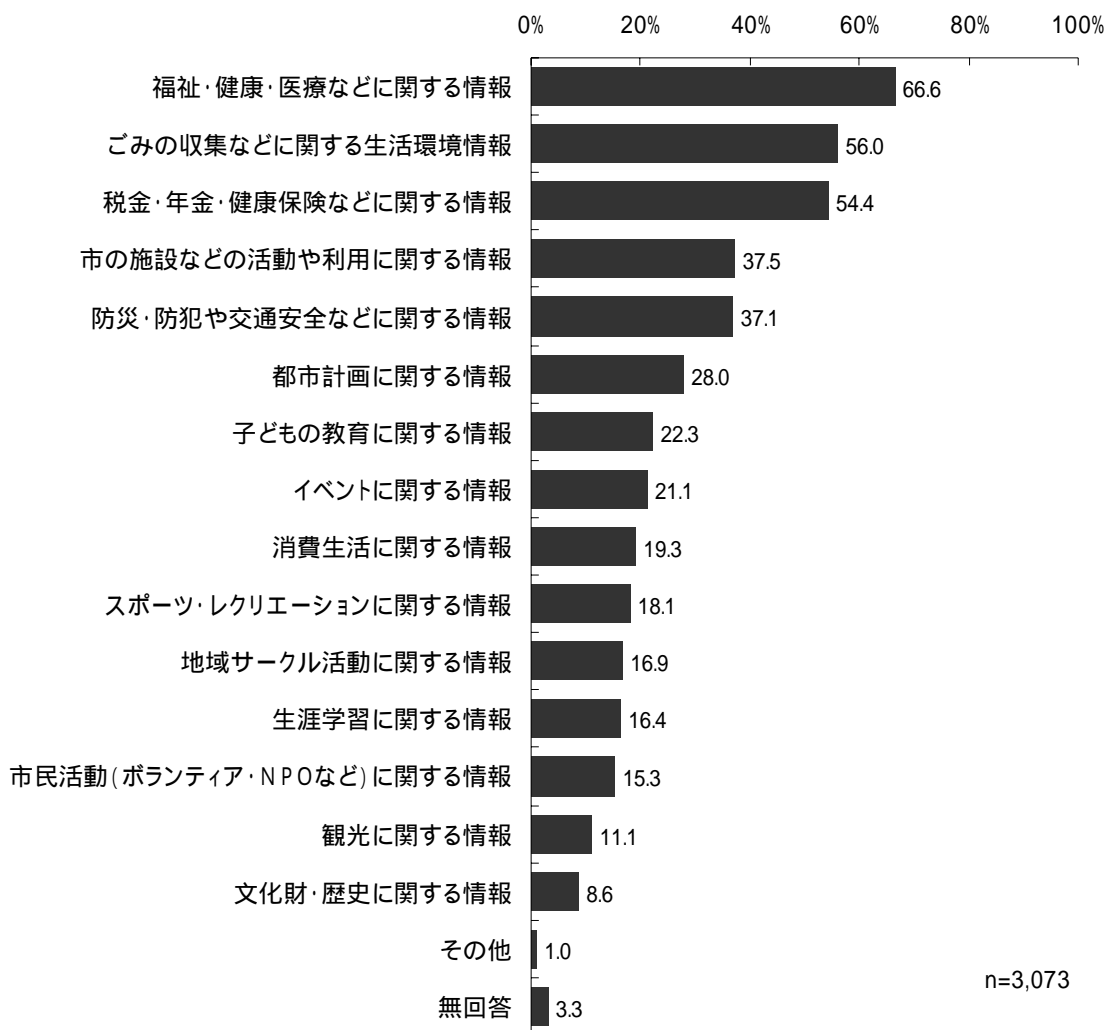


(2) 日常生活の中で必要な情報

問9 あなたは、日常生活の中で、市政に関するどのような情報が必要ですか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

日常生活の中で必要な情報については、「福祉・健康・医療などに関する情報」が 66.6%で最も高く、これに「ごみの収集などに関する生活環境情報」(56.0%)、「税金・年金・健康保険などに関する情報」(54.4%)が 5 割以上で続く結果であった。そのほか、「市の施設などの活動や利用に関する情報」(37.5%)、「防災・防犯や交通安全などに関する情報」(37.1%)が 3 割以上となっている。

図 37 日常生活の中で必要な情報



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の 30～40 歳代(43.7%、39.3%)と女性の 30～40 歳代(60.2%、45.9%)で「子どもの教育に関する情報」が高かった。男性の 30～40 歳代(44.0%、43.4%)で「都市計画に関する情報」が高い割合を示している。そのほか、男性の 40 歳では「スポーツ・レクリエーションに関する情報」も 30.9%と高かった。

「居住年数別」では、3 年未満(42.0%)、3 以上 5 年未満(46.3%)、5 以上 10 年未満(42.8%)、

10以上15年未満(32.7%)で「子どもの教育に関する情報」が高い割合を示している。

表 9 属性別の日常生活の中で必要な情報

(単位:%)

属性		件数 (n)	福祉・健康・医療 などに関する情 報	境 境情報 に に ごみの収集など に関する生活環 境情報	税金・年金・健康 保険などに関す る情報	活動や利用に関 する情報	市の施設などの 活動や利用に関 する情報	防災・防犯や交通 安全などに関す る情報	都市計画に関す る情報	子どもの教育に 関する情報	イベントに関す る情報	消費生活に関す る情報
全体		3,073	66.6	56.0	54.4	37.5	37.1	28.0	22.3	21.1	19.3	
性別	男性	1,214	60.9	49.3	54.0	33.4	36.5	36.3	18.3	18.5	16.6	
	女性	1,822	70.7	60.3	54.8	40.5	37.7	22.6	25.1	23.0	21.0	
年齢別(男性)	20歳代	89	44.9	52.8	60.7	36.0	30.3	37.1	16.9	16.9	19.1	
	30歳代	183	57.9	50.8	54.6	39.3	35.0	36.1	43.7	20.2	14.8	
	40歳代	191	53.9	58.6	47.1	37.2	44.0	44.0	39.3	22.0	18.3	
	50歳代	205	62.0	56.1	53.2	36.1	35.6	43.4	10.7	18.0	14.6	
	60歳代	306	67.0	46.1	58.2	31.0	38.2	33.3	5.2	21.6	17.0	
	70歳以上	238	65.5	37.4	51.7	26.1	32.8	27.7	5.9	11.8	17.2	
年齢別(女性)	20歳代	151	51.7	60.9	56.3	32.5	29.1	15.2	31.1	22.5	15.9	
	30歳代	344	72.4	65.7	53.5	45.6	38.4	25.9	60.2	32.0	20.3	
	40歳代	303	75.2	69.6	53.1	49.2	40.9	26.1	45.9	29.4	21.8	
	50歳代	330	73.9	67.3	63.0	42.7	41.2	25.5	10.9	23.6	25.2	
	60歳代	405	72.3	54.8	54.3	40.7	32.1	23.0	4.2	17.3	21.5	
	70歳以上	284	68.3	44.0	49.3	26.4	41.9	15.1	3.5	12.7	18.3	
居住年数別	3年未満	257	61.9	60.7	56.8	36.6	33.5	26.5	42.0	21.8	19.8	
	3以上5年未満	160	65.6	57.5	55.0	39.4	36.3	34.4	46.3	31.9	21.3	
	5以上10年未満	297	69.7	61.6	51.9	40.7	40.4	31.3	42.8	24.9	21.5	
	10以上15年未満	364	68.1	62.4	52.7	40.1	39.0	28.8	32.7	26.4	20.6	
	15以上20年未満	240	67.5	62.9	54.6	44.2	36.3	29.2	19.2	22.5	20.0	
	20年以上	1,454	68.4	51.0	54.7	36.5	37.1	26.4	9.1	18.1	19.2	
	生まれてからずっと	273	58.2	56.8	56.8	30.8	36.6	28.9	26.7	18.3	12.5	

(単位:%)

属性		件数 (n)	スポーツ・レクリ エーションに関す る情報	地域サークル活動 に関する情報	生涯学習に関す る情報	市民活動(ボラン ティア・NPOな ど)に関する情報	観光に関する情報	文化財・歴史に関 する情報	その他	無回 答
全体		3,073	18.1	16.9	16.4	15.3	11.1	8.6	1.0	3.3
性別	男性	1,214	19.2	13.0	14.0	12.9	11.0	10.9	1.4	3.1
	女性	1,822	17.6	19.5	18.1	17.0	11.4	7.1	0.8	3.0
年齢別(男性)	20歳代	89	20.2	7.9	9.0	11.2	13.5	5.6	1.1	1.1
	30歳代	183	22.4	10.9	8.7	9.8	10.4	9.8	1.6	1.6
	40歳代	191	30.9	9.9	10.5	7.9	12.6	8.4	1.0	1.0
	50歳代	205	20.5	12.7	19.0	13.2	8.8	10.7	1.0	2.0
	60歳代	306	16.0	18.3	20.6	20.3	12.7	15.7	1.3	3.6
	70歳以上	238	10.1	12.6	10.1	10.5	8.8	9.2	1.7	7.1
年齢別(女性)	20歳代	151	19.2	11.9	9.3	14.6	10.6	5.3	0.7	4.0
	30歳代	344	23.0	20.9	13.7	12.8	9.3	4.9	0.9	0.6
	40歳代	303	27.4	17.2	19.8	15.8	11.6	5.0	0.7	1.0
	50歳代	330	19.4	23.3	23.9	23.0	12.4	8.2	1.2	1.8
	60歳代	405	10.9	22.0	21.7	19.5	13.1	9.4	0.5	4.0
	70歳以上	284	7.4	16.2	13.7	13.7	10.6	8.1	1.1	6.7
居住年数別	3年未満	257	19.8	17.5	14.0	12.1	12.1	7.8	1.9	1.6
	3以上5年未満	160	21.3	18.8	11.9	12.5	11.3	4.4	1.3	1.3
	5以上10年未満	297	20.5	16.8	13.8	12.8	9.4	6.7	1.3	1.0
	10以上15年未満	364	22.3	16.2	19.0	17.0	11.3	6.3	0.8	3.3
	15以上20年未満	240	24.2	18.8	21.3	12.9	14.2	8.8	0.8	2.5
	20年以上	1,454	15.1	17.8	17.7	17.8	11.6	10.7	1.1	3.8
	生まれてからずっと	273	17.6	9.2	9.9	9.9	7.7	5.9	0.0	3.7

【経年比較】

回答の選択肢に変更があるため同一には比べられないため、参考コメントとする。

過去4回の調査と比較すると、「福祉・健康・医療などに関する情報」が変わらず1位であった。

また、2位以降も前回(平成16年度)とほぼ同じ傾向となっている。

表 10 日常生活の中で必要な情報(経年比較)

(単位:%)

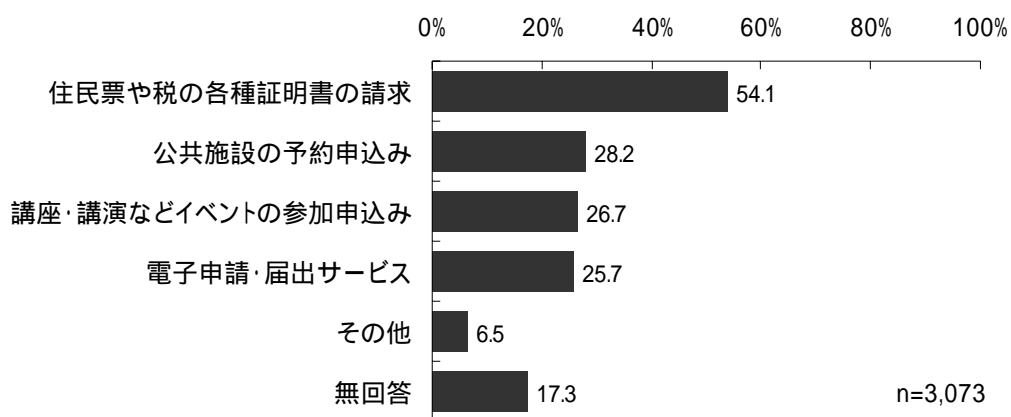
選択肢	平成20年度	平成16年度	平成11年度	平成7年度	平成4年度
福祉・健康・医療などに関する情報	66.6	61.0 (1)	60.8 (1)	50.1 (1)	46.1 (1)
ごみの収集などに関する生活環境情報	56.0	51.6 (2)	51.1 (2)	34.6 (4)	38.0 (3)
税金・年金・健康保険などに関する情報	54.4	44.9 (3)	-	-	-
市の施設などの活動や利用に関する情報	37.5	43.2 (4)	46.3 (3)	38.1 (3)	38.7 (2)
防災・防犯や交通安全などに関する情報	37.1	40.9 (5)	45.4 (4)	38.8 (2)	32.9 (4)
都市計画に関する情報	28.0	30.2 (6)	-	-	-
子どもの教育に関する情報	22.3	24.3 (8)	22.6 (7)	17.9 (8)	19.9 (7)
イベントに関する情報	21.1	25.5 (7)	20.9 (8)	17.9 (8)	16.9 (10)
消費生活に関する情報	19.3	23.1 (9)	20.9 (8)	16.6 (11)	18.9 (8)
スポーツ・レクリエーションに関する情報	18.1	22.0 (10)	23.0 (6)	22.4 (6)	23.6 (6)
地域サークル活動に関する情報	16.9	20.3 (11)	17.6 (12)	14.8 (12)	14.5 (12)
生涯学習に関する情報	16.4	16.6 (12)	-	-	-
市民活動(ボランティア・NPOなど)に関する情報	15.3	12.8 (13)	18.6 (11)	16.7 (10)	13.9 (13)
観光に関する情報	11.1	-	-	-	-
文化財・歴史に関する情報	8.6	12.2 (14)	12.4 (13)	13.7 (13)	16.1 (11)
住んでいる地域のかかえている問題に関する情報	-	-	36.4 (5)	27.9 (5)	27.2 (5)
文化に関する情報	-	-	19.6 (10)	20.0 (7)	18.5 (9)
その他	1.0	1.7 (15)	1.4 (14)	0.5 (14)	0.6 (14)

(3) 市ホームページで今後利用したい情報・サービス

問10 今後新座市のホームページで利用したい情報・サービスはどれですか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

市ホームページで今後利用したい情報・サービスについては、「住民票や税の各種証明書の請求」が54.1%と過半数以上を占め、最も高かった。これに「公共施設の予約申込み」(28.2%)、「講座・講演などイベントの参加申込み」(26.7%)、「電子申請・届出サービス」(25.7%)、「その他」(6.5%)の順で続いている。

図 38 市ホームページで今後利用したい情報・サービス



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20～40歳代と女性の20～40歳代で「住民票や税の各種証明書の請求」に次いで「電子申請・届出サービス」が高い割合を示している。そのほか、女性の50歳代で「講座・講演などイベントの参加申込み」が37.0%と高かった。

「職業別」については、会社員で「電子申請・届出サービス」(40.4%)が、教員・公務員で「講座・講演などイベントの参加申込み」(39.1%)が高い割合を示している。

表 11 属性別の市ホームページで今後利用したい情報・サービス

(単位:%)

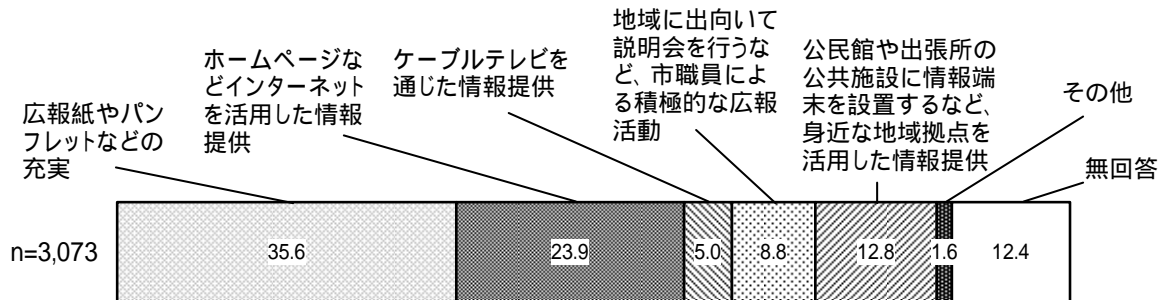
属性		件数 (n)	住民票や税の各種証明書の請求	公共施設の予約申込み	講座・講演などイベントの参加申込み	電子申請・届出サービス	その他	無回答
全体		3,073	54.1	28.2	26.7	25.7	6.5	17.3
性別	男性	1,214	55.2	27.0	25.3	28.0	7.0	14.6
	女性	1,822	53.7	28.9	27.9	24.4	6.2	18.9
年齢別 (男性)	20歳代	89	68.5	27.0	14.6	37.1	4.5	10.1
	30歳代	183	74.3	26.2	19.1	47.5	5.5	6.6
	40歳代	191	64.9	33.0	23.0	41.9	2.6	7.9
	50歳代	205	58.5	35.6	31.7	32.2	4.9	7.8
	60歳代	306	48.4	25.2	34.6	16.7	7.8	17.6
	70歳以上	238	33.6	18.1	18.5	8.8	13.4	29.8
年齢別 (女性)	20歳代	151	64.9	28.5	17.2	39.7	3.3	10.6
	30歳代	344	73.0	33.4	25.9	40.4	3.5	4.9
	40歳代	303	68.0	36.3	30.0	37.6	6.9	5.9
	50歳代	330	59.1	36.4	37.0	26.1	6.1	13.0
	60歳代	405	37.3	24.0	28.1	7.9	7.9	29.4
	70歳以上	284	26.4	14.4	22.9	3.9	7.7	45.8
職業別	自営業	218	49.5	24.8	20.2	17.9	6.4	22.9
	会社員	810	65.6	31.1	24.8	40.4	4.2	7.9
	教員・公務員	115	57.4	35.7	39.1	30.4	3.5	7.8
	会社・団体などの役員	42	69.0	21.4	28.6	28.6	7.1	9.5
	パートタイマーなど	435	61.4	33.1	30.6	26.9	6.2	12.0
	学生	52	65.4	28.8	17.3	34.6	3.8	7.7
	家事従事者	513	55.2	28.3	29.8	24.2	5.8	20.1
	無職	692	37.7	22.0	24.6	11.4	10.1	29.5
	その他	148	48.6	27.0	28.4	23.0	8.8	16.2

(4) 市政情報の提供で力を入れるべきもの

問11 あなたは、市政情報の提供に関して、今後、市がどのような点に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

市政情報の提供に関する力入れ方については、「広報紙やパンフレットなどの充実」が35.6%で最も高く、これに「ホームページなどインターネットを活用した情報提供」(23.9%)、「公民館や出張所の公共施設に情報端末を設置するなど、身近な地域拠点を活用した情報提供」(12.8%)が続く結果であった。

図 39 市政情報で力を入れるべきもの



【経年比較】

前回調査結果との比較では、大きな特徴は見られなかった。

図 40 市政情報で力を入れるべきもの(経年比較)

- 広報紙やパンフレットなどの充実
- ホームページなどインターネットを活用した情報提供
- ケーブルテレビを通じた情報提供
- 地域に出向いて説明会を行うなど、市職員による積極的な広報活動
- 公民館や出張所の公共施設に情報端末を設置するなど、身近な地域拠点を活用した情報提供
- その他
- 無回答



【属性別の傾向】

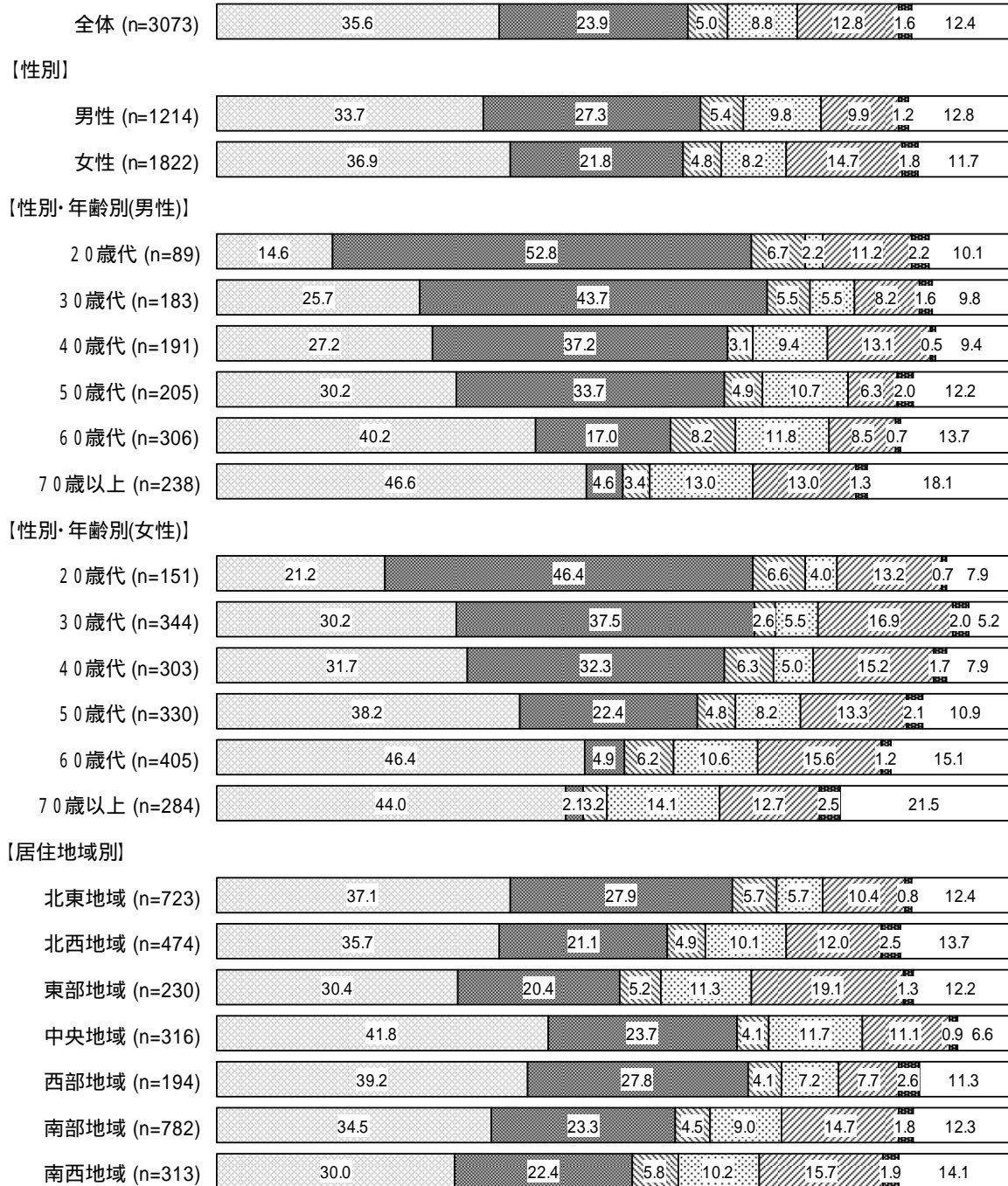
「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20～50歳代と女性の20～40歳代で「ホームページなどインターネットを活用した情報提供」が高い割合を示しているのに対し、男性の60～70歳以上と女性の60～70歳以上では低い割合を示している。

「居住地域別」を見ると、東部地域で「公民館や出張所の公共施設に情報端末を設置するなど、身近な地域拠点を活用した情報提供」が19.1%と高いのに対し、西部地域では7.7%と低かった。

図 4-1 属性別の市政情報で力を入れるべきもの

- 広報紙やパンフレットなどの充実
- ホームページなどインターネットを活用した情報提供
- ▨ ケーブルテレビを通じた情報提供
- ▩ 地域に出向いて説明会を行うなど、市職員による積極的な広報活動
- ▧ 公民館や出張所の公共施設に情報端末を設置するなど、身近な地域拠点を活用した情報提供
- その他
- 無回答



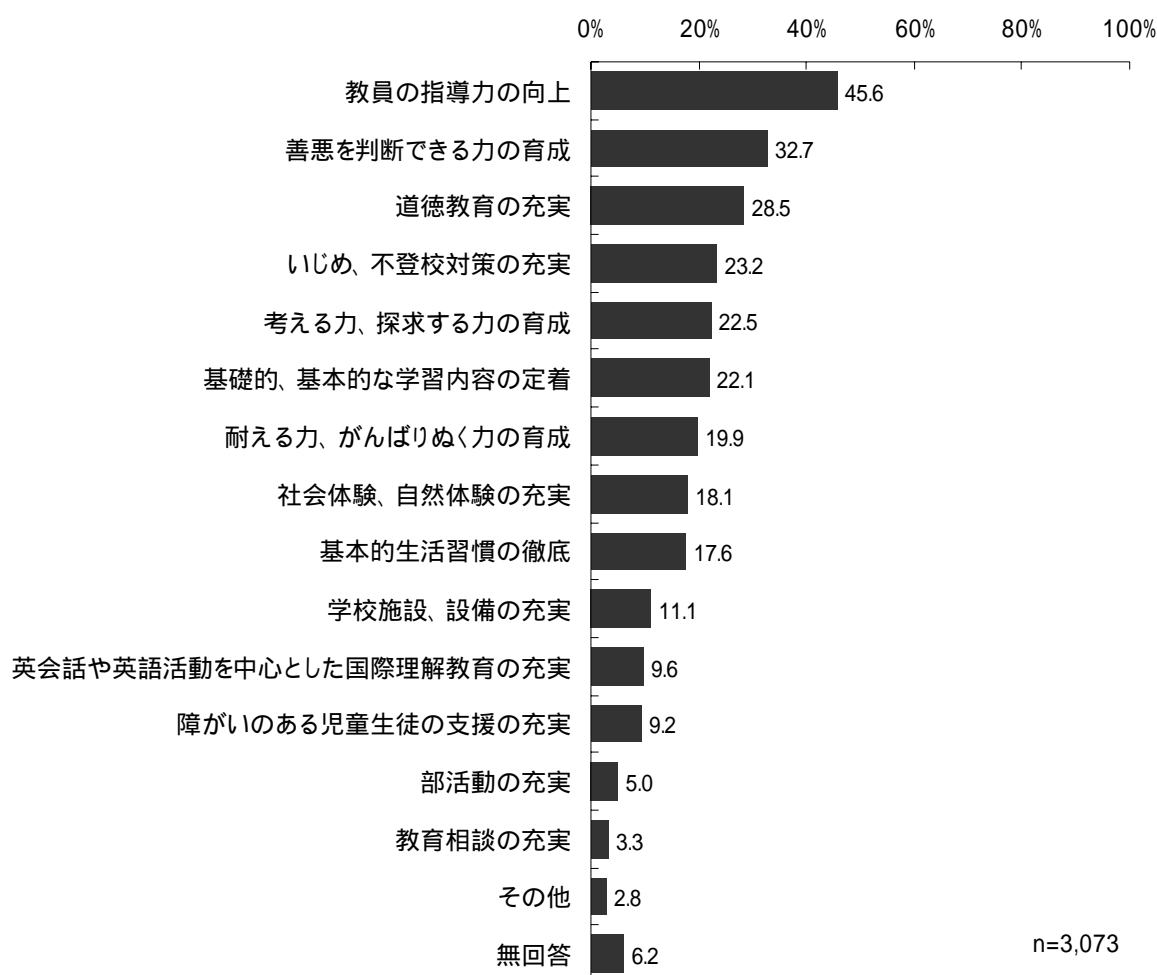
7 学校教育について

(1) 学校教育で力を入れるべき内容

問12 あなたは、新座市の学校教育を更に行き届いたものにするためには、市が特に何に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

市が特に力を入れるべき学校教育内容については、「教員の指導力の向上」(45.6%)が4割以上で最も高かった。これに「善悪を判断できる力の育成」(32.7%)が3割以上、「道徳教育の充実」(28.5%)、「いじめ、不登校対策の充実」(23.2%)、「考える力、探求する力の育成」(22.5%)、「基礎的、基本的な学習内容の定着」(22.1%)が2割以上で続く結果となっている。

図 4.2 学校教育で力を入れるべき内容



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性と女性の40歳代(56.0%、60.7%)で「教員の指導力の向上」が高いのに対し、男性の20～30歳代(33.7%、33.3%)では低くなっている。また、男性の70歳以上(40.8%)では「道徳教育の充実」が高いのに対し、女性の20～30歳代(15.9%、15.1%)では低かった。

表 12 属性別の学校教育で市が力を入れるべき内容

(単位:%)

属性		件数 (n)	教員の 指導力の向上	善悪を判断 できる力の育成	道徳教育の充実	いじめ、不登校 対策の充実	考える力、探求 する力の育成	基礎的、基本的な 学習内容の定着	耐える力、がんばり ぬく力の育成	社会体験、自然 体験の充実
全体		3,073	45.6	32.7	28.5	23.2	22.5	22.1	19.9	18.1
性別	男性	1,214	42.2	35.7	33.4	21.9	25.0	20.7	20.3	18.0
	女性	1,822	47.9	31.0	25.5	24.1	21.1	23.1	19.8	18.2
年齢別 (男性)	20歳代	89	33.7	25.8	23.6	20.2	28.1	27.0	29.2	24.7
	30歳代	183	33.3	32.2	31.7	25.7	29.0	21.3	23.5	25.1
	40歳代	191	56.0	34.0	27.2	24.6	26.2	21.5	13.1	13.1
	50歳代	205	46.3	39.0	38.0	22.0	25.4	19.5	14.1	18.0
	60歳代	306	40.8	40.2	32.4	25.5	27.1	18.6	20.9	19.6
	70歳以上	238	39.1	34.9	40.8	13.0	16.4	21.0	24.8	11.8
年齢別 (女性)	20歳代	151	39.1	23.8	15.9	31.8	19.2	24.5	21.2	20.5
	30歳代	344	47.7	26.7	15.1	27.6	25.9	26.2	19.2	28.2
	40歳代	303	60.7	24.4	22.1	23.4	23.1	25.4	15.8	16.2
	50歳代	330	53.3	32.1	33.0	23.6	21.2	23.6	17.3	20.0
	60歳代	405	44.2	36.5	30.4	23.5	20.2	23.0	23.0	13.8
	70歳以上	284	38.7	38.0	30.6	18.7	15.1	16.2	22.9	11.3

(単位:%)

属性		件数 (n)	基本的 生活習慣の徹底	学校施設、 設備の充実	英会話や英語活動を中心 とした国際理解教育の充実	障がいのある児童生徒の 支援の充実	部活動の充実	教育相談の充実	その他	無回答
全体		3,073	17.6	11.1	9.6	9.2	5.0	3.3	2.8	6.2
性別	男性	1,214	17.1	8.6	10.0	7.5	6.3	2.4	3.5	5.2
	女性	1,822	18.1	12.7	9.3	10.3	4.2	3.8	2.4	6.5
年齢別 (男性)	20歳代	89	15.7	9.0	9.0	9.0	13.5	2.2	2.2	1.1
	30歳代	183	11.5	12.0	9.8	7.7	7.1	4.9	3.3	4.4
	40歳代	191	17.3	17.8	10.5	6.8	7.3	2.1	6.3	0.5
	50歳代	205	15.6	5.9	12.7	8.8	8.3	2.9	5.9	3.9
	60歳代	306	20.6	5.9	11.4	8.5	4.6	1.6	2.0	4.2
	70歳以上	238	18.5	4.2	6.3	5.0	2.9	1.3	2.1	13.4
年齢別 (女性)	20歳代	151	12.6	15.2	15.9	15.9	8.6	7.9	4.6	1.3
	30歳代	344	14.0	20.1	11.3	10.8	3.5	5.2	2.9	1.2
	40歳代	303	13.2	21.8	12.2	10.9	7.9	5.0	3.0	2.3
	50歳代	330	23.0	10.6	7.9	11.2	4.8	3.3	2.4	2.4
	60歳代	405	26.7	6.4	7.2	7.9	1.7	1.2	0.5	8.9
	70歳以上	284	13.4	4.6	4.9	8.8	1.8	3.2	2.5	20.8

【経年比較】

回答の選択肢に変更があるため同一には比べられないため、参考コメントとする。
過去2回の調査結果と比較すると、1位、2位は変わらず、3位以降に変化が見られた。
前回3位の「耐える力、がんばりぬく力の育成」が今回は7位であった。

表 13 学校教育で力を入れるべき内容(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成 20 年度		平成 16 年度		平成 11 年度	
教員の指導力の向上	45.6	54.4	(1)	38.3	(1)	
善悪を判断できる力の育成	32.7	45.4	(2)	31.4	(2)	
道徳教育の充実	28.5	27.8	(4)	20.0	(5)	
いじめ、不登校対策の充実	23.2	-	-	-	-	
考える力、探求する力の育成	22.5	26.2	(5)	17.7	(6)	
基礎的、基本的な学習内容の定着	22.1	25.8	(6)	13.5	(9)	
耐える力、がんばりぬく力の育成	19.9	30.8	(3)	22.1	(4)	
社会体験、自然体験の充実	18.1	21.8	(7)	16.6	(8)	
基本的生活習慣の徹底	17.6	21.7	(8)	13.4	(10)	
学校施設、設備の充実	11.1	8.5	(9)	6.6	(11)	
英会話や英語活動を中心とした国際理解教育の充実	9.6	-	-	-	-	
障がいのある児童生徒の支援の充実	9.2	-	-	-	-	
部活動の充実	5.0	6.6	(10)	3.4	(13)	
教育相談の充実	3.3	3.7	(11)	1.8	(15)	
温かい人間関係、信頼関係の構築	-	-	-	29.1	(3)	
家庭、学校、地域の連携による教育の充実	-	-	-	17.7	(6)	
保護者が教育現場を見学でこる機会を増やす	-	-	-	5.9	(12)	
その他	2.8	3.1	(12)	3.3	(14)	

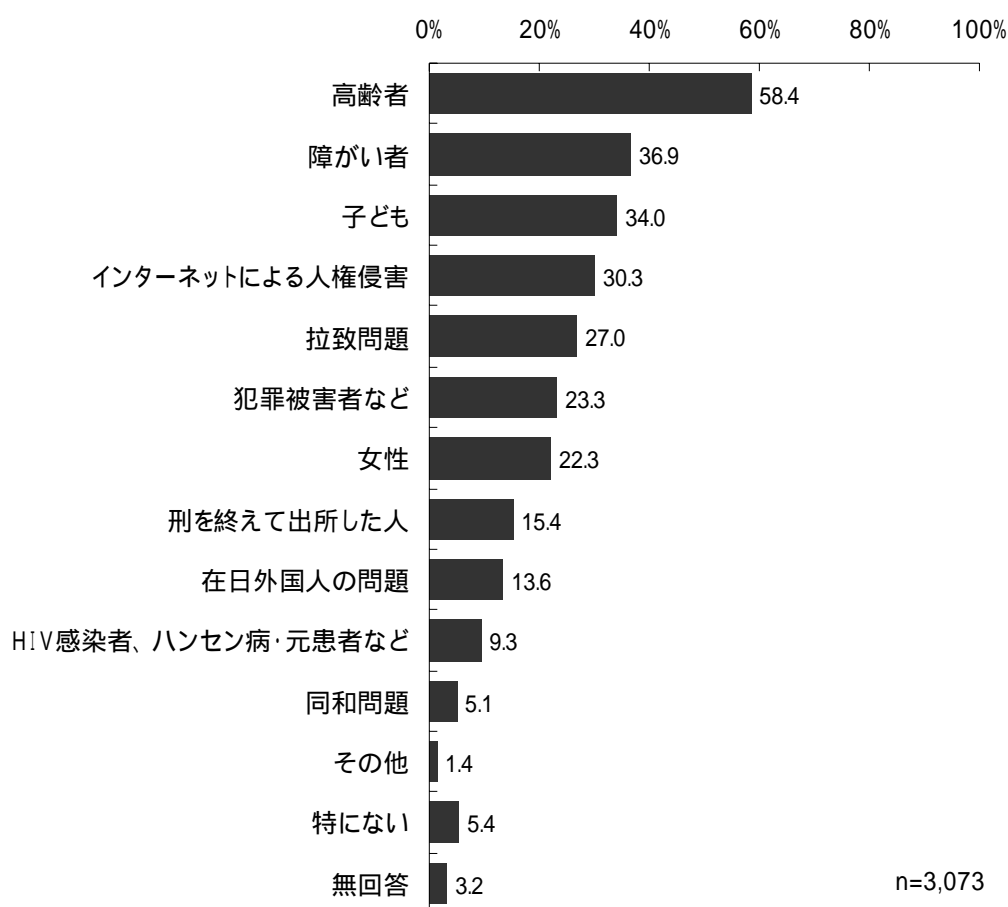
8 人権について

(1) 関心のある人権問題

問13 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

関心のある人権問題については、「高齢者」が 58.4%と過半数以上を占め、最も高かった。これに「障がい者」(36.9%)、「子ども」(34.0%)、「インターネットによる人権侵害」(30.3%)が3割以上で続く結果となっている。

図 43 関心のある人権問題



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男女の60～70歳以上で「高齢者」が高いのに対し、男女の20～40歳代では低くなっている。そのほか、女性の20～40歳代で「女性」が高い割合を示している。

表 14 属性別の関心のある人権問題

(単位:%)

属性	件数 (n)	高齢者	障がい者	子ども	インターネットによる人権侵害	拉致問題	犯罪被害者など	女性	
全体	3,073	58.4	36.9	34.0	30.3	27.0	23.3	22.3	
性別	男性	1,214	56.4	34.9	30.9	30.1	25.3	22.7	12.4
	女性	1,822	59.9	38.3	36.3	30.5	28.3	23.6	29.1
年齢別(男性)	20歳代	89	39.3	33.7	32.6	42.7	12.4	27.0	16.9
	30歳代	183	37.7	31.7	43.2	39.3	21.9	29.0	15.8
	40歳代	191	38.7	29.3	32.5	40.3	29.3	28.8	12.0
	50歳代	205	51.7	37.6	26.8	33.7	26.3	19.0	14.6
	60歳代	306	72.2	38.6	26.1	24.2	26.8	19.0	11.1
	70歳以上	238	75.2	35.3	28.6	15.1	26.5	19.7	7.6
年齢別(女性)	20歳代	151	34.4	36.4	36.4	38.4	17.2	25.8	39.7
	30歳代	344	45.6	37.8	56.4	41.0	18.9	27.0	40.4
	40歳代	303	45.5	35.0	44.2	40.9	24.1	21.1	37.6
	50歳代	330	66.4	40.9	27.9	30.0	32.1	27.0	27.3
	60歳代	405	73.6	37.5	28.9	22.7	38.3	21.7	20.0
	70歳以上	284	79.9	42.3	24.3	14.4	31.7	19.7	15.8

(単位:%)

属性	件数 (n)	た人を終えて出所し	在日外国人の問題	同和問題	HIV感染者、ハンセン病・元患者など	その他	特にない	無回答	
全体	3,073	15.4	13.6	5.1	9.3	1.4	5.4	3.2	
性別	男性	1,214	13.8	16.2	5.5	8.9	1.9	6.1	2.7
	女性	1,822	16.6	11.8	4.7	9.7	1.0	4.9	3.1
年齢別(男性)	20歳代	89	23.6	21.3	6.7	15.7	2.2	5.6	1.1
	30歳代	183	14.8	13.7	7.1	13.1	2.2	8.2	1.6
	40歳代	191	19.4	19.4	6.8	9.9	2.1	6.3	0.5
	50歳代	205	11.2	16.6	5.9	8.8	2.9	9.3	2.0
	60歳代	306	12.1	17.6	3.6	7.2	2.0	3.9	2.9
	70歳以上	238	9.7	11.3	5.0	4.6	0.4	4.6	6.3
年齢別(女性)	20歳代	151	25.2	16.6	6.0	13.9	2.0	6.0	2.0
	30歳代	344	18.9	12.5	4.4	12.2	0.9	5.8	0.3
	40歳代	303	17.5	14.5	5.3	13.9	1.0	5.9	2.6
	50歳代	330	17.3	13.0	7.3	10.6	0.6	4.2	2.1
	60歳代	405	12.1	10.1	4.0	5.4	0.7	4.0	4.7
	70歳以上	284	14.1	6.7	2.1	5.3	1.4	4.6	5.6

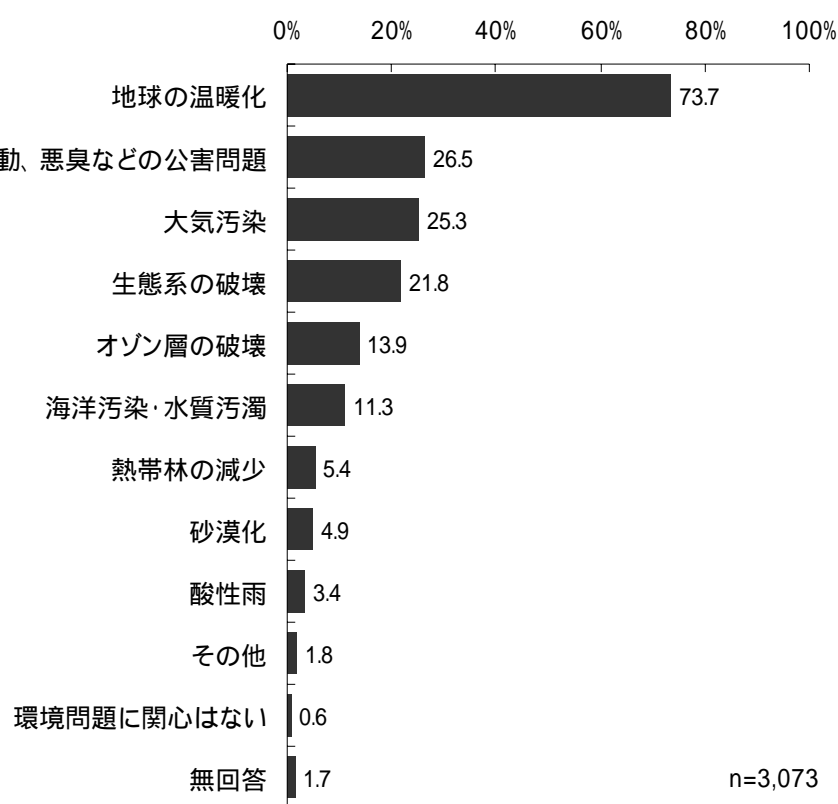
9 環境問題について

(1) 環境問題の関心課題

問14 あなたが、環境問題について、特に関心のある項目はどれですか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

環境問題の関心課題については、「地球の温暖化」が73.7%と全体の7割以上を占め、最も高かった。これに「騒音、振動、悪臭などの公害問題」(26.5%)、「大気汚染」(25.3%)、「生態系の破壊」(21.8%)が2割以上で続いている。

図 44 環境問題の関心課題



【属性別の傾向】

すべての属性で大きな特徴は見られなかった。

表 15 属性別の地球環境問題の関心課題

(単位:%)

属性	件数 (n)	地球の温暖化	騒音、振動、悪臭などの 公害問題	大気汚染	生態系の破壊	オゾン層の破壊	海洋汚染・水質汚濁	熱帯林の減少	砂漠化	酸性雨	その他	環境問題に関心はない	無回答	
全体	3,073	73.7	26.5	25.3	21.8	13.9	11.3	5.4	4.9	3.4	1.8	0.6	1.7	
性別	男性	1,214	68.1	29.7	24.1	23.2	13.2	12.0	6.2	5.1	3.9	2.6	0.4	1.6
	女性	1,822	77.8	24.5	26.1	20.9	14.4	10.6	5.0	4.9	3.2	1.3	0.8	1.4
年齢別 (男性)	20歳代	89	68.5	31.5	24.7	22.5	19.1	7.9	11.2	1.1	2.2	1.1	0.0	0.0
	30歳代	183	68.9	27.9	25.1	22.4	13.1	15.3	4.4	5.5	1.6	2.7	0.5	0.5
	40歳代	191	72.8	27.7	17.3	25.7	14.1	13.1	6.8	8.4	1.6	3.7	0.0	1.0
	50歳代	205	63.9	29.8	20.5	25.9	13.2	11.7	5.4	4.9	3.9	4.9	1.0	1.5
	60歳代	306	71.6	31.0	23.9	24.5	14.4	11.8	5.9	3.9	4.6	1.3	0.0	1.0
	70歳以上	238	63.0	30.3	32.4	18.1	8.8	10.9	6.3	5.0	7.1	1.7	0.8	4.2
	20歳代	151	77.5	22.5	20.5	20.5	11.3	16.6	7.9	4.6	2.0	1.3	2.6	0.0
年齢別 (女性)	30歳代	344	80.2	21.2	26.7	21.8	17.2	10.5	4.7	7.0	2.6	1.7	0.3	0.0
	40歳代	303	80.2	25.4	18.5	26.1	18.8	8.3	3.6	4.0	3.0	1.3	0.3	0.3
	50歳代	330	76.7	27.6	28.2	21.5	16.1	8.5	3.9	3.9	2.4	1.2	0.9	0.6
	60歳代	405	78.5	24.2	28.4	20.7	12.3	12.1	5.7	5.2	3.5	0.7	0.0	1.5
	70歳以上	284	72.5	25.0	31.0	14.1	9.2	10.9	5.6	4.2	5.3	1.8	1.8	5.3
	北東地域	723	76.1	23.8	24.2	24.6	13.7	10.9	4.8	5.9	3.0	1.9	0.6	1.7
	北西地域	474	71.5	24.3	29.5	20.5	13.7	12.7	5.5	6.1	3.4	1.9	0.0	1.5
東部地域	230	65.7	30.0	28.3	18.7	13.9	11.7	5.2	4.8	3.9	1.3	1.3	2.2	
中央地域	316	74.1	29.4	21.5	18.0	12.7	12.0	5.4	4.7	4.4	1.9	1.6	1.3	
西部地域	194	79.4	25.8	23.7	18.0	13.9	13.9	3.6	5.7	2.6	3.1	0.5	0.0	
南部地域	782	74.9	25.8	25.6	22.5	15.3	10.7	6.3	3.7	3.1	1.8	0.6	1.5	
南西地域	313	71.9	33.2	24.9	24.0	13.7	8.0	6.4	3.8	4.2	1.0	0.3	1.0	

【経年比較】

回答の選択肢に変更があるため同一には比べられないため、参考コメントとする。

「地球の温暖化」が前回同様、最も高かった。

表 16 地球環境問題の関心課題(経年比較)

(単位:%)

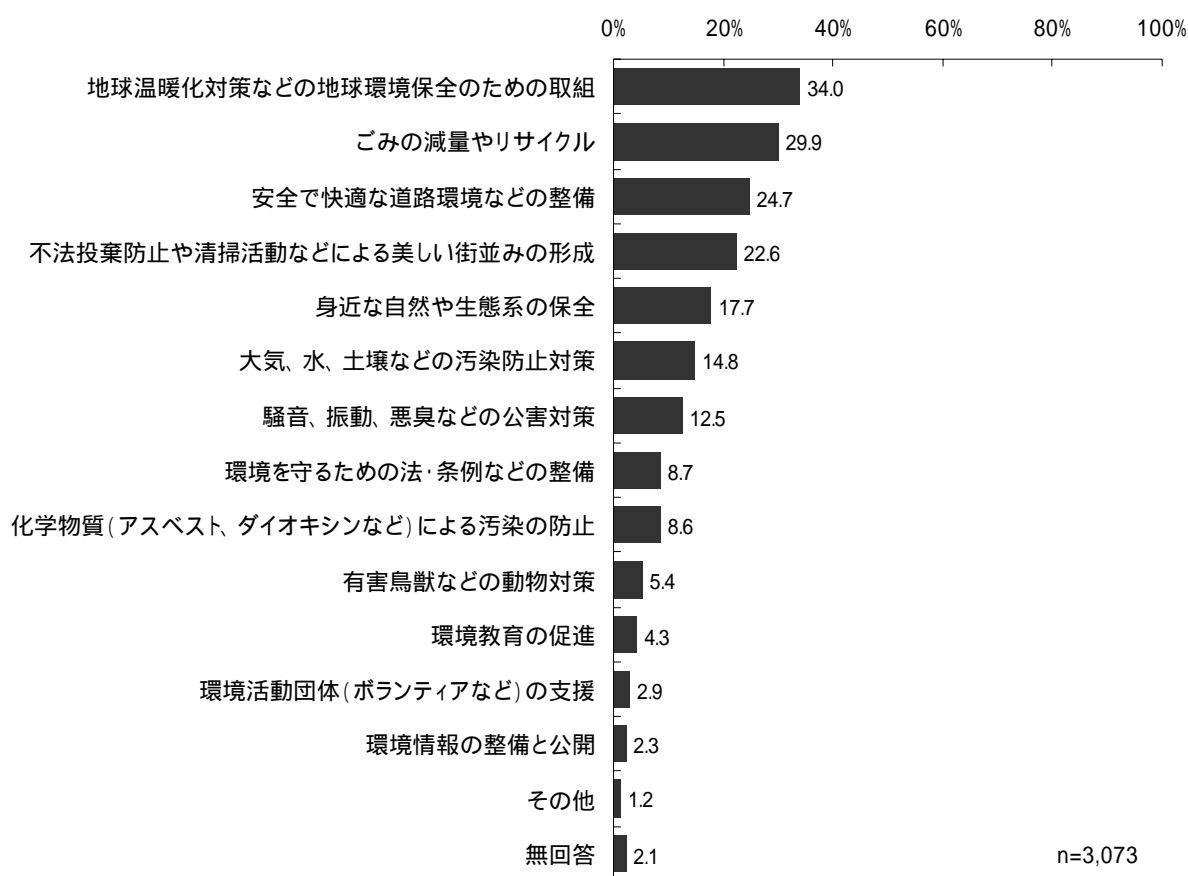
選択肢	平成 20 年度	平成 16 年度	
地球の温暖化	73.7	85.6	(1)
騒音、振動、悪臭などの公害問題	26.5	13.4	(3)
大気汚染	25.3	-	-
生態系の破壊	21.8	10.9	(5)
オゾン層の破壊	13.9	38.5	(2)
海洋汚染・水質汚濁	11.3	11.7	(4)
熱帯林の減少	5.4	6.4	(8)
砂漠化	4.9	7.5	(7)
酸性雨	3.4	9.8	(6)
その他	1.8	1.5	(9)
環境問題に関心はない	0.6	-	-

(2) 市に望む環境に関する施策

問15 あなたが環境に関する施策として、市に望むことはなんですか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

市に望む環境に関する施策については、「地球温暖化対策などの地球環境保全のための取組」が34.0%で最も高く、これに「ごみの減量やリサイクル」(29.9%)、「安全で快適な道路環境などの整備」(24.7%)、「不法投棄防止や清掃活動などによる美しい街並みの形成」(22.6%)が2割以上で続く結果であった。

図 45 市に望む環境に関する施策



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の30歳代(36.6%)で「安全で快適な道路環境などの整備」が、女性の20歳代(41.7%)で「ごみの減量やリサイクル」が高い割合を示している。

「職業別」を見ると、教員・公務員で「ごみの減量やリサイクル」が42.6%と高かった。

表 17 属性別の市に望む環境に関する施策

(単位:%)

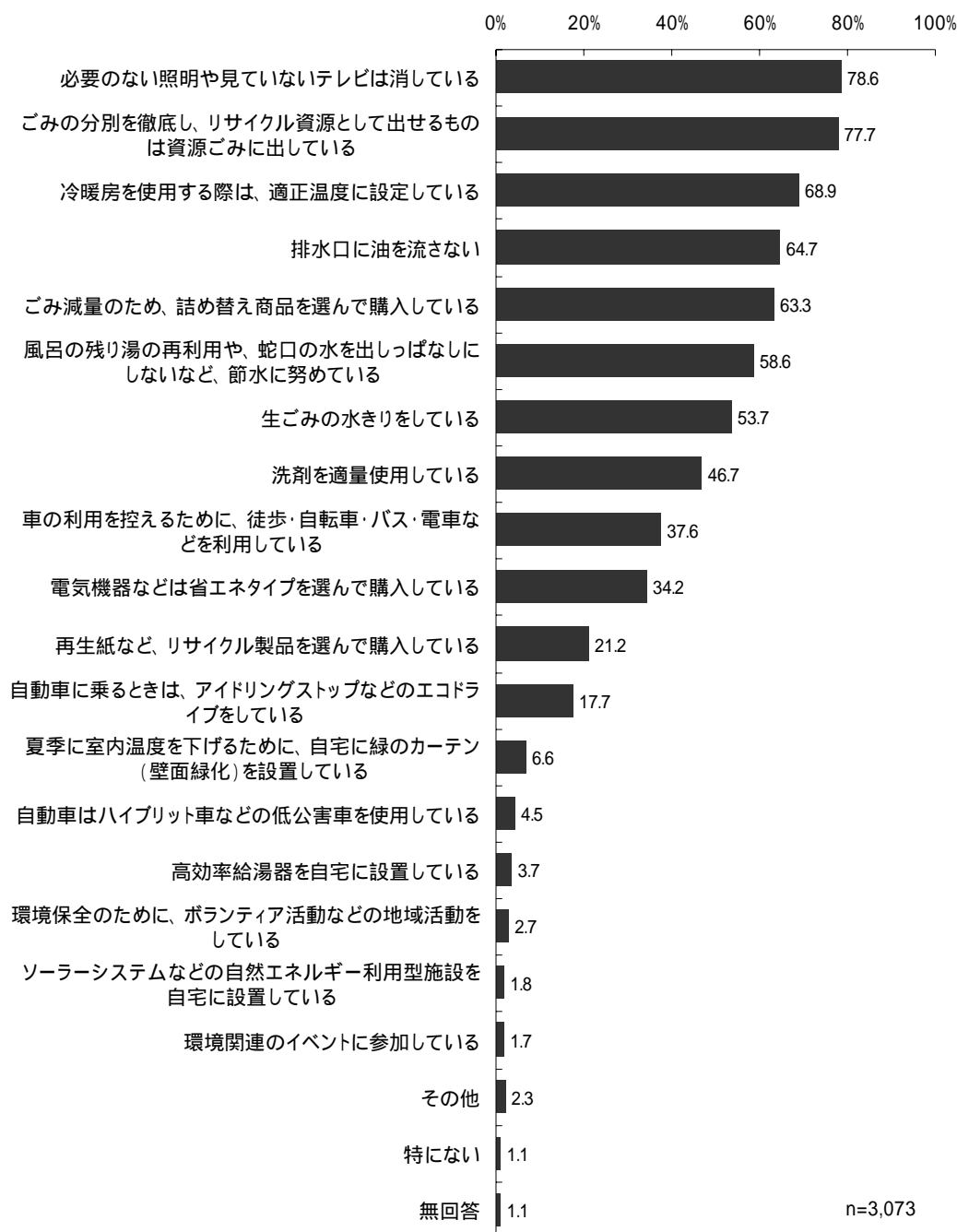
属性		件数 (n)	地球温暖化対策などの地球環境保全のための取組	ごみの減量やリサイクル	安全で快適な道路環境などの整備	不法投棄防止や清掃活動などによる美しい街並みの形成	身近な自然や生態系の保全	大気、水、土壌などの汚染防止対策	騒音、振動、悪臭などの公害対策	環境を守るための法・条例などの整備	化学物質(アスベスト、ダイオキシンなど)による汚染の防止	有害鳥獣などの動物対策	環境教育の促進	環境活動団体(ボランティアなど)の支援	環境情報の整備と公開	その他	無回答
全体		3,073	34.0	29.9	24.7	22.6	17.7	14.8	12.5	8.7	8.6	5.4	4.3	2.9	2.3	1.2	2.1
性別	男性	1,214	30.5	25.5	25.0	27.0	20.6	14.2	14.5	9.5	7.5	4.9	3.6	2.8	3.0	1.7	1.7
	女性	1,822	36.4	33.0	24.6	19.6	16.0	15.1	11.2	8.3	9.2	5.7	4.8	3.0	1.8	0.9	2.0
年齢別(男性)	20歳代	89	34.8	30.3	27.0	14.6	20.2	15.7	19.1	1.1	13.5	5.6	4.5	5.6	2.2	1.1	0.0
	30歳代	183	24.0	26.8	36.6	25.1	15.8	14.8	14.8	7.7	9.8	3.8	6.6	0.5	2.7	1.6	1.6
	40歳代	191	26.2	27.2	26.2	27.7	23.0	10.5	13.6	12.6	8.9	3.7	4.7	3.1	2.1	2.1	0.5
	50歳代	205	25.4	24.4	22.4	28.8	23.9	12.2	16.1	8.8	8.3	5.4	3.4	3.4	3.9	3.4	1.0
	60歳代	306	37.6	23.2	21.2	31.7	22.9	15.7	12.4	12.1	3.9	4.6	2.3	2.9	2.3	1.3	1.0
	70歳以上	238	32.4	24.8	21.8	24.8	16.4	16.0	14.7	8.8	6.3	6.7	2.1	2.5	4.6	0.8	5.0
	年齢別(女性)	20歳代	151	37.7	41.7	21.2	18.5	17.9	11.3	15.2	4.6	8.6	3.3	6.0	3.3	2.0	1.3
30歳代		344	28.8	36.9	27.6	22.1	15.4	16.0	9.9	6.4	12.5	5.2	4.1	2.0	2.9	1.5	0.6
40歳代		303	38.6	33.7	30.4	15.8	11.9	13.9	11.6	9.2	8.9	6.3	8.3	2.0	2.0	1.0	0.3
50歳代		330	37.6	30.9	26.7	20.6	17.9	14.5	11.8	10.3	9.4	3.3	4.5	3.3	2.4	0.6	0.9
60歳代		405	40.7	29.1	19.5	20.2	18.0	19.8	9.9	8.1	8.4	5.9	4.2	3.0	1.2	0.5	3.0
70歳以上		284	34.5	31.0	21.5	19.7	14.8	11.6	11.3	9.5	6.7	9.5	2.5	4.9	0.4	0.7	5.6
職業別		自営業	218	34.9	28.4	24.8	25.2	22.0	12.4	14.2	7.8	6.0	6.0	5.5	1.8	2.3	0.9
	会社員	810	31.0	31.0	27.2	25.6	19.1	13.8	14.3	9.3	8.1	4.3	4.7	2.5	2.2	1.1	0.7
	教員・公務員	115	30.4	42.6	16.5	21.7	22.6	13.9	8.7	7.8	6.1	1.7	5.2	2.6	1.7	3.5	0.0
	会社・団体などの役員	42	31.0	28.6	28.6	21.4	35.7	16.7	7.1	7.1	2.4	2.4	2.4	4.8	7.1	0.0	0.0
	パートタイマーなど	435	36.6	32.0	27.6	20.7	15.4	12.2	11.5	7.8	10.8	5.3	4.1	3.0	3.7	0.7	1.8
	学生	52	46.2	38.5	11.5	17.3	11.5	17.3	15.4	3.8	7.7	3.8	5.8	7.7	5.8	0.0	1.9
	家事従事者	513	34.5	28.7	27.3	18.7	15.2	17.3	11.3	7.8	11.7	6.2	4.9	2.9	0.8	1.2	1.8
	無職	692	34.5	27.7	20.8	24.6	17.1	16.2	12.1	10.4	6.8	6.9	3.2	3.3	2.2	0.9	3.3
	その他	148	37.2	25.7	24.3	15.5	16.2	15.5	12.8	8.8	9.5	5.4	4.1	3.4	2.7	4.1	2.0

(3) 環境に負荷をかけないために実践、心がけていること

問16 あなたが、環境に負荷をかけないために実践していること、心がけていることはありますか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

環境に負荷をかけないために実践、心がけていることについては、「必要のない照明や見ていないテレビは消している」が78.6%で最も高かった。また、「ごみの分別を徹底し、リサイクル資源として出せるものは資源ごみに出している」も77.7%と高く、上記2つが7割以上を占めている。これに「冷暖房を使用する際は、適正温度に設定している」(68.9%)、「排水口に油を流さない」(64.7%)、「ごみ減量のため、詰め替え商品を選んで購入している」(63.3%)が6割以上で続く結果となっている。

図 46 環境に負荷をかけないために実践、心がけていること



【属性別の傾向】

「性別」では、男性の回答割合が全体に比べて全般的に低かった。女性はすべての項目で全体を上回っている。

「性別・年齢別」についても「性別」と同様に、男性の各年齢で全体に比べて低い傾向が見られ、女性の各年齢で高い傾向が見られた。

「職業別」を見ると、家事従事者で全体より高い傾向が見られ、学生で低い傾向が見られた。

表 18 属性別の環境に負荷をかけないために実践、心がけていること

(単位:%)

属性		件数 (n)	必要のない照明や見ていないテレビは消している	ごみの分別を徹底し、リサイクル資源として出せるものは資源ごみに出している	冷暖房を使用する際は、適正温度に設定している	排水口に油を流さない	ごみ減量のため、詰め替え商品を選んで購入している	風呂の残り湯の再利用や、蛇口の水を出しっぱなしにしないなど、節水に努めている	生ごみの水きりをしている	洗剤を適量使用している	歩・自転車・バス・電車などを利用している	電気機器などは省エネタイプを選んで購入している	再生紙など、リサイクル製品を選んで購入している
全体		3,073	78.6	77.7	68.9	64.7	63.3	58.6	53.7	46.7	37.6	34.2	21.2
性別	男性	1,214	73.6	69.7	62.9	50.6	50.1	51.0	38.0	33.5	34.0	29.5	16.9
	女性	1,822	82.3	83.3	73.3	74.3	72.2	63.9	64.4	55.6	40.0	37.2	24.1
年齢別(男性)	20歳代	89	64.0	53.9	57.3	40.4	56.2	38.2	27.0	30.3	29.2	24.7	11.2
	30歳代	183	69.4	62.8	60.7	48.1	58.5	56.8	30.1	27.9	33.9	28.4	12.0
	40歳代	191	74.9	75.4	61.8	49.2	60.7	51.3	30.9	36.1	33.0	29.8	15.2
	50歳代	205	70.2	67.8	65.4	48.8	51.2	46.8	34.1	35.1	31.7	32.7	17.1
	60歳代	306	76.8	74.5	65.4	55.6	47.7	53.6	47.7	35.3	35.0	31.7	17.6
	70歳以上	238	78.2	71.4	62.6	52.9	34.5	51.3	44.1	33.2	37.4	26.1	23.1
	年齢別(女性)	20歳代	151	74.8	60.9	68.9	47.0	66.2	54.3	46.4	38.4	41.1	22.5
30歳代		344	88.1	79.9	74.7	69.8	75.0	70.9	54.9	51.2	36.0	38.7	18.0
40歳代		303	86.1	85.1	71.6	75.6	79.5	65.0	61.1	57.4	32.0	43.6	20.5
50歳代		330	79.4	85.8	73.6	79.4	76.1	60.3	70.9	63.9	42.4	43.6	25.5
60歳代		405	80.0	90.1	76.5	82.2	73.8	66.7	72.8	57.3	45.4	36.5	30.9
70歳以上		284	82.0	84.5	71.1	76.1	58.1	59.9	69.0	55.6	41.5	29.9	29.9
職業別		自営業	218	75.2	69.3	64.7	61.5	56.0	55.0	46.8	38.5	23.4	31.7
	会社員	810	74.6	71.1	63.2	54.3	61.2	53.2	40.1	38.3	31.6	32.0	15.7
	教員・公務員	115	79.1	74.8	65.2	60.9	63.5	56.5	45.2	40.9	42.6	30.4	18.3
	会社・団体などの役員	42	73.8	83.3	64.3	52.4	40.5	31.0	35.7	38.1	31.0	42.9	19.0
	パートタイマーなど	435	82.5	83.0	73.1	72.0	73.3	66.0	63.4	53.3	39.5	39.3	20.9
	学生	52	63.5	53.8	65.4	42.3	63.5	53.8	32.7	36.5	25.0	9.6	17.3
	家事従事者	513	83.4	87.7	77.6	82.3	75.8	70.8	72.9	63.5	44.4	39.8	27.1
	無職	692	80.1	80.8	70.5	64.5	54.8	56.8	56.1	45.2	43.2	32.5	22.7
	その他	148	81.8	75.0	64.9	63.5	60.8	53.4	51.4	45.3	38.5	29.1	23.0

(単位:%)

属性		件数 (n)	自動車に乗るときは、アイドリングストップなどのエコドライブをしている	夏季に室内温度を下げるために、自宅に緑のカーテン(壁面緑化)を設置している	自動車はハイブリット車などの低公害車を使用している	高効率給湯器を自宅に設置している	環境保全のために、ボランティア活動などの地域活動をしている	ソーラーシステムなどの自然エネルギー利用型施設を自宅に設置している	環境関連のイベントに参加している	その他	特にな	無回答
全体		3,073	17.7	6.6	4.5	3.7	2.7	1.8	1.7	2.3	1.1	1.1
性別	男性	1,214	21.3	6.5	4.4	3.7	3.0	1.7	1.9	2.2	1.6	1.2
	女性	1,822	15.2	6.8	4.4	3.7	2.5	1.8	1.5	2.4	0.8	0.6
年齢別(男性)	20歳代	89	21.3	4.5	2.2	1.1	2.2	0.0	1.1	1.1	2.2	0.0
	30歳代	183	14.2	2.2	6.6	4.4	0.5	1.1	1.1	2.2	2.2	0.5
	40歳代	191	15.2	7.9	6.3	2.1	0.5	1.0	1.6	2.6	3.1	0.5
	50歳代	205	19.0	5.9	4.4	2.9	2.9	1.5	1.0	1.5	0.5	1.0
	60歳代	306	29.1	7.2	3.6	4.9	5.2	2.9	3.3	1.6	0.7	0.7
	70歳以上	238	23.5	9.2	3.4	4.6	4.6	2.1	2.1	3.8	2.1	3.4
年齢別(女性)	20歳代	151	7.9	4.6	3.3	2.0	0.7	0.7	0.0	3.3	3.3	0.0
	30歳代	344	15.4	5.5	4.4	2.6	0.6	1.2	1.2	2.6	0.0	0.0
	40歳代	303	20.1	6.3	6.9	4.0	1.3	1.7	2.3	2.0	0.3	0.0
	50歳代	330	20.6	6.4	4.5	2.7	2.7	1.2	1.2	3.0	0.0	0.6
	60歳代	405	14.6	9.4	4.9	6.2	3.2	2.2	1.5	2.0	0.0	1.0
	70歳以上	284	8.5	6.7	1.4	3.2	6.0	3.5	2.1	1.8	3.2	1.4
職業別	自営業	218	24.8	6.0	5.5	4.1	2.3	3.2	1.4	4.1	0.5	0.9
	会社員	810	17.7	5.7	4.4	2.5	0.7	1.4	0.9	1.7	1.6	0.4
	教員・公務員	115	19.1	7.8	6.1	4.3	1.7	3.5	1.7	4.3	0.0	0.0
	会社・団体などの役員	42	9.5	7.1	7.1	4.8	4.8	0.0	4.8	2.4	0.0	0.0
	パートタイマーなど	435	18.4	6.4	4.6	5.5	2.5	1.6	1.6	1.8	0.5	1.1
	学生	52	11.5	1.9	0.0	1.9	3.8	1.9	0.0	1.9	3.8	0.0
	家事従事者	513	17.7	7.6	4.5	3.7	3.3	2.3	1.6	1.6	0.4	0.4
	無職	692	16.3	7.4	4.5	3.8	4.3	1.6	2.6	2.6	2.2	1.0
	その他	148	15.5	7.4	2.7	4.1	4.7	1.4	1.4	4.1	0.0	1.4

【経年比較】

回答の選択肢に変更があるため同一には比べられないため、参考コメントとする。

前回同様、「必要のない照明や見ていないテレビは消している」が1位であった。2位以降に順位の変動は見られるが、上位5項目はほとんど変わっていない。

表 19 環境に負荷をかけないために実践、心がけていること(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成20年度	平成16年度	
必要のない照明や見ていないテレビは消している	78.6	70.6	(1)
ごみの分別を徹底し、リサイクル資源として出せるものは資源ごみに出している	77.7	49.4	(4)
冷暖房を使用する際は、適正温度に設定している	68.9	65.1	(2)
排水口に油を流さない	64.7	57.1	(3)
ごみ減量のため、詰め替え商品を選んで購入している	63.3	-	-
風呂の残り湯の再利用や、蛇口の水を出しっぱなしにしないなど、節水に努めている	58.6	46.5	(5)
生ごみの水きりをしている	53.7	-	-
洗剤を適量使用している	46.7	36.7	(6)
車の利用を控えるために、徒歩・自転車・バス・電車などを利用している	37.6	26.2	(8)
電気機器などは省エネタイプを選んで購入している	34.2	34.0	(7)
再生紙など、リサイクル製品を選んで購入している	21.2	9.6	(11)
自動車に乗るときは、アイドリングストップなどのエコドライブをしている	17.7	24.8	(9)
夏季に室内温度を下げるために、自宅に緑のカーテン(壁面緑化)を設置している	6.6	-	-
自動車はハイブリット車などの低公害車を使用している	4.5	-	-
高効率給湯器を自宅に設置している	3.7	-	-
環境保全のために、ボランティア活動などの地域活動をしている	2.7	-	-
ソーラーシステムなどの自然エネルギー利用型施設を自宅に設置している	1.8	2.5	(12)
環境関連のイベントに参加している	1.7	-	-
買物用バックを持参して買物に行く	-	20.4	(10)
その他	2.3	1.8	(13)
特にな	1.1	1.3	(14)

10 地域の商店街について

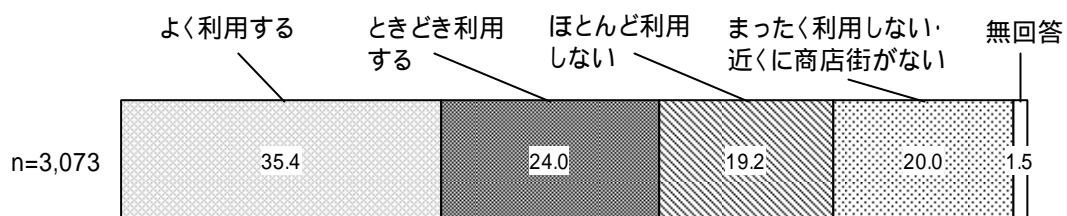
(1) 身近な商店街での買い物について

問17 あなたは、身近な商店街で買い物をしますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

身近な商店街での買い物については、「よく利用する」が35.4%で最も高く、これに「ときどき利用する」(24.0%)が続いており、約6割が利用している結果であった。

「まったく利用しない・近くに商店街がない」(20.0%)、「ほとんど利用しない」(19.2%)は、それぞれ2割程度であった。

図 47 身近な商店街での買い物について



【属性別の傾向】

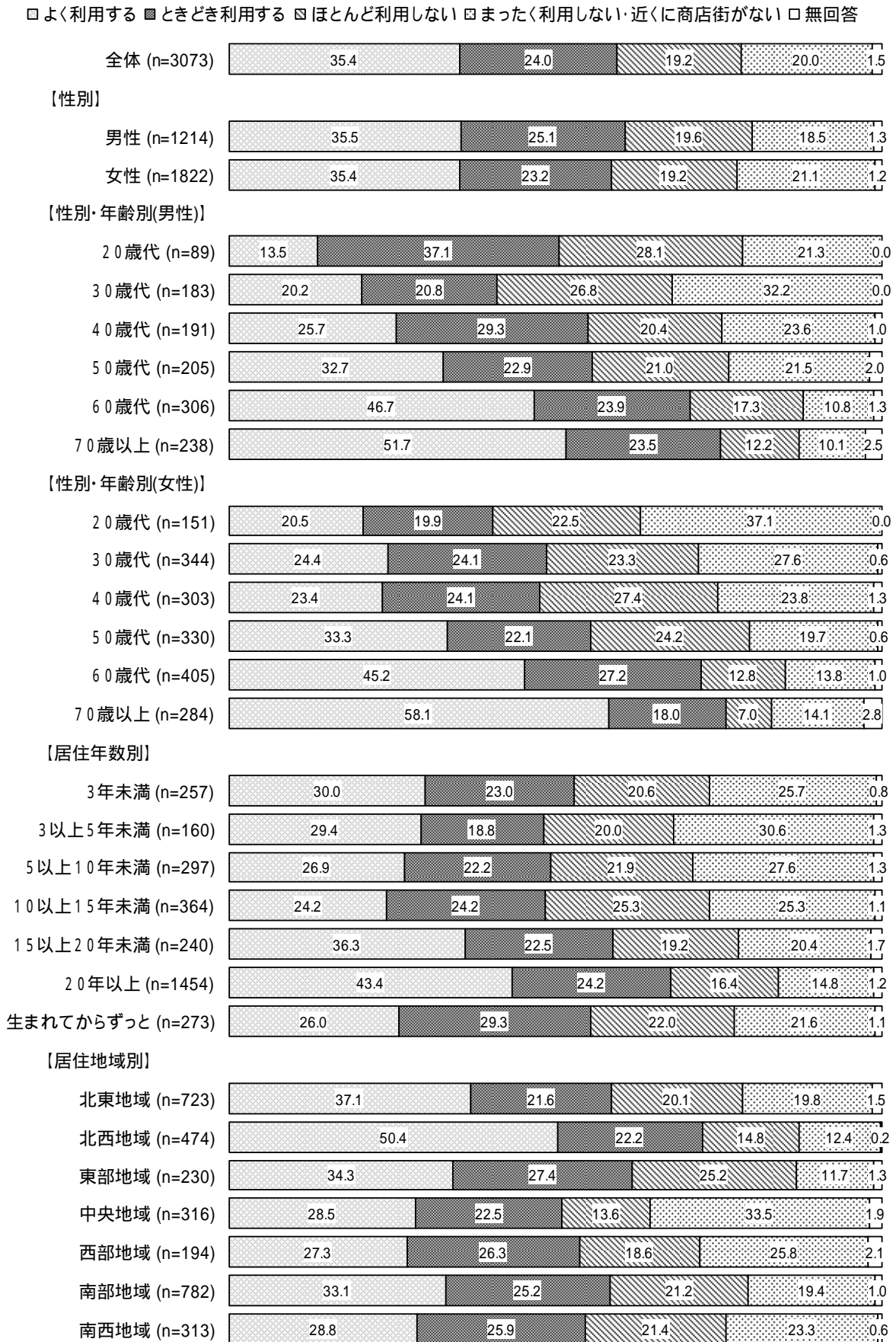
「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男女とも年齢層が高くなるにしたがい、「よく利用する」が増加傾向を示している。特徴があるものとしては、男性の20歳代と40歳代で「ときどき利用する」がそれぞれ37.1%、29.3%で最も高かった。女性の40歳代では「ほとんど利用しない」(27.4%)が、男性の30歳代(32.2%)、女性の20～30歳代(37.1%、27.6%)では「まったく利用しない・近くに商店街がない」が最も高かった。

「居住年数別」については、3以上5年未満(30.6%)、5以上10年未満(27.6%)で「まったく利用しない・近くに商店街がない」が、10以上15年未満(25.3%)では「まったく利用しない・近くに商店街がない」と「ほとんど利用しない」が同じ割合で最も高かった。

「居住地域別」を見ると、中央地域で「まったく利用しない・近くに商店街がない」が33.5%と最も高い割合を示している。一方、北西地域では「よく利用する」が50.4%と5割以上を占めている。

図 48 属性別の身近な商店街での買い物について

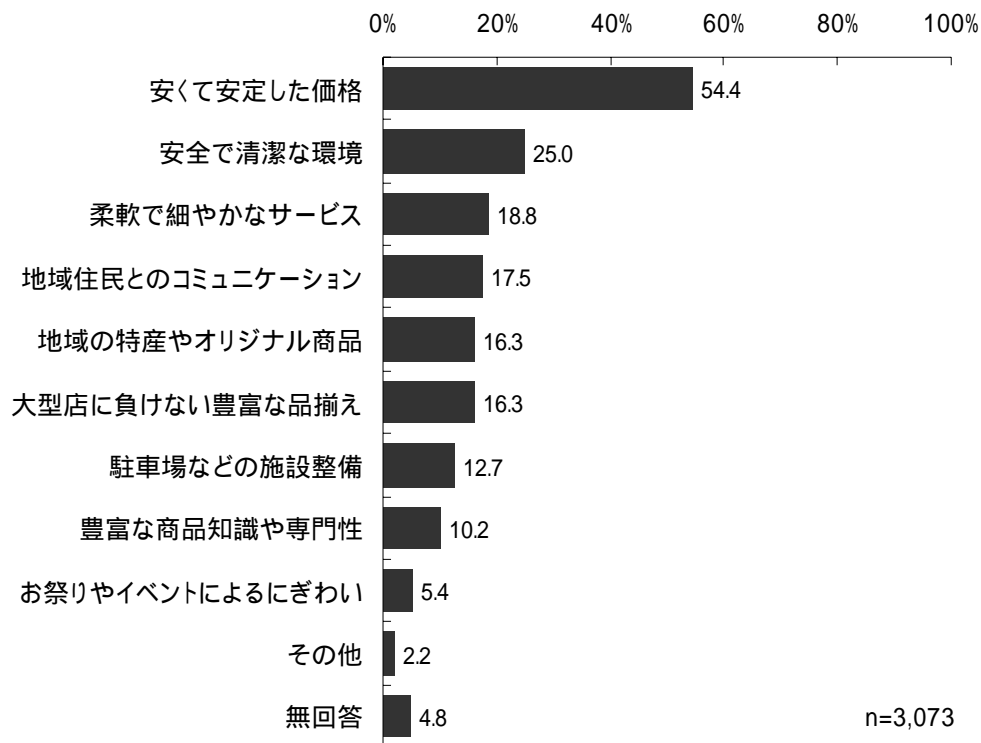


(2) 商店街に求めること

問18 あなたが、商店街(商店会)に求めるものは何ですか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

商店街に求めることについては、「安くて安定した価格」が54.4%と過半数以上を占め、最も高かった。これに「安全で清潔な環境」(25.0%)が2割以上で続いている。以下、「柔軟で細やかなサービス」(18.8%)、「地域住民とのコミュニケーション」(17.5%)、「地域の特産やオリジナル商品」(16.3%)、「大型店に負けない豊富な品揃え」(16.3%)「駐車場などの施設整備」(12.7%)、「豊富な商品知識や専門性」(10.2%)が1割以上となっている。

図 49 商店街に求めること



【属性別の傾向】

「性別」、「居住年数別」、「居住地域別」では、大きな特徴が見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20歳代で、「安全で清潔な環境」が13.5%と低くなっている。

表 20 属性別の商店街に求めること

(単位:%)

属性		件数 (n)	安くて安定した価格	安全で清潔な環境	柔軟で細やかなサービス	地域住民とのコミュニケーション	地域の特産やオリジナル商品	大型店に負けない豊富な品揃え	駐車場などの施設整備	豊富な商品知識や専門性	お祭りやイベントによるにぎわい	その他	無回答
全体		3,073	54.4	25.0	18.8	17.5	16.3	16.3	12.7	10.2	5.4	2.2	4.8
性別	男性	1,214	51.8	23.8	19.2	16.6	15.7	15.4	16.1	10.5	6.2	2.5	4.9
	女性	1,822	56.4	25.9	18.8	18.3	17.0	16.7	10.6	9.8	4.9	2.0	4.2
年齢別 (男性)	20歳代	89	46.1	13.5	12.4	15.7	19.1	21.3	19.1	14.6	12.4	2.2	4.5
	30歳代	183	54.6	18.6	16.9	19.1	15.3	20.2	14.2	7.7	10.4	3.8	3.3
	40歳代	191	51.3	25.1	21.5	17.3	14.7	14.7	22.0	9.4	7.3	3.1	0.5
	50歳代	205	45.9	27.8	22.4	17.6	16.1	16.1	15.6	6.8	7.3	2.0	5.9
	60歳代	306	52.9	24.8	21.6	17.3	17.0	13.1	17.3	11.8	3.9	0.3	5.6
	70歳以上	238	55.9	25.6	15.5	12.6	13.4	12.2	10.9	13.4	1.7	4.2	8.0
	年齢別 (女性)	20歳代	151	61.6	23.8	11.9	20.5	11.9	22.5	7.9	6.6	9.9	3.3
30歳代		344	61.0	23.8	15.4	23.3	13.4	20.6	14.2	7.0	9.3	0.3	1.7
40歳代		303	55.1	24.1	21.1	17.5	16.2	15.8	16.2	9.6	5.3	2.3	2.3
50歳代		330	50.9	28.2	21.2	20.6	18.5	16.7	10.6	14.8	2.4	1.8	3.3
60歳代		405	57.5	26.4	18.5	15.8	25.2	13.1	8.9	9.6	2.0	1.2	4.9
70歳以上		284	54.2	27.1	21.8	13.4	11.6	14.8	4.6	9.2	3.5	4.6	10.6
居住年数別		3年未満	257	53.3	21.4	17.5	19.8	19.8	20.6	13.2	7.0	5.8	2.3
	3以上5年未満	160	55.0	33.8	11.3	16.9	15.0	19.4	16.3	9.4	10.0	0.0	3.1
	5以上10年未満	297	58.2	22.6	21.2	15.5	15.5	16.2	16.8	8.8	8.8	2.4	2.4
	10以上15年未満	364	55.5	26.4	20.1	16.8	17.6	13.2	12.6	9.1	5.8	1.6	4.1
	15以上20年未満	240	56.7	25.8	21.7	15.0	15.8	15.8	11.3	7.9	5.4	2.5	4.6
	20年以上	1,454	54.0	26.0	19.5	18.0	16.2	14.6	11.5	11.6	3.3	2.5	5.3
	生まれてからずっと	273	51.6	18.3	15.0	19.4	14.7	23.4	14.7	11.0	9.2	2.2	4.4
居住地域別	北東地域	723	51.9	27.0	20.2	15.5	17.8	15.5	11.9	13.3	4.8	1.8	4.4
	北西地域	474	63.7	25.3	16.2	18.4	12.0	17.5	9.9	8.9	5.3	2.1	4.4
	東部地域	230	51.7	22.2	18.7	20.0	14.8	12.2	11.3	12.2	8.3	1.7	6.5
	中央地域	316	49.7	23.7	16.1	15.5	14.6	21.2	15.8	6.0	7.6	2.2	8.5
	西部地域	194	48.5	23.7	21.6	21.6	19.1	15.5	12.4	7.2	6.7	5.2	4.1
	南部地域	782	55.8	23.5	21.0	19.9	18.5	13.8	12.9	11.0	4.2	1.5	3.2
	南西地域	313	56.2	28.4	16.6	13.1	15.3	20.4	17.3	6.7	4.2	3.5	2.6

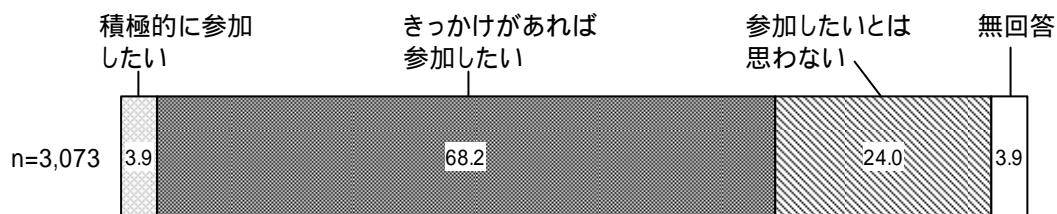
1 1 市民参加について

(1) 市民活動への参加について

問19 市政への市民の皆さんの参加の仕方には、市の計画策定への参加や環境美化などの地域活動、ボランティア活動への参加など、様々な形態がありますが、あなたは、これらの市民活動に参加してみたいと思いますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

市民活動への参加については、「きっかけがあれば参加したい」が68.2%と全体の6割以上を占め、最も高かった。一方、「参加したいとは思わない」は24.0%となっている。「積極的に参加したい」は3.9%であった。

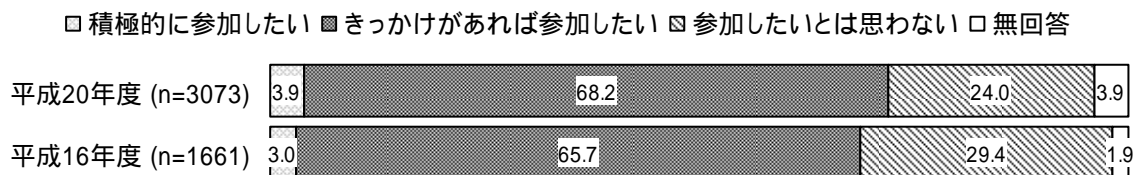
図 50 市民活動への参加について



【経年比較】

前回調査結果と比較すると、「参加したいとは思わない」で5.4ポイント減少し、「きっかけがあれば参加したい」で2.5ポイントの増加が見られた。

図 51 市民活動への参加について(経年比較)



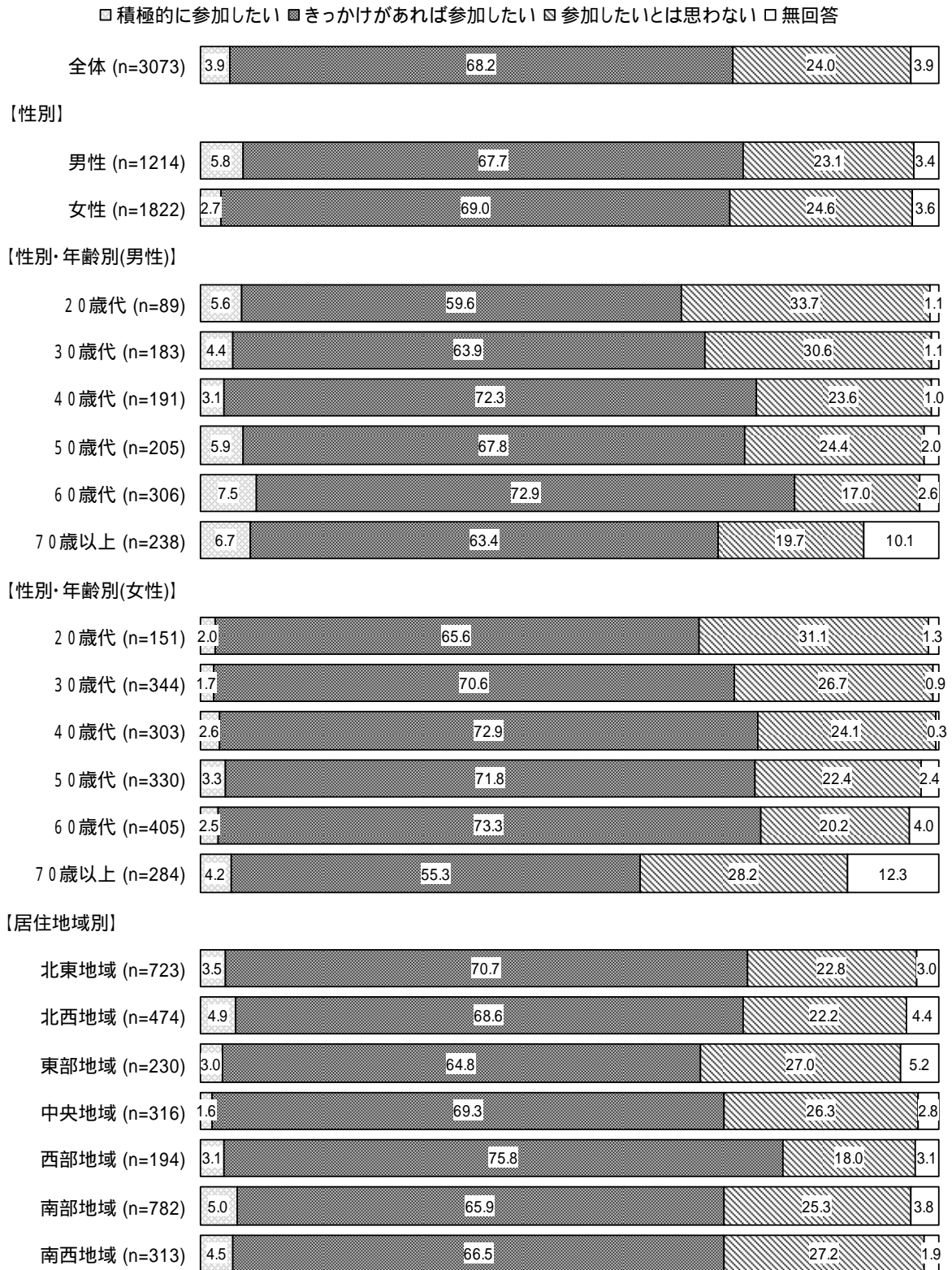
【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、どの年齢層も「きっかけがあれば参加したい」が最も高かった。

「居住地域別」を見ると、北東地域と西部地域で「きっかけがあれば参加したい」が7割以上と高かった。

図 52 属性別の市民活動への参加について

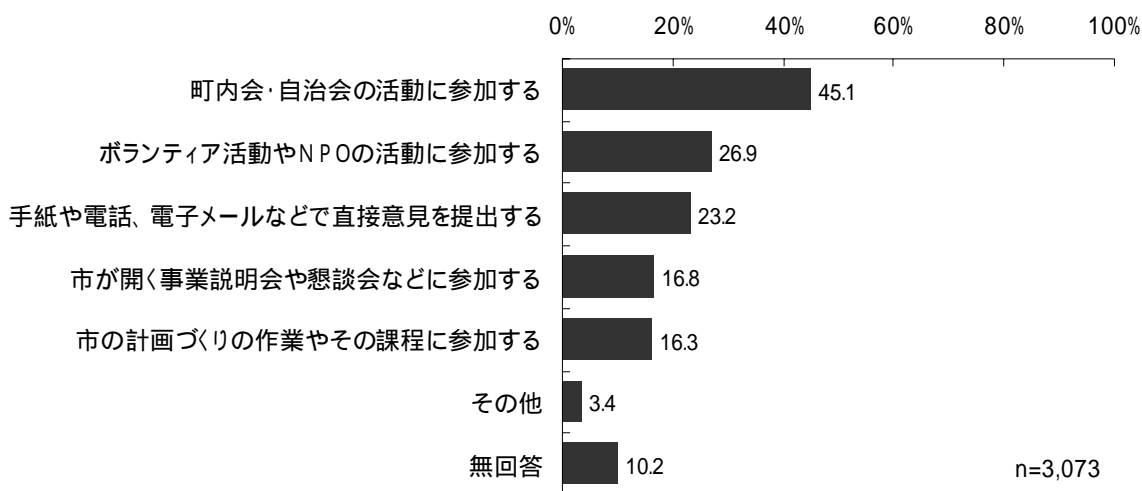


(2) 市政への参加形態

問20 あなたが市政に参加するとしたら、どのような形で参加しますか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

市政への参加形態については、「町内会・自治会の活動に参加する」が45.1%で最も高かった。これに「ボランティア活動やNPOの活動に参加する」(26.9%)、「手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する」(23.2%)が2割以上で続いている。

図 53 市政への参加形態



【属性別の傾向】

「性別」と「居住地域別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男女の20～30歳代で「手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する」が高い割合を示しているのに対し、女性の60～70歳以上では低い割合を示している。特に、男性の20～30歳代と女性の20歳代では「手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する」が最も高かった。

「居住年数別」については、3年未満で「手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する」が38.1%で最も高かった。また、5年以上10年未満でも「手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する」が36.0%と高い割合を示している。

表 21 属性別の市政への参加形態

(単位:%)

属性		件数 (n)	町内会・自治会の活動に参加する	ボランティア活動やNPOの活動に参加する	手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する	市が開く事業説明会や懇談会などに参加する	市の計画づくりの作業やその課程に参加する	その他	無回答
全体		3,073	45.1	26.9	23.2	16.8	16.3	3.4	10.2
性別	男性	1,214	40.4	26.4	24.5	21.8	21.2	3.1	8.5
	女性	1,822	48.8	27.4	22.3	13.4	13.2	3.5	10.6
年齢別 (男性)	20歳代	89	22.5	31.5	44.9	14.6	18.0	4.5	4.5
	30歳代	183	32.8	26.8	37.7	17.5	21.3	3.3	6.6
	40歳代	191	37.2	22.5	30.9	19.4	24.6	1.6	2.6
	50歳代	205	38.0	26.3	26.3	22.4	17.6	5.9	7.3
	60歳代	306	44.4	30.7	13.7	26.8	26.5	2.6	6.9
	70歳以上	238	52.9	21.4	13.4	22.7	16.0	2.1	19.3
年齢別 (女性)	20歳代	151	30.5	31.8	45.0	7.9	15.9	3.3	7.9
	30歳代	344	42.7	29.4	35.5	13.7	10.2	1.5	2.6
	40歳代	303	50.5	31.4	24.8	11.9	16.5	3.6	4.0
	50歳代	330	53.0	33.6	20.3	14.2	13.3	3.0	6.7
	60歳代	405	59.5	26.9	11.4	15.1	15.1	3.2	12.3
	70歳以上	284	44.7	12.7	9.5	14.4	9.2	6.7	30.3
居住年数別	3年未満	257	35.0	24.9	38.1	16.7	12.5	6.6	6.2
	3以上5年未満	160	36.3	26.9	28.8	15.6	17.5	4.4	8.1
	5以上10年未満	297	39.7	23.6	36.0	16.8	16.5	2.4	6.4
	10以上15年未満	364	40.9	27.5	26.9	14.8	14.8	3.3	9.3
	15以上20年未満	240	40.4	28.8	24.2	21.3	19.2	1.7	8.3
	20年以上	1,454	51.2	27.2	16.1	17.5	17.2	3.4	11.6
	生まれてからずっと	273	45.1	29.7	24.2	12.8	15.0	2.2	10.3
居住地域別	北東地域	723	46.2	27.9	24.8	15.2	18.0	3.3	8.2
	北西地域	474	45.1	27.0	21.1	17.1	16.0	3.6	11.4
	東部地域	230	42.6	23.5	21.3	17.0	18.3	2.6	12.6
	中央地域	316	47.5	23.1	25.9	16.5	15.2	3.5	9.5
	西部地域	194	46.9	28.9	19.6	15.5	12.4	5.2	10.3
	南部地域	782	44.4	27.7	23.1	18.7	16.6	3.1	10.1
	南西地域	313	44.4	28.4	24.3	17.3	15.7	3.5	8.0

【経年比較】

前回同様、「町内会・自治会の活動に参加する」が1位で変わっていない。前回4位の「ボランティア活動やNPOの活動に参加する」が今回2位となっている。

表 22 市政への参加形態(経年比較)

(単位:%)

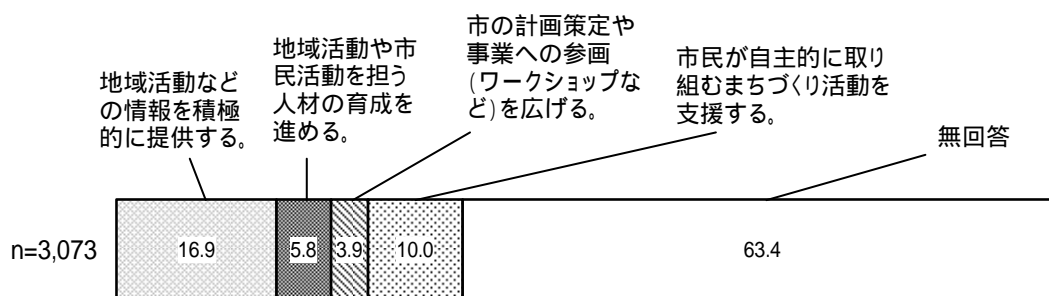
選択肢	平成20年度	平成16年度	
町内会・自治会の活動に参加する	45.1	47.5	(1)
ボランティア活動やNPOの活動に参加する	26.9	19.9	(4)
手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する	23.2	31.1	(2)
市が開く事業説明会や懇談会などに参加する	16.8	21.0	(3)
市の計画づくりの作業やその課程に参加する	16.3	18.4	(5)
その他	3.4	3.7	(6)

(3) 市政への市民参加を進めるために力を入れるべき内容

問21 市政への市民参加を進めるために、どのような点に力を入れたいと思いますか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

市政への市民参加を進めるために力を入れる内容については、「地域活動などの情報を積極的に提供する」が16.9%で最も高かった。以下、「市民が自主的に取り組むまちづくり活動を支援する。」(10.0%)、「地域活動や市民活動を担う人材の育成を進める。」(5.8%)、「市の計画策定や事業への参画(ワークショップなど)を広げる。」(3.9%)の順となっている。

図 54 市政への市民参加を進めるために力を入れるべき内容



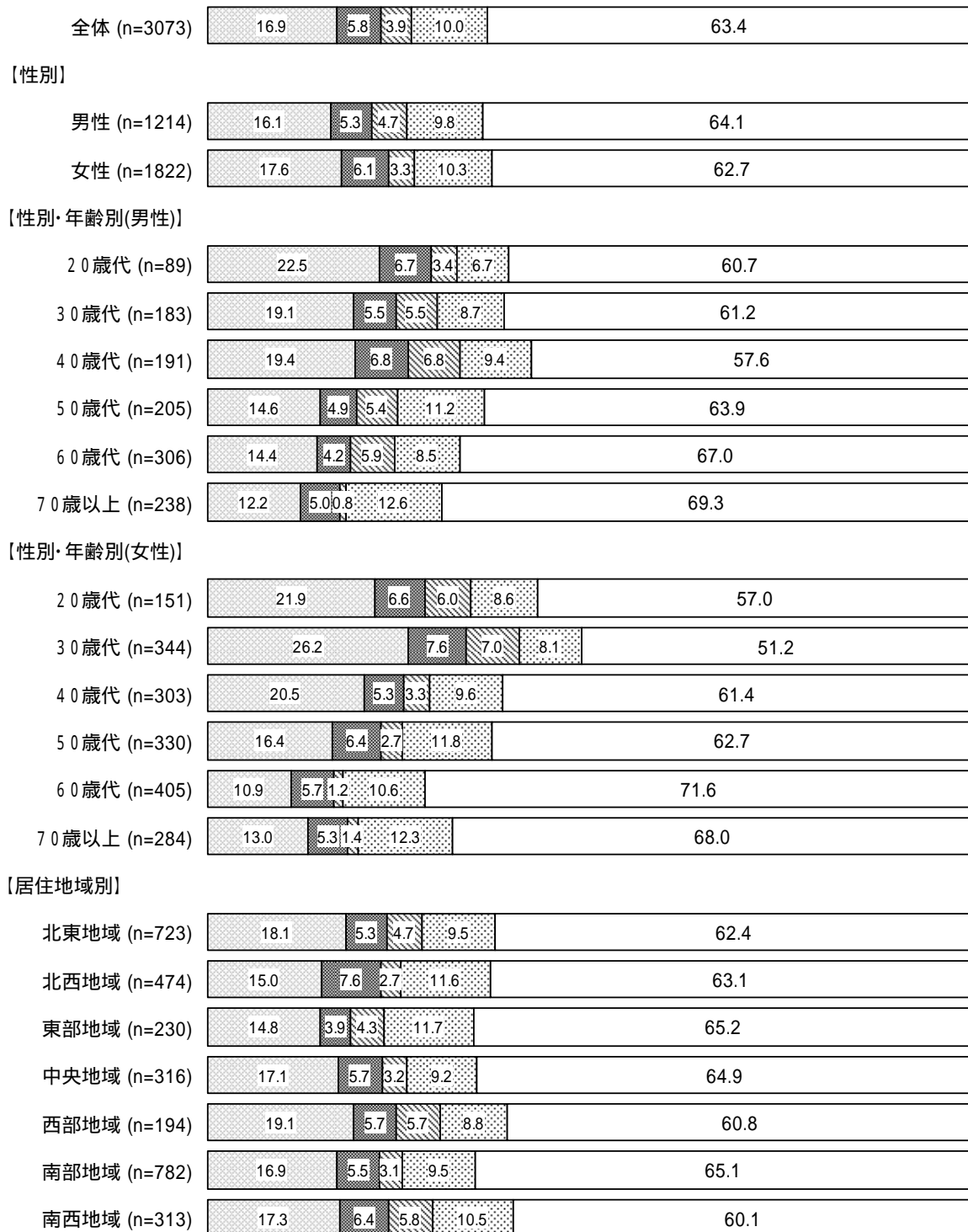
【属性別の傾向】

「性別」、「居住地域別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、「地域活動などの情報を積極的に提供する。」が男女とも年齢層が高くなるにしたがい減少傾向となっている。男性の70歳以上では「市民が自主的に取り組むまちづくり活動を支援する。」が12.6%で最も高かった。

図 55 属性別の市政への市民参加を進めるために力を入れるべき内容

- 地域活動などの情報を積極的に提供する。
- 地域活動や市民活動を担う人材の育成を進める。
- ▨ 市の計画策定や事業への参画(ワークショップなど)を広げる。
- ▩ 市民が自主的に取り組むまちづくり活動を支援する。
- 無回答

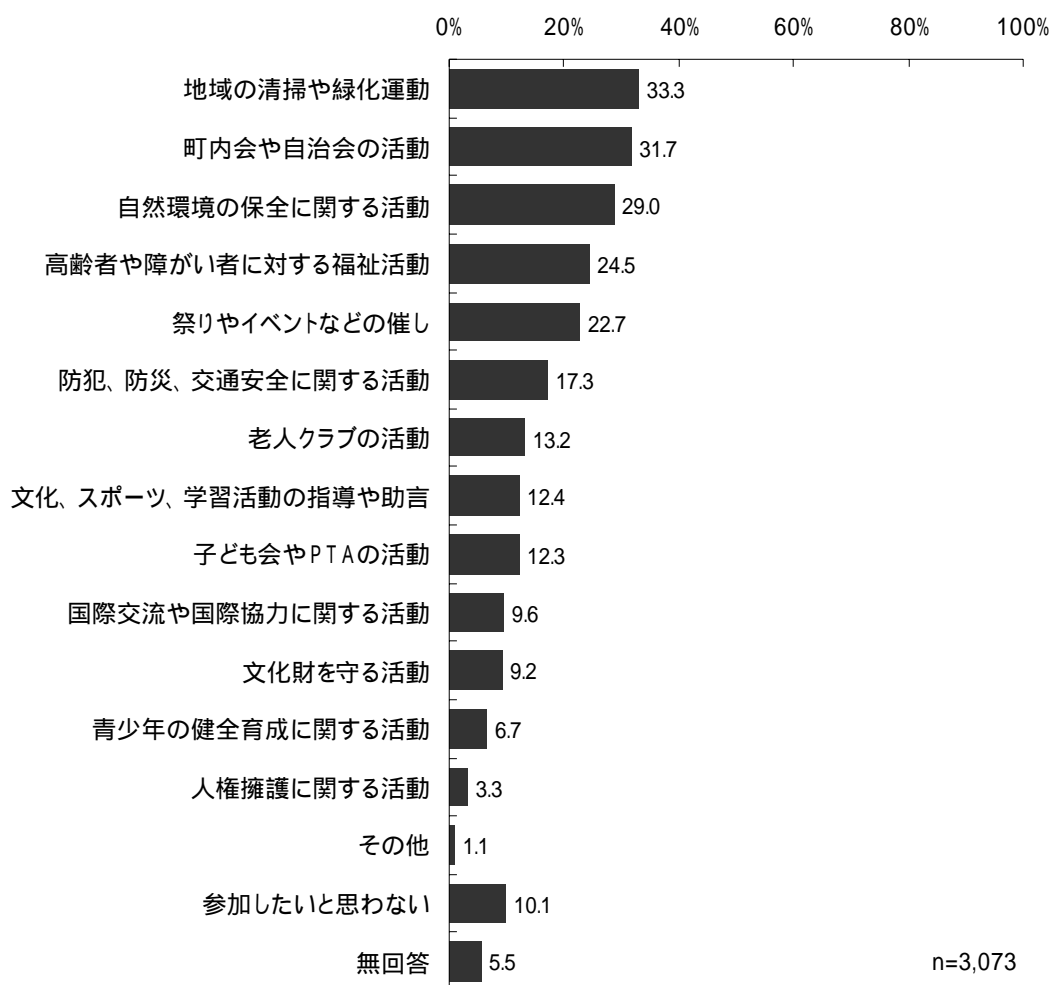


(4) 地域活動に参加する場合の活動内容

問22 あなたは、今後、地域活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいと思
いますか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

地域活動に参加する場合の活動内容については、「地域の清掃や緑化運動」が 33.3%で最も高く、これに「町内会や自治会の活動」(31.7%)が続いており、上記2つが3割以上を占める結果であった。そのほか「自然環境の保全に関する活動」(29.0%)、「高齢者や障がい者に対する福祉活動」(24.5%)、「祭りやイベントなどの催し」(22.7%)が2割以上で続いている。

図 56 地域活動に参加する場合の活動内容



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男女の 20～30 歳代で「祭りやイベントなどの催し」が、男性の 40～60 歳代では「自然環境の保全に関する活動」が、男性の 70 歳以上と女性の 40 歳代と 70 歳以上では「町内会や自治会の活動」が最も高くなっている

「居住年数別」については、3 年未満(35.8%)と 3 以上 5 年未満(37.5%)で「祭りやイベントなどの催し」が最も高かった。

表 23 属性別の地域活動に参加する場合の活動内容

(単位:%)

属性		件数 (n)	地域の清掃や 緑化運動	町内会や自治 会の活動	自然環境の保 全に関する活 動	高齢者や障が い者に対する 福祉活動	祭りやイベン トなどの催し	防犯、防災、 交通安全に関 する活動	老人クラブの 活動	文化、スポー ツ、学習活動 の指導や助言
全体		3,073	33.3	31.7	29.0	24.5	22.7	17.3	13.2	12.4
性別	男性	1,214	32.7	30.3	35.3	20.8	20.7	21.0	12.8	16.2
	女性	1,822	33.9	33.0	24.9	27.1	24.3	15.0	13.6	9.9
年齢別(男性)	20歳代	89	23.6	16.9	28.1	16.9	34.8	12.4	2.2	30.3
	30歳代	183	26.2	24.0	25.7	13.1	27.9	13.1	2.2	15.3
	40歳代	191	31.9	27.2	32.5	12.0	21.5	23.0	1.0	19.9
	50歳代	205	32.7	27.8	45.4	19.5	18.5	19.5	4.9	15.6
	60歳代	306	37.9	34.6	45.8	25.5	20.3	23.5	20.9	14.7
	70歳以上	238	34.9	39.5	24.8	30.3	10.9	26.5	30.7	11.3
年齢別(女性)	20歳代	151	20.5	17.9	25.2	19.2	43.7	8.6	5.3	15.2
	30歳代	344	25.9	29.1	22.7	21.8	40.1	15.7	4.4	11.0
	40歳代	303	33.3	34.7	27.4	25.1	26.4	15.5	4.3	17.2
	50歳代	330	42.4	36.1	26.4	31.8	17.3	17.9	7.9	10.6
	60歳代	405	44.9	37.5	29.6	32.6	16.3	15.8	24.0	5.4
	70歳以上	284	26.1	34.2	16.5	27.1	12.3	12.3	31.0	3.9
居住年数別	3年未満	257	23.3	24.1	22.6	19.1	35.8	17.9	7.0	12.5
	3以上5年未満	160	25.0	31.9	18.8	19.4	37.5	15.0	6.3	13.8
	5以上10年未満	297	31.6	27.3	29.0	21.2	25.6	14.1	5.7	14.1
	10以上15年未満	364	30.2	28.6	28.6	24.5	20.1	15.1	7.1	12.4
	15以上20年未満	240	30.0	26.3	34.2	25.0	21.3	15.4	12.5	16.3
	20年以上	1,454	36.9	35.6	30.5	28.3	18.0	19.5	19.1	11.1
	生まれてからずっと	273	37.4	33.7	29.3	16.5	29.7	15.8	9.5	13.6

(単位:%)

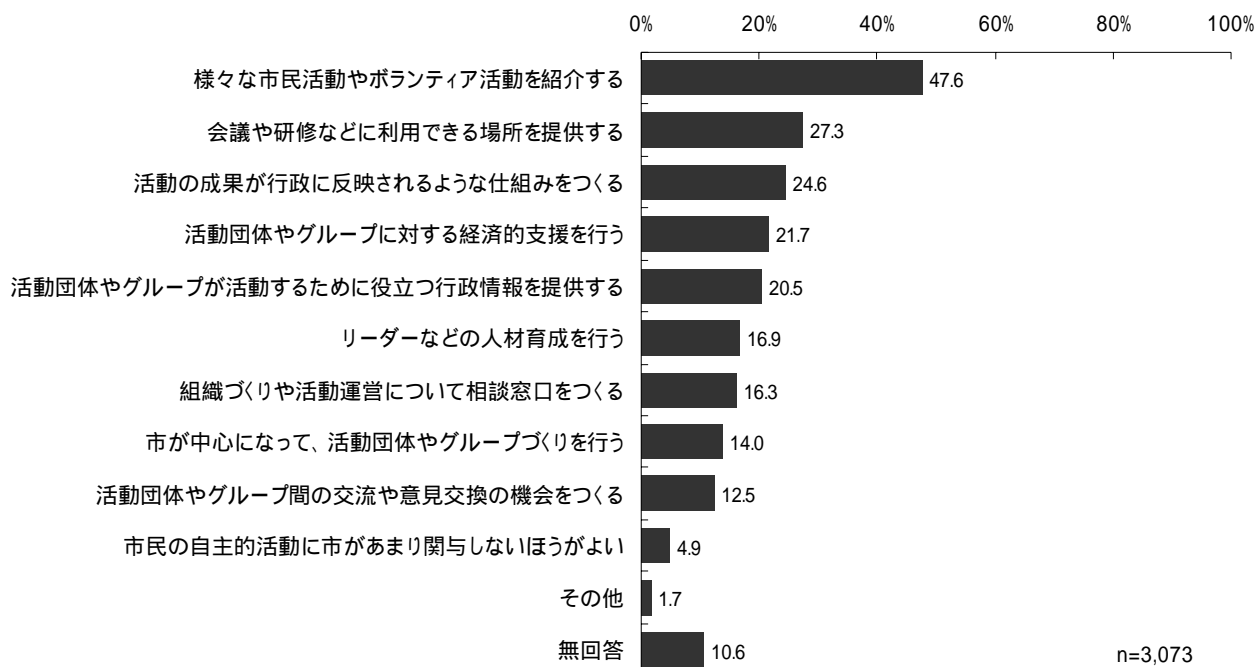
属性		件数 (n)	P T A の活 動	子ども会や 関する活動	国際交流や 国際協力に 関する活動	文化財を守 る活動	青少年の健 全育成に関 する活動	人権擁護に 関する活動	その他	参加したい と思わない	無回答
全体		3,073	12.3	9.6	9.2	6.7	3.3	1.1	10.1	5.5	
性別	男性	1,214	9.1	8.7	11.6	7.8	3.5	1.2	9.0	4.6	
	女性	1,822	14.5	10.3	7.7	6.0	3.2	1.0	10.7	5.7	
年齢別(男性)	20歳代	89	12.4	10.1	11.2	6.7	3.4	0.0	12.4	0.0	
	30歳代	183	21.3	9.8	10.4	6.6	3.8	2.2	14.8	3.8	
	40歳代	191	17.3	13.6	11.5	8.9	2.6	1.6	6.8	3.7	
	50歳代	205	2.4	8.3	10.2	8.8	4.4	1.0	10.2	4.4	
	60歳代	306	4.2	7.2	12.7	11.1	3.3	0.3	5.6	4.9	
	70歳以上	238	3.8	5.9	12.2	2.9	3.4	1.7	8.4	7.6	
年齢別(女性)	20歳代	151	18.5	21.9	7.9	5.3	4.6	0.0	12.6	3.3	
	30歳代	344	39.0	14.8	6.7	7.8	3.8	1.2	10.2	1.7	
	40歳代	303	25.1	13.5	8.6	6.3	3.0	0.7	9.6	2.0	
	50歳代	330	2.7	11.5	8.8	6.7	4.5	0.6	11.5	2.7	
	60歳代	405	3.2	4.4	8.6	6.7	1.7	0.5	9.4	7.2	
	70歳以上	284	1.4	2.1	5.3	2.1	2.8	2.8	12.7	16.5	
居住年数別	3年未満	257	20.6	12.8	7.8	7.0	3.1	1.6	14.4	3.9	
	3以上5年未満	160	24.4	13.1	4.4	6.9	5.6	1.3	11.9	3.8	
	5以上10年未満	297	22.2	16.5	7.4	7.1	3.7	0.0	12.1	1.3	
	10以上15年未満	364	19.0	11.3	8.5	8.0	2.7	2.5	10.4	5.8	
	15以上20年未満	240	12.9	9.2	10.8	6.3	4.2	0.4	6.7	5.8	
	20年以上	1,454	5.6	7.2	10.5	6.3	3.1	1.1	8.7	6.6	
	生まれてからずっと	273	13.6	9.2	8.8	7.3	2.9	0.4	12.8	3.7	

(5) 地域活動への市の支援策

問23 あなたは、市民の皆さんの地域活動に対して、市がどのような支援をすればよいと思いますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

地域活動への市の支援策については、「様々な市民活動やボランティア活動を紹介する」が47.6%と4割以上で最も高かった。これに「会議や研修などに利用できる場所を提供する」(27.3%)、「活動の成果が行政に反映されるような仕組みをつくる」(24.6%)、「活動団体やグループに対する経済的支援を行う」(21.7%)、「活動団体やグループが活動するために役立つ行政情報を提供する」(20.5%)が2割以上で続く結果であった。

図 57 地域活動への市の支援策



【属性別の傾向】

「性別」と「居住地域別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、女性の40歳代で「会議や研修などに利用できる場所を提供する」が37.6%と高い割合を示している。

表 24 属性別の地域活動への市の支援策

(単位:%)

属性	件数 (n)	様々な市民活動やボランティア活動を紹介する	会議や研修などに利用できる場所を提供する	活動の成果が行政に反映されるような仕組みをつくる	活動団体やグループに対する経済的支援を行う	活動団体やグループが活動するために役立つ行政情報を提供する	リーダーなどの人材育成を行う	組織づくりや活動運営について相談窓口をつくる	市が中心になって、活動団体やグループづくりを行う	活動団体やグループ間の交流や意見交換の機会をつくる	市民の自主的活動に市があまり関与しないほうがよい	その他	無回答
全体	3,073	47.6	27.3	24.6	21.7	20.5	16.9	16.3	14.0	12.5	4.9	1.7	10.6
性別													
男性	1,214	45.6	26.1	27.6	22.1	21.6	18.3	17.0	16.0	13.4	6.2	1.9	8.6
女性	1,822	49.5	28.2	22.8	21.8	20.0	15.9	16.0	12.8	11.9	4.0	1.5	11.3
年齢別(男性)													
20歳代	89	42.7	31.5	24.7	29.2	21.3	12.4	14.6	14.6	18.0	6.7	1.1	4.5
30歳代	183	44.3	29.0	27.3	20.8	21.3	15.8	14.2	15.8	15.8	2.7	3.3	5.5
40歳代	191	42.9	29.8	27.7	26.7	22.5	14.1	15.7	14.7	13.6	4.2	1.0	5.2
50歳代	205	43.9	24.9	31.2	22.9	20.5	22.9	17.6	15.6	13.7	6.8	3.4	5.9
60歳代	306	51.0	23.2	30.7	23.9	22.5	19.9	18.6	16.7	12.4	9.2	1.0	7.8
70歳以上	238	44.5	23.9	21.4	13.9	20.6	19.3	18.5	16.8	10.5	5.9	1.7	18.9
年齢別(女性)													
20歳代	151	48.3	35.1	19.9	25.2	22.5	15.9	15.2	19.2	17.9	0.7	0.7	7.3
30歳代	344	51.7	29.1	25.0	25.3	20.9	11.0	14.8	16.0	10.8	2.0	2.0	5.5
40歳代	303	52.1	37.6	27.4	25.7	18.8	16.8	13.9	11.9	13.5	2.3	0.7	5.0
50歳代	330	55.8	30.0	28.8	19.4	24.2	17.0	17.9	10.0	13.3	4.2	1.5	5.2
60歳代	405	50.4	24.4	23.2	21.0	20.5	17.0	16.3	10.6	11.1	6.4	1.5	14.6
70歳以上	284	35.9	16.5	9.5	15.8	13.0	18.0	18.0	13.0	8.1	6.0	2.5	29.2
居住地別													
北東地域	723	47.7	31.3	23.0	23.4	22.3	17.6	15.8	15.5	13.3	4.0	1.8	9.0
北西地域	474	45.8	24.9	25.9	18.4	18.4	16.9	16.2	13.9	12.4	5.5	2.5	12.9
東部地域	230	46.1	21.7	24.8	18.7	19.1	19.1	15.7	12.6	11.7	7.0	0.9	11.7
中央地域	316	43.7	27.2	29.1	20.9	20.3	18.4	15.8	14.2	14.6	5.4	1.3	11.1
西部地域	194	48.5	28.9	24.7	26.8	16.0	19.1	15.5	12.4	10.3	5.7	0.5	10.3
南部地域	782	49.9	27.6	24.7	22.3	21.6	14.7	17.0	13.7	12.8	4.2	1.2	10.5
南西地域	313	50.8	25.6	22.7	22.0	23.0	16.6	18.5	14.4	10.2	4.5	3.2	7.0

【経年比較】

上位4項目は前回調査結果と同じ結果であった。

表 25 地域活動への市の支援策(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成 20 年度	平成 16 年度
様々な市民活動やボランティア活動を紹介する	47.6	49.7 (1)
会議や研修などに利用できる場所を提供する	27.3	26.2 (2)
活動の成果が行政に反映されるような仕組みをつくる	24.6	21.4 (3)
活動団体やグループに対する経済的支援を行う	21.7	20.6 (4)
活動団体やグループが活動するために役立つ行政情報を提供する	20.5	18.6 (6)
リーダーなどの人材育成を行う	16.9	18.5 (7)
組織づくりや活動運営について相談窓口をつくる	16.3	18.7 (5)
市が中心になって、活動団体やグループづくりを行う	14.0	14.0 (9)
活動団体やグループ間の交流や意見交換の機会をつくる	12.5	14.6 (8)
市民の自主的活動に市があまり関与しないほうがよい	4.9	7.0 (10)
その他	1.7	2.3 (11)

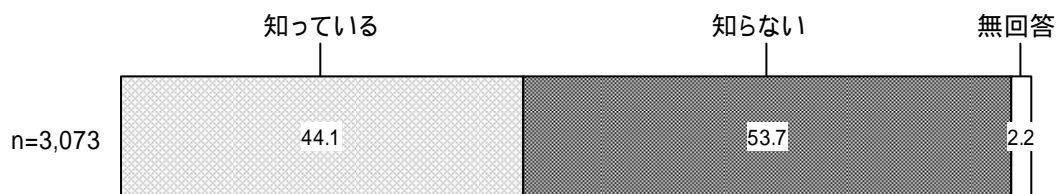
1 2 地下鉄の延伸について

(1) 延伸促進活動の認知

問24 都市高速鉄道 12 号線（都営大江戸線）の練馬区大泉学園町までの延伸が計画されていますが、市では更に新座市方面に延伸を図るため、所沢市・清瀬市・練馬区と協議会を設立し、延伸促進のための活動に取り組んでいます。あなたは、このような地下鉄延伸のための市の取組みをご存知ですか。
次の中から 1 つ選んで、をつけてください。

延伸促進活動の認知については、「知らない」が 53.7% で過半数以上を占める結果であった。「知っている」は 44.1% となっている。

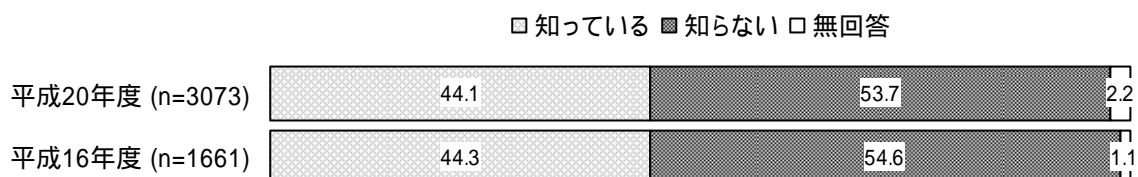
図 58 延伸促進活動の認知



【経年比較】

前回調査結果と変化は見られなかった。

図 59 延伸促進活動の認知(経年比較)



【属性別の傾向】

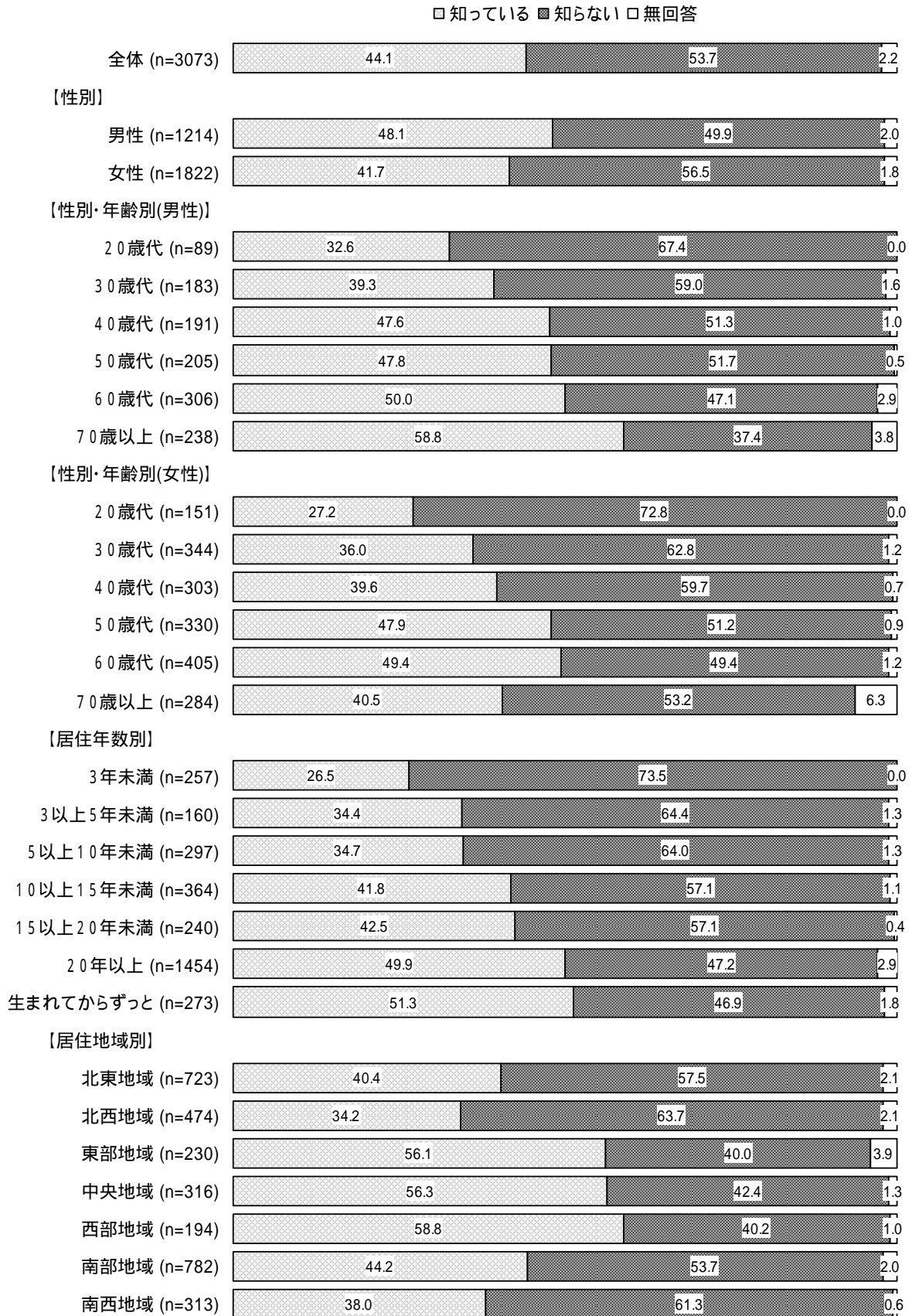
「性別」では、男性の方が女性に比べ、若干「知っている」が高かった。

「性別・年齢別」では、年齢層が高くなるにしたがい「知っている」が増加傾向を示していると見ることができる。

「居住年数別」についても「性別・年齢別」と同様に、居住年数が長くなるにつれて「知っている」が増加傾向を示している。

「居住地域別」を見ると、東部地域(56.1%)、中央地域(56.3%)、西部地域(58.8%)では「知っている」が高いのに対し、北西地域(34.2%)、南西地域(38.0%)では低かった。

図 60 属性別の延伸促進活動の認知

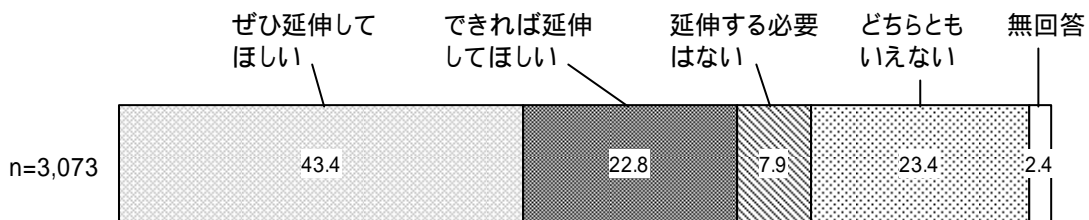


(2) 延伸することへの賛否

問25 市では、地下鉄 12 号線の延伸について、大泉学園町から関越自動車道の北側を北上し、市内に 2 駅設置して東所沢駅へ向かう路線を要望しています。
あなたは、地下鉄 12 号線を延伸することについて、どう思いますか。次の中から 1 つ選んで、をつけてください。

延伸することへの賛否については、「ぜひ延伸してほしい」が 43.4%で最も高く、これに「どちらともいえない」(23.4%)、「できれば延伸してほしい」(22.8%)、「延伸する必要はない」(7.9%)の順となっている。「ぜひ延伸してほしい」と「できれば延伸してほしい」を合わせた「延伸してほしい」は 6 割以上であった。

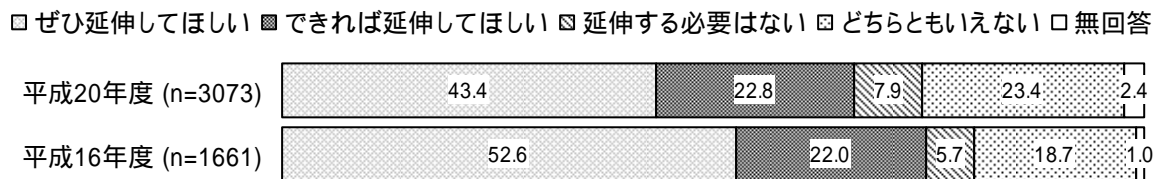
図 61 延伸することへの賛否



【経年比較】

前回調査結果と比較すると、「ぜひ延伸してほしい」が 9.2 ポイント減少し、「どちらともいえない」が 4.7 ポイント増加する結果であった。

図 62 延伸することへの賛否(経年比較)



【属性別の傾向】

「性別」では、男性が女性に比べ「ぜひ延伸してほしい」が 8.5 ポイント高かった。

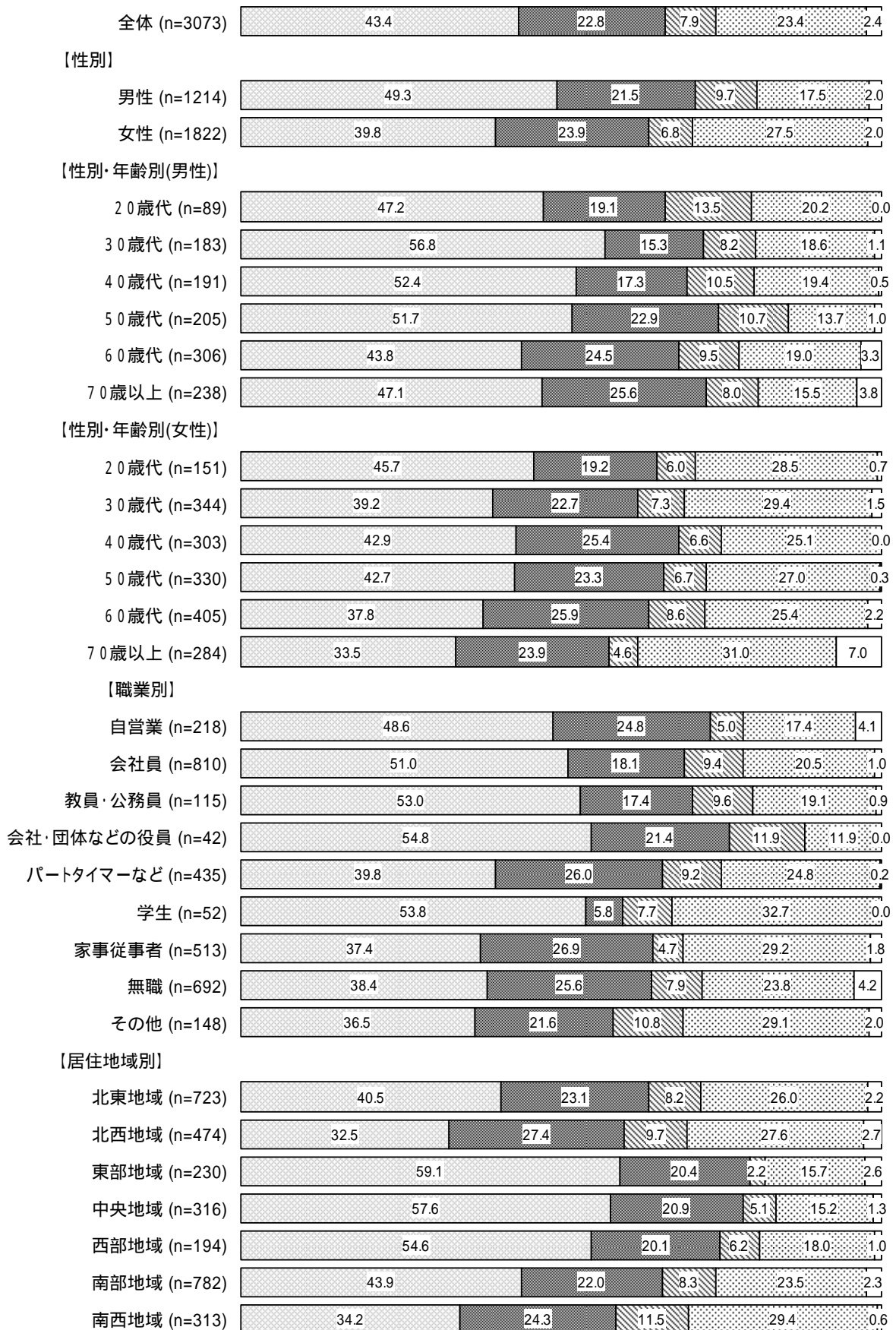
「性別・年齢別」でも、男性の各年齢で「ぜひ延伸してほしい」の割合が女性を上回っている。女性の特徴として「わからない」の割合が全年齢で高かった。

「職業別」については、パートタイマーなど(39.8%)、家事従事者(37.4%)、無職(38.4%)、その他(36.5%)で「ぜひ延伸してほしい」が 4 割以下であった。

「居住地域別」を見ると、東部地域(59.1%)、中央地域(57.6%)、西部地域(54.6%)で「ぜひ延伸してほしい」が 5 割以上を占めているのに対し、北西地域(32.5%)、南西地域(34.2%)では 4 割未満にとどまっている。

図 63 属性別の延伸することへの賛否

□ぜひ延伸してほしい ■できれば延伸してほしい ▨延伸する必要はない □どちらともいえない □無回答



1.3 スマートインターチェンジの設置について

(1) スマートインターチェンジ設置の取組みの認知

問26 市では、関越自動車道新座料金所の北側に、既設の道路（志木街道・水道道路・片山県道など）に接続できるスマートインターチェンジを設置することについて、調査・研究を進めています。

あなたは、このようなスマートインターチェンジの設置のための市の取組みをご存知ですか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

スマートインターチェンジ設置の取組みの認知については、「知らない」が85.5%と全体の8割以上を占める結果であった。「知っている」(12.0%)は約1割となっている。

図 64 スマートインターチェンジ設置の取組みの認知



【属性別の傾向】

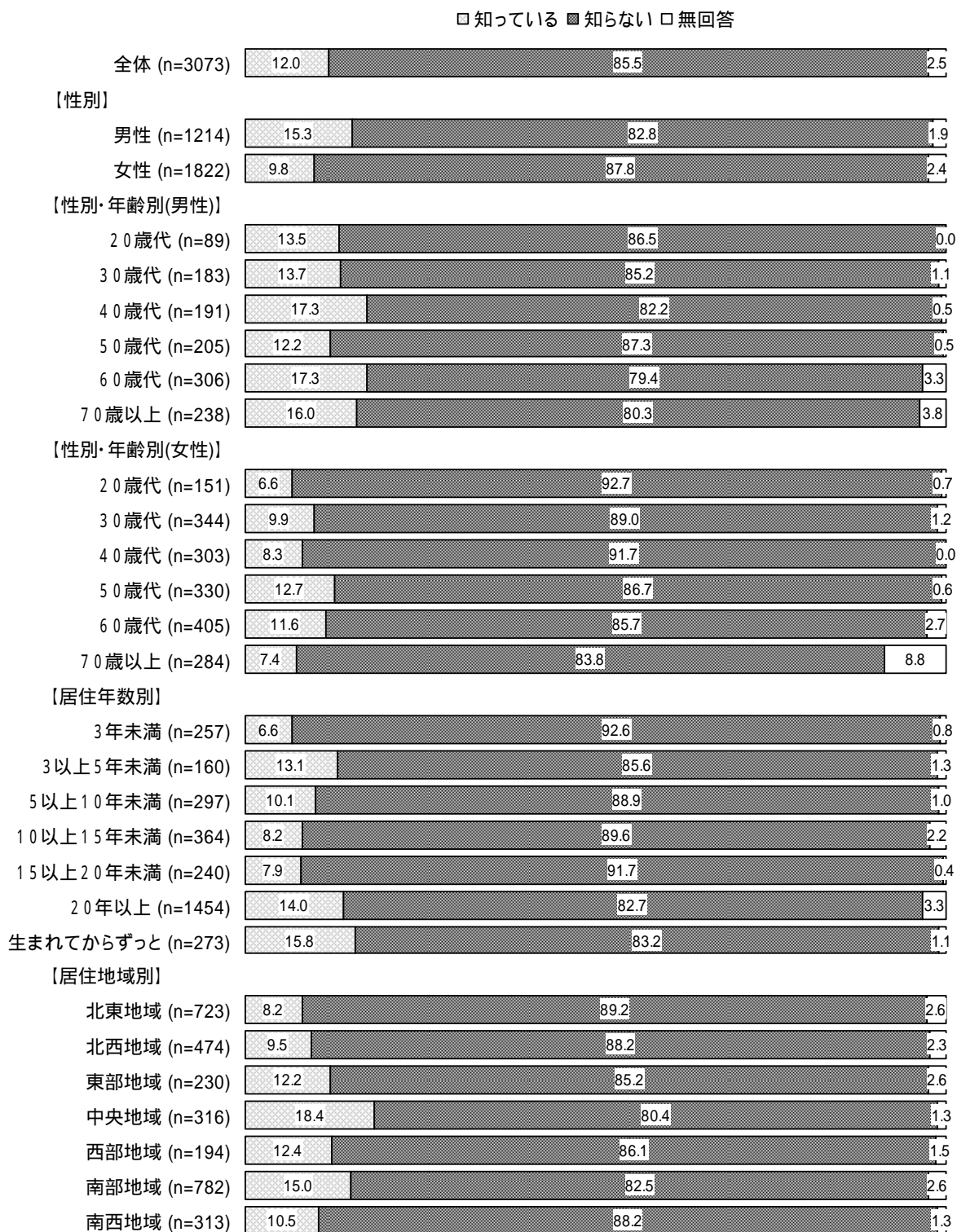
「性別」では、「知っている」について、男性の方が女性と比べて5.5ポイント高かった。

「性別・年齢別」でも、すべての属性で「知らない」が最も高くなっているが、男性の方が女性と比べて「知っている」の割合が若干高かった。

「居住年数別」については、大きな特徴が見られなかった。

「居住地域別」を見ると、中央地域で「知っている」が18.4%とその他の地域と比べて若干高かった。

図 65 属性別のスマートインターチェンジ設置の取組みの認知



(2) スマートインターチェンジ設置の賛否

問27 あなたは、市内にスマートインターチェンジを設置することについてどう思いますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

スマートインターチェンジ設置の賛否については、「ぜひ設置してほしい」が30.9%で最も高く、これに「どちらともいえない」(30.2%)、「できれば設置してほしい」(24.0%)の順で続く結果であった。「設置する必要はない」は10.8%となっている。

図 66 スマートインターチェンジ設置の賛否



【属性別の傾向】

「性別」では、男性で「ぜひ設置してほしい」が38.0%と最も高く、女性では「どちらともいえない」が36.1%で最も高かった。

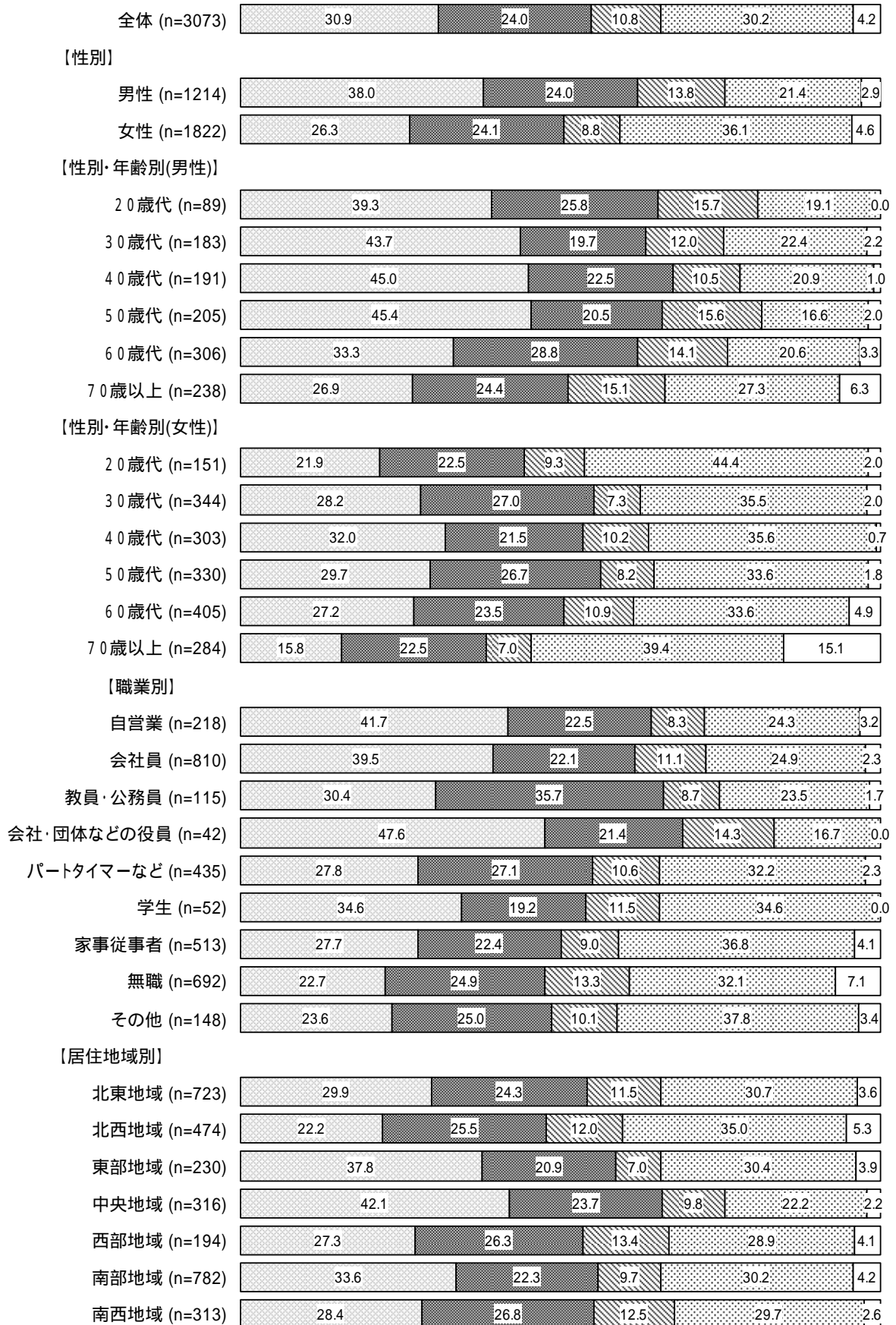
「性別・年齢別」では、男性の30～50歳代で「ぜひ設置してほしい」が4割以上と高かった。そのほか、女性の全年齢層で「どちらともいえない」が最も高い割合を示している。

「職業別」については、自営業、会社員、会社・団体などの役員で「ぜひ設置してほしい」が最も高くなっているが、パートタイマーなど、家事従事者、無職、その他では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

「居住地域別」を見ると、東部地域、中央地域、南部地域では「ぜひ設置してほしい」が最も高くなっているが、北東地域、北西地域、西部地域、南西地域では「どちらともいえない」が最も高かった。

図 67 属性別のスマートインターチェンジ設置の賛否

□ぜひ設置してほしい ■できれば設置してほしい ▨設置する必要はない □どちらともいえない □無回答



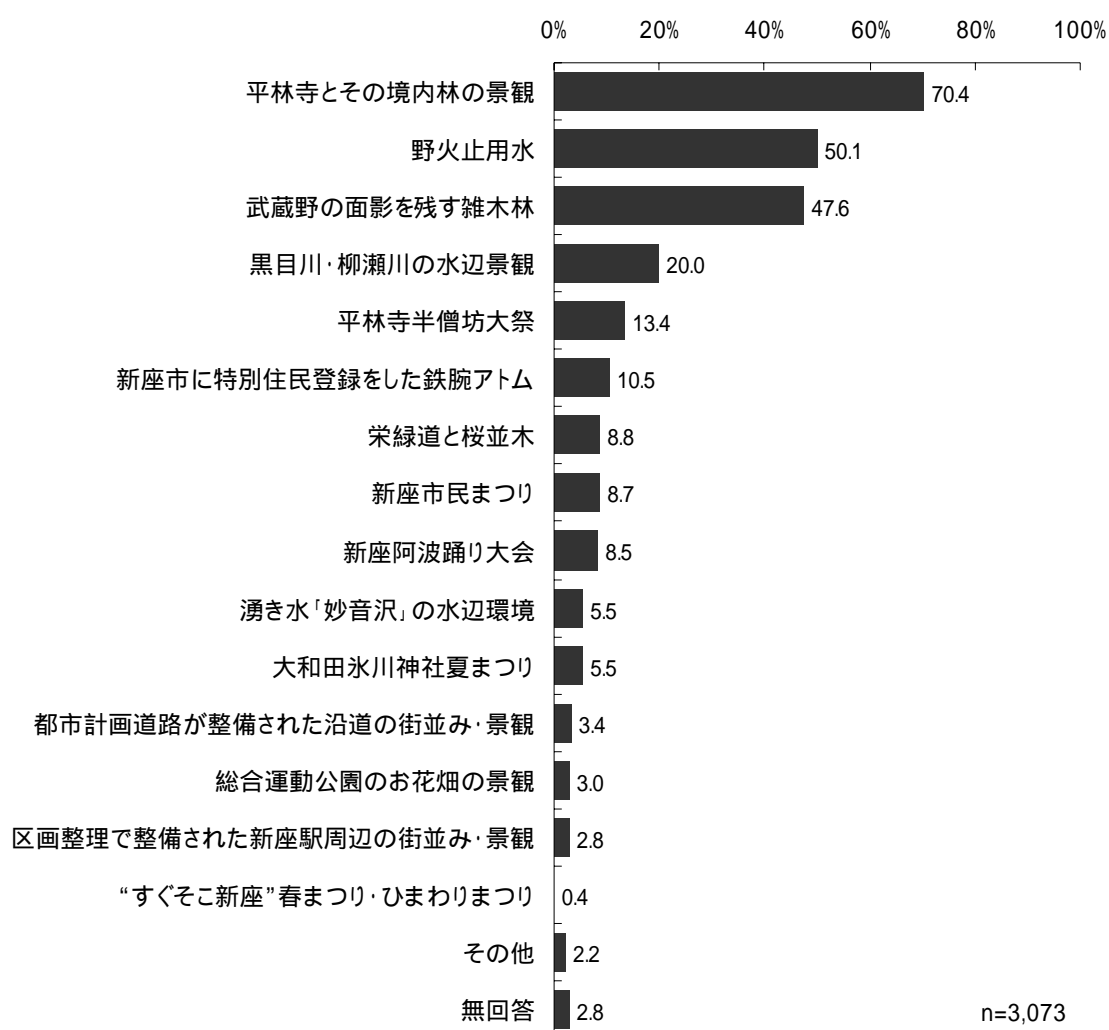
1.4 新座らしさについて

(1) 新座らしさを感じるもの

問28 あなたにとって、新座らしさを感じるものは何ですか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

新座らしさを感じるものについては、「平林寺とその境内林の景観」が70.4%と7割以上を占め、最も高かった。これに「野火止用水」(50.1%)が5割以上、「武蔵野の面影を残す雑木林」(47.6%)が4割以上で続いて高かった。

図 68 新座らしさを感じるもの



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の60～70歳以上(63.4%、60.9%)と女性の60歳代(59.0%)で「武蔵野の面影を残す雑木林」が高い割合を示しているのに対し、女性の20～40歳代(24.5%、28.2%、34.3%)では低い割合を示している。そのほか、女性の30歳代(20.6%)で「新座市に特別住民登録をした鉄腕アトム」が高かった。

「居住年数別」については、15 以上 20 年未満(60.8%)と生まれてからずっと(63.4%)で「野火止用水」が高くなっている。

「居住地域別」を見ると、西部地域(67.5%)と南部地域(69.0%)で「野火止用水」が高いのに対し、北西地域(39.0%)と東部地域(36.1%)では低い割合を示している。北西地域では、「大和田氷川神社夏まつり」(24.3%)が、東部地域では「栄緑道と桜並木」(42.6%)と『湧き水「妙音沢」の水辺環境』(23.9%)が全体に比べて高かった。

表 26 属性別の新座らしさを感じるもの

(単位:%)

属性	件数 (n)	平林寺とその境内林の景観	野火止用水	武蔵野の面影を残す雑木林	黒目川・柳瀬川の水辺景観	平林寺半僧坊大祭	新座市に特別住民登録をした鉄腕アトム	栄緑道と桜並木	新座市民まつり	新座阿波踊り大会	湧き水「妙音沢」の水辺環境	大和田氷川神社夏まつり(裸みこし・大和田ばやし)	都市計画道路が整備された沿道(新座中央通り、ひばり通りなど)の街並み・景観	総合運動公園のお花畑(菜の花・ひまわり)の景観	区画整理で整備された新座駅周辺の街並み・景観	“すぐそこ新座”春まつり・ひまわりまつり	その他	無回答	
全体	3,073	70.4	50.1	47.6	20.0	13.4	10.5	8.8	8.7	8.5	5.5	5.5	3.4	3.0	2.8	0.4	2.2	2.8	
性別	男性	1,214	69.9	50.3	54.3	23.1	9.2	9.4	7.2	8.7	6.8	6.0	4.1	3.5	2.6	0.3	2.6	2.6	
	女性	1,822	71.2	50.1	43.5	18.0	16.4	11.3	9.9	8.7	9.6	5.1	5.2	2.9	2.7	0.5	2.0	2.5	
年齢別(男性)	20歳代	89	65.2	52.8	40.4	16.9	7.9	19.1	11.2	7.9	12.4	6.7	5.6	4.5	3.4	0.0	1.1	4.5	0.0
	30歳代	183	72.7	59.0	40.4	15.8	11.5	15.8	3.8	10.4	9.3	5.5	8.2	1.6	1.1	1.6	0.0	3.3	1.1
	40歳代	191	69.1	56.0	49.2	18.8	7.9	10.5	2.6	9.4	7.9	5.8	6.3	3.7	3.7	4.2	0.0	3.7	1.0
	50歳代	205	70.7	49.3	55.6	26.8	9.8	9.3	7.3	6.3	4.4	5.9	3.4	4.9	4.9	2.0	0.0	2.9	3.4
	60歳代	306	72.5	49.3	63.4	27.1	8.8	4.6	9.8	8.2	6.2	5.6	7.5	2.9	3.6	3.3	1.0	1.0	2.9
	70歳以上	238	66.4	39.9	60.9	26.5	9.2	6.3	8.8	10.1	4.6	7.6	4.6	7.1	4.2	2.9	0.0	2.1	4.6
	20歳代	151	66.2	52.3	24.5	15.9	15.2	17.9	5.3	11.9	12.6	2.6	5.3	4.0	1.3	3.3	0.0	4.6	2.0
30歳代	344	71.5	55.8	28.2	16.0	11.0	20.6	7.3	9.9	13.4	3.5	4.9	0.9	1.5	1.2	1.5	2.0	2.3	
40歳代	303	71.3	60.4	34.3	17.2	14.9	11.9	9.6	9.6	11.2	5.0	4.6	3.3	2.3	2.0	0.3	2.3	1.3	
50歳代	330	78.2	53.9	47.0	18.2	19.1	11.5	9.7	4.8	6.4	3.9	3.9	2.1	3.0	1.5	0.0	1.8	0.9	
60歳代	405	70.9	43.2	59.0	22.5	18.3	4.4	12.3	9.4	7.9	6.4	6.7	3.5	3.2	4.0	0.2	1.5	2.5	
70歳以上	284	66.2	36.6	56.3	15.8	19.4	5.3	12.7	8.5	8.1	7.7	4.9	4.6	4.6	4.9	0.7	1.4	5.3	
居住年数別	3年未満	257	61.1	42.4	33.1	13.2	6.2	16.3	3.1	12.1	10.9	3.1	3.9	6.2	1.9	4.7	0.4	3.9	5.1
	3以上5年未満	160	66.3	45.0	38.1	21.3	6.9	17.5	7.5	11.9	12.5	5.6	2.5	1.9	3.8	2.5	1.9	4.4	1.9
	5以上10年未満	297	76.8	48.8	37.7	22.9	7.7	14.8	7.4	8.1	12.5	2.0	3.7	1.7	2.4	2.0	0.7	4.0	1.0
	10以上15年未満	364	73.6	49.7	40.9	24.2	11.5	12.4	8.2	9.3	8.0	4.9	2.7	2.2	3.0	2.5	0.3	2.5	2.7
	15以上20年未満	240	69.2	60.8	43.3	19.2	13.3	12.5	6.3	9.6	8.3	4.2	5.0	0.8	2.9	2.1	0.0	2.9	2.1
	20年以上	1,454	71.3	48.2	56.6	20.2	15.8	6.9	11.1	7.2	7.1	6.7	6.6	4.3	3.6	3.1	0.4	1.4	2.5
	生まれてからずっと	273	70.3	63.4	44.0	17.9	20.1	10.6	7.3	11.0	8.1	7.0	8.8	2.6	1.8	1.5	0.0	1.1	1.8
居住地域別	北東地域	723	72.9	54.1	40.4	9.3	13.6	14.1	3.3	7.5	19.5	2.4	5.4	4.4	2.5	4.7	0.6	2.8	3.0
	北西地域	474	63.5	39.0	50.0	20.7	8.9	12.9	4.4	9.9	14.8	3.6	24.3	2.3	1.3	3.8	0.4	2.1	3.2
	東部地域	230	66.1	36.1	39.6	20.9	7.8	8.7	42.6	9.1	1.7	23.9	0.4	1.3	1.7	0.4	0.0	1.7	3.0
	中央地域	316	72.5	51.9	50.0	17.7	23.1	10.1	11.4	13.0	3.8	9.2	1.6	1.3	2.2	2.5	0.6	0.3	1.9
	西部地域	194	74.7	67.5	51.0	6.2	21.6	12.4	1.0	4.6	4.6	3.6	1.0	0.0	4.6	5.7	0.0	2.1	1.5
	南部地域	782	73.3	45.0	51.9	34.9	12.3	6.6	9.3	8.6	2.0	4.3	0.4	6.1	2.4	1.0	0.4	1.9	2.4
	南西地域	313	69.6	69.0	51.8	18.5	11.8	8.6	3.8	8.6	2.2	2.9	0.6	1.9	9.6	1.6	0.6	4.5	0.6

【経年比較】

回答の選択肢に変更があるため同一には比べられないため、参考コメントとする。

過去2回の調査結果との比較を見ると、上位3位に変化は見られず、同じ結果となっている。

表 27 新座らしさを感じるもの(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成 20 年度	平成 16 年度	平成 11 年度
平林寺とその境内林の景観	70.4	69.7 (1)	61.9 (1)
野火止用水	50.1	54.0 (2)	43.0 (2)
武蔵野の面影を残す雑木林	47.6	49.0 (3)	18.5 (3)
黒目川・柳瀬川の水辺景観	20.0	20.6 (4)	- -
黒目川の水辺景観	-	- -	9.8 (5)
柳瀬川の水辺景観	-	- -	2.6 (10)
平林寺半僧坊大祭	13.4	14.5 (5)	15.4 (4)
新座市に特別住民登録をした鉄腕アトム	10.5	10.5 (6)	- -
栄緑道と桜並木	8.8	8.8 (8)	3.7 (8)
新座市民まつり	8.7	8.3 (9)	4.4 (7)
新座阿波踊り大会	8.5	9.5 (7)	6.3 (6)
湧き水「妙音沢」の水辺景観	5.5	3.7 (11)	2.9 (9)
大和田氷川神社夏まつり(裸みこし・大和田はやし)	5.5	4.1 (10)	2.3 (11)
都市計画道路が整備された沿道(新座中央通り、ひばり通り等)の街並み・景観	3.4	3.4 (12)	- -
総合運動公園のお花畑の景観	3.0	- -	- -
区画整理で整備された新座駅周辺の街並み・景観	2.8	3.1 (13)	- -
“すぐそこ新座”春まつり・ひまわりまつり	0.4	- -	- -
江戸時代の老中「松平伊豆守信綱」	-	- -	1.8 (12)
志木駅南口から新座中央通りの沿道	-	- -	1.6 (13)
福祉の里	-	- -	1.6 (13)
中野獅子舞	-	- -	0.4 (15)
その他	2.2	2.8 (14)	0.4 (15)

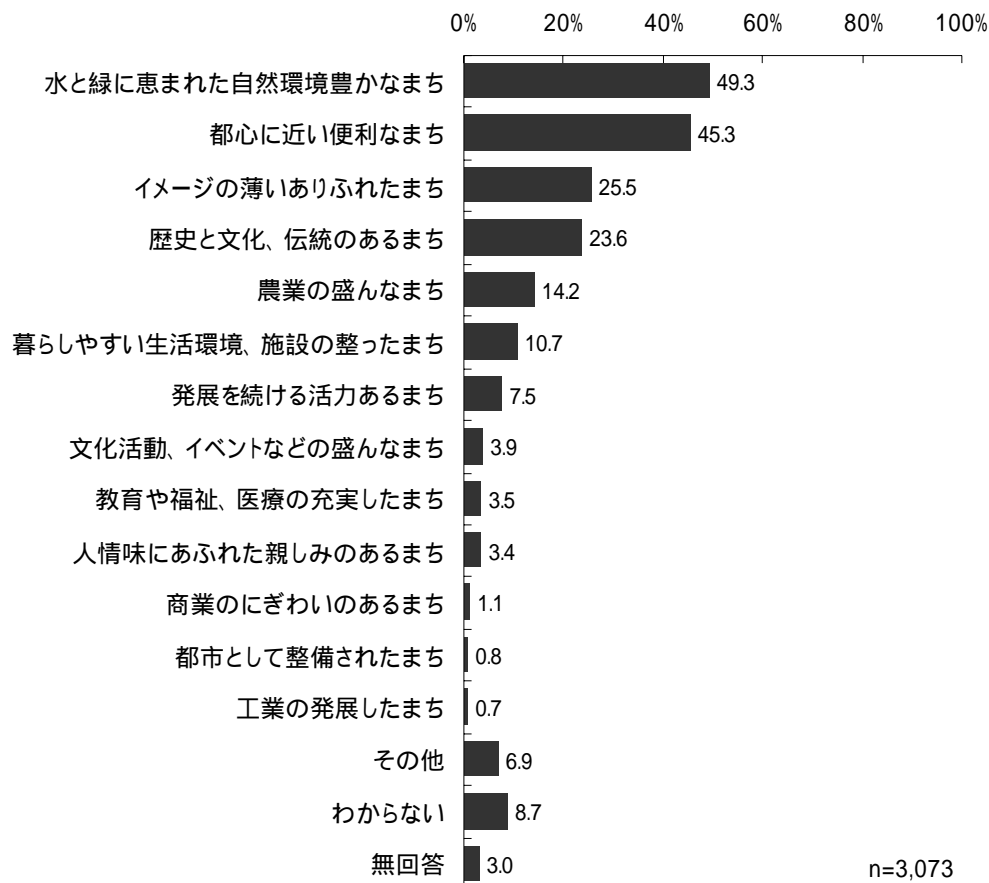
1 5 新座市のイメージについて

(1) 新座市のイメージ

問29 現在の新座市は、どのようなイメージのまちだと思いますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

新座市のイメージについては、「水と緑に恵まれた自然環境豊かなまち」が49.3%で最も高く、これに「都心に近い便利なまち」が45.3%で続いており、上記2つが4割以上を占める結果であった。そのほか、「イメージの薄いありふれたまち」(25.5%)、「歴史と文化、伝統のあるまち」(23.6%)が2割以上で続いている。

図 69 新座市のイメージ



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の70歳以上で「都心に近い便利なまち」が56.7%と高いのに対し、男性の40歳代(35.1%)と女性の30～40歳代(34.6%、35.0%)では低かった。

「居住年数別」については、3年未満(30.7%)、3以上5年未満(34.4%)、5以上10年未満(32.3%)、10以上15年未満(32.1%)で「都心に近い便利なまち」が低い割合を示している。

「居住地域別」を見ると、西部地域で「都心に近い便利なまち」が32.0%と低かった。

表 28 属性別の新座市のイメージ

(単位:%)

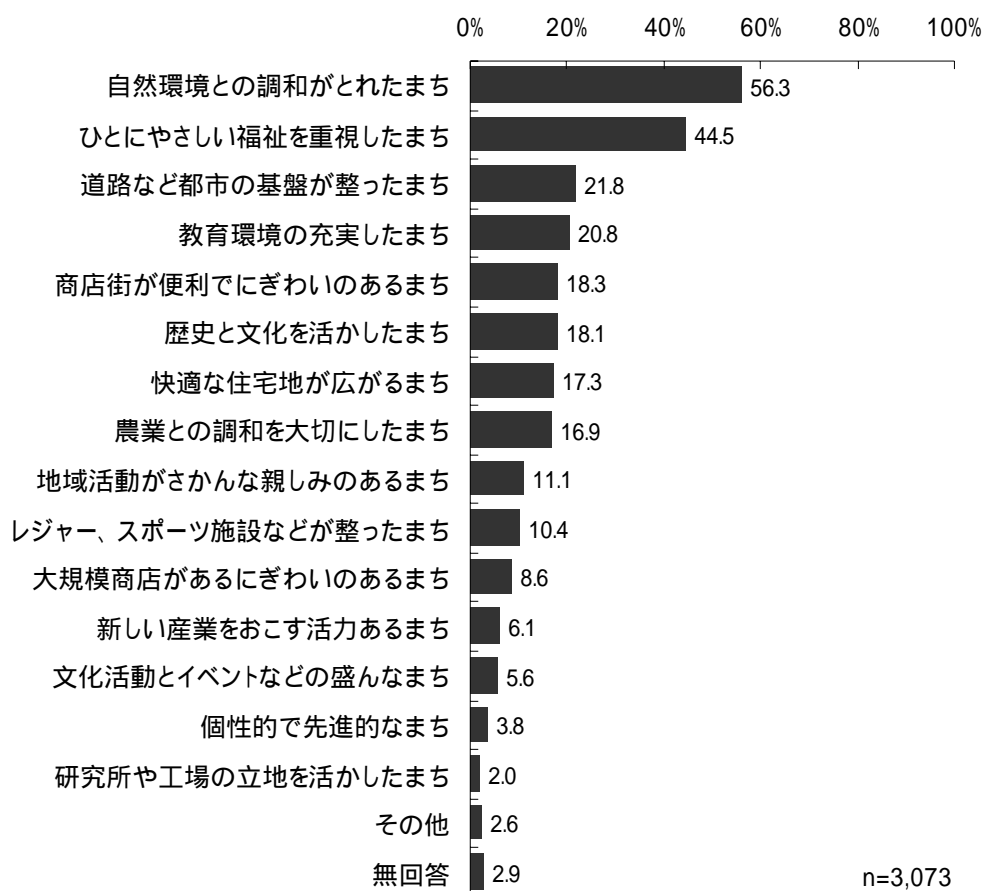
属性		件数 (n)	水と緑に恵まれた自然環境豊かなまち	都心に近い便利なまち	イメージの薄いありふれたまち	歴史と文化、伝統のあるまち	農業の盛んなまち	暮らしやすい生活環境、施設の整ったまち	発展を続ける活力あるまち	文化活動、イベントなどの盛んなまち	教育や福祉、医療の充実したまち	人情味にあふれた親しみのあるまち	商業のにぎわいのあるまち	都市として整備されたまち	工業の発展したまち	その他	わからない	無回答
全体		3,073	49.3	45.3	25.5	23.6	14.2	10.7	7.5	3.9	3.5	3.4	1.1	0.8	0.7	6.9	8.7	3.0
性別	男性	1,214	49.3	46.4	28.3	25.0	14.6	12.3	8.8	3.7	3.6	3.7	1.1	1.0	0.8	8.1	7.4	2.6
	女性	1,822	49.4	44.9	23.9	22.8	13.9	9.5	6.9	4.1	3.6	3.2	1.2	0.6	0.5	6.2	9.7	2.9
年齢別 (男性)	20歳代	89	52.8	43.8	32.6	19.1	13.5	19.1	7.9	4.5	3.4	2.2	2.2	0.0	0.0	9.0	6.7	0.0
	30歳代	183	44.8	39.9	35.5	19.7	15.8	12.6	4.9	3.3	1.1	1.6	1.1	0.5	1.1	9.8	6.6	1.1
	40歳代	191	47.6	35.1	31.4	22.5	8.4	15.2	5.8	3.1	2.1	3.1	1.0	1.6	1.0	7.9	11.0	2.1
	50歳代	205	45.4	46.8	32.2	24.9	11.7	9.8	7.8	3.4	1.5	2.0	1.0	0.0	0.5	10.7	8.8	2.0
	60歳代	306	55.9	49.7	25.2	29.7	19.9	10.5	10.1	2.9	5.6	4.9	0.3	1.0	0.0	6.5	3.9	4.6
	70歳以上	238	47.5	56.7	19.7	26.9	14.7	11.3	13.9	5.5	6.3	6.3	1.7	2.1	2.1	6.3	8.8	2.9
年齢別 (女性)	20歳代	151	41.7	35.8	22.5	23.8	9.3	11.9	6.0	3.3	4.6	3.3	1.3	1.3	2.6	11.3	11.3	2.0
	30歳代	344	41.9	34.6	29.7	17.4	9.6	7.3	6.4	2.9	2.6	4.9	1.5	0.9	0.3	8.7	12.8	1.7
	40歳代	303	48.2	35.0	27.1	20.8	18.5	9.9	5.3	3.6	2.0	1.3	1.0	0.0	0.3	7.6	9.2	1.0
	50歳代	330	51.2	49.4	26.1	19.7	13.0	8.2	5.2	3.0	1.5	2.1	1.2	0.6	0.3	7.9	8.8	0.9
	60歳代	405	59.5	53.8	23.0	25.4	19.0	9.6	7.9	5.9	3.5	3.5	1.2	0.2	0.0	2.2	7.4	3.5
	70歳以上	284	47.5	54.6	13.0	31.0	10.9	12.0	10.2	4.6	8.5	4.2	0.7	1.1	0.7	2.8	9.9	7.7
居住年数別	3年未満	257	40.5	30.7	23.3	17.5	16.7	10.1	6.6	2.7	4.7	4.3	2.7	0.4	1.9	6.6	17.9	2.7
	3年以上5年未満	160	48.1	34.4	26.3	18.8	12.5	9.4	10.6	3.1	3.1	4.4	1.3	0.6	0.6	12.5	10.6	1.9
	5年以上10年未満	297	48.1	32.3	26.9	17.8	14.5	11.8	7.7	3.7	1.3	2.7	1.3	0.3	1.0	7.1	13.1	1.7
	10年以上15年未満	364	48.4	32.1	29.4	21.7	14.8	7.1	4.1	4.7	3.3	2.5	1.1	0.3	0.3	8.5	10.7	2.5
	15年以上20年未満	240	52.9	37.9	27.1	20.0	14.2	8.3	7.5	5.0	2.5	1.7	0.0	0.8	0.0	7.9	7.5	2.1
	20年以上	1,454	51.0	54.7	24.4	26.3	14.2	11.9	8.1	3.9	4.6	4.1	1.1	1.0	0.6	5.6	6.4	3.4
	生まれてからずっと	273	49.5	55.3	26.4	29.7	11.4	11.7	8.8	3.7	1.1	2.6	0.4	0.7	0.4	7.3	5.5	1.8
居住地域別	北東地域	723	41.6	54.4	25.4	21.7	10.5	13.6	9.1	4.0	4.0	3.5	2.1	1.4	0.6	7.1	9.1	2.1
	北西地域	474	46.2	50.0	24.1	25.7	13.3	15.0	5.5	4.9	5.3	3.2	1.7	1.1	0.2	4.6	9.1	2.7
	東部地域	230	51.3	37.4	28.3	20.4	17.0	9.6	10.0	3.0	3.0	3.5	0.0	0.9	0.9	5.7	9.6	3.9
	中央地域	316	55.1	43.7	25.3	26.9	18.0	8.9	9.2	4.7	3.8	2.5	1.3	1.6	1.6	8.5	6.0	1.6
	西部地域	194	57.7	32.0	23.7	23.2	18.6	7.7	6.7	4.1	3.1	3.6	1.0	0.0	1.0	8.2	7.2	3.1
	南部地域	782	50.6	44.5	26.6	23.0	13.6	8.3	7.5	4.1	2.6	4.0	0.4	0.1	0.5	7.7	9.2	3.1
	南西地域	313	56.2	37.4	25.9	25.2	16.9	8.9	5.1	1.9	2.9	3.5	0.6	0.3	0.3	6.1	9.6	3.2

(2) 望むまちの将来像

問30 これからの新座市はどのようなまちになっていけばよいと思いますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください

望むまちの将来像については、「自然環境との調和がとれたまち」が56.3%で過半数以上を占め、最も高かった。これに「ひとにやさしい福祉を重視したまち」(44.5%)が4割以上で続いている。以下、「道路など都市の基盤が整ったまち」(21.8%)、「教育環境の充実したまち」(20.8%)が2割以上であった。

図 70 望むまちの将来像



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20～30歳代で「ひとにやさしい福祉を重視したまち」がそれぞれ28.1%、33.9%と低かった。女性の30歳代で「教育環境の充実したまち」が37.5%と全体に比べて高かった。

表 29 属性別の望むまちの将来像

(単位:%)

属性		件数 (n)	自然環境との調和がとれたまち	ひとにやさしい福祉を重視したまち	道路など都市の基盤が整ったまち	教育環境の充実したまち	商店街が便利でにぎわいのあるまち	歴史と文化を活かしたまち	快適な住宅地が広がるまち	農業との調和を大切にしたまち	地域活動がさかんな親しみのあるまち
全体		3,073	56.3	44.5	21.8	20.8	18.3	18.1	17.3	16.9	11.1
性別	男性	1,214	60.3	41.8	21.7	18.4	16.8	19.9	20.3	17.5	10.8
	女性	1,822	54.5	47.0	21.9	22.6	19.5	17.2	15.5	16.8	11.5
年齢別(男性)	20歳代	89	46.1	28.1	28.1	21.3	21.3	18.0	22.5	9.0	10.1
	30歳代	183	54.6	33.9	19.1	26.2	16.9	16.4	21.9	13.1	8.2
	40歳代	191	57.6	35.1	25.7	28.8	19.4	13.1	20.4	13.1	8.4
	50歳代	205	65.9	44.4	23.4	13.2	12.2	22.0	22.9	14.6	10.7
	60歳代	306	69.3	49.0	15.7	14.1	16.0	22.5	17.6	22.2	16.3
	70歳以上	238	55.5	47.1	24.8	12.6	17.6	23.9	18.9	23.9	8.0
年齢別(女性)	20歳代	151	43.7	39.1	21.2	19.2	19.9	15.2	17.9	13.2	12.6
	30歳代	344	52.0	39.8	21.8	37.5	15.1	11.3	18.6	12.2	9.0
	40歳代	303	53.1	42.9	24.1	29.4	16.5	15.8	15.5	13.2	10.6
	50歳代	330	62.4	48.8	25.8	15.2	21.8	15.8	17.0	16.7	11.5
	60歳代	405	59.0	53.8	18.5	16.8	19.0	21.5	13.3	23.5	13.1
	70歳以上	284	48.9	52.8	20.8	15.8	25.7	22.5	11.3	19.4	13.0

(単位:%)

属性		件数 (n)	レジャー、スポーツ施設などが整ったまち	大規模商店があるにぎわいのあるまち	新しい産業をおこす活力あるまち	文化活動とイベントなどの盛んなまち	個性的で先進的なまち	研究所や工場の立地を活かしたまち	その他	無回答
全体		3,073	10.4	8.6	6.1	5.6	3.8	2.0	2.6	2.9
性別	男性	1,214	11.8	8.1	7.5	5.8	4.9	3.1	2.4	1.7
	女性	1,822	9.7	8.8	5.3	5.6	3.0	1.3	2.7	2.5
年齢別(男性)	20歳代	89	20.2	12.4	10.1	6.7	4.5	5.6	3.4	0.0
	30歳代	183	18.6	14.2	8.2	5.5	5.5	2.7	2.7	0.5
	40歳代	191	15.2	11.5	4.2	5.8	5.8	1.6	4.7	0.0
	50歳代	205	7.3	4.4	6.3	5.9	7.8	1.0	2.9	3.9
	60歳代	306	8.5	3.6	9.5	7.2	3.6	4.2	0.7	1.6
	70歳以上	238	8.8	8.0	7.1	4.2	3.4	4.2	1.7	2.9
年齢別(女性)	20歳代	151	11.9	19.2	3.3	7.9	4.6	2.0	6.0	2.6
	30歳代	344	15.1	9.6	5.2	5.2	1.7	1.5	3.5	0.9
	40歳代	303	12.9	10.6	2.6	7.3	4.6	0.3	2.0	0.7
	50歳代	330	9.4	8.5	7.9	3.9	3.0	1.8	2.7	1.2
	60歳代	405	5.7	5.7	6.9	3.7	2.0	1.7	2.2	4.7
	70歳以上	284	4.6	5.3	3.9	7.7	3.5	0.7	1.4	4.6

16 市政への要望について

(1) 施策の満足度と重要度

問31 あなたが、市の施策で満足しているものはどれですか。また、今後、力を入れてほしいと思うものはどれですか。それぞれについて次の中から5つまで選んで、下のの中に番号を書いてください。

満足している施策

満足している施策については、「緑地、雑木林などの自然環境の保全」が28.9%で最も高く、これに「ごみ減量や資源のリサイクル対策の推進」(23.7%)、「野火止用水や河川の水辺空間の整備」(23.1%)、「駅周辺の整備」(18.8%)、「下水道の整備」(16.3%)の順で続く結果であった。

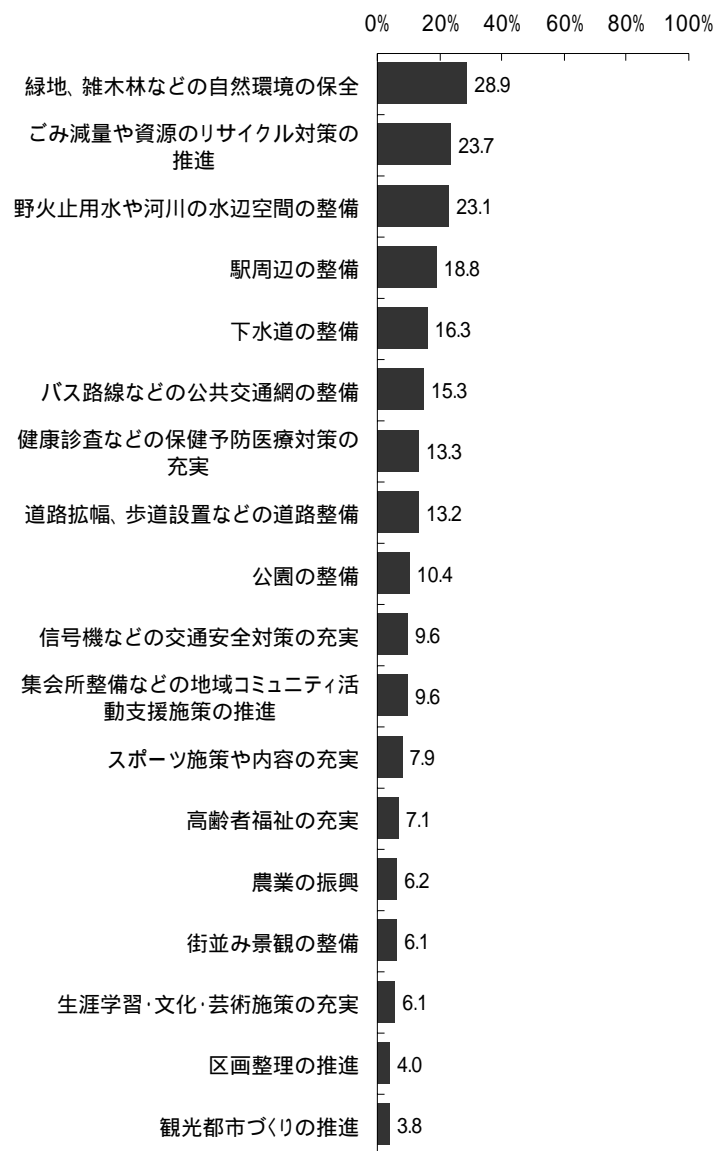


図 71-1 満足している施策

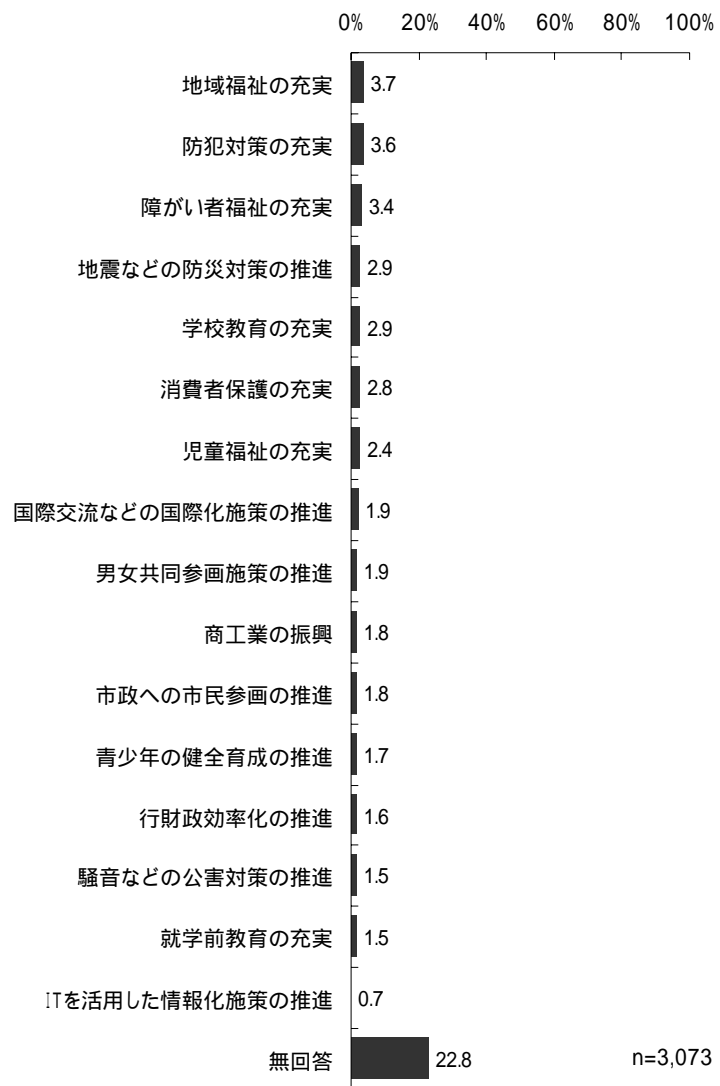


図 71-2 満足している施策(つづき)

【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20歳代で「バス路線などの公共交通網の整備」(25.8%)と「信号機などの交通安全対策の充実」(20.2%)が高かった。

「居住地域別」では、「西部地域」で「駅周辺の整備」が33.0%と高いのに対し、「東部地域」と「南部地域」では、それぞれ8.3%、8.6%と低くなっている。

表 30 属性別の満足している施策

(単位:%)

属性	件数 (n)	緑地、雑木林などの自然環境の保全	ごみ減量や資源のリサイクル対策の推進	野火止水や河川の水辺空間の整備	駅周辺の整備	下水道の整備	バス路線などの公共交通網の整備	防医療対策の充実	健康診査などの保健予防医療対策の充実	道路拡幅、歩道設置などの道路整備	公園の整備	信号機などの交通安全対策の充実	集会所整備などの地域コミュニティ活動支援施策の推進	スポーツ施策や内容の充実
全体	3,073	28.9	23.7	23.1	18.8	16.3	15.3	13.3	13.2	10.4	9.6	9.6	7.9	
性別	男性	1,214	29.6	22.0	23.1	19.4	18.5	15.7	14.1	13.8	11.9	10.7	10.0	9.2
	女性	1,822	28.9	24.9	23.4	18.6	15.1	15.3	13.0	12.8	9.5	9.1	9.4	7.1
年齢別(男性)	20歳代	89	24.7	27.0	25.8	25.8	12.4	25.8	11.2	14.6	15.7	20.2	3.4	10.1
	30歳代	183	28.4	15.3	21.3	23.0	13.1	20.2	8.2	13.1	7.1	9.8	2.7	5.5
	40歳代	191	31.4	18.3	28.8	13.6	14.1	11.5	9.9	11.5	11.5	11.0	6.8	12.6
	50歳代	205	29.8	21.5	22.9	16.1	13.7	13.2	10.2	12.7	12.7	7.3	12.7	9.3
	60歳代	306	30.4	25.8	23.5	21.2	25.5	14.1	19.3	12.4	9.8	9.8	14.7	10.1
	70歳以上	238	29.0	23.9	17.6	19.7	23.5	15.5	19.7	18.5	16.8	11.3	12.6	8.0
	年齢別(女性)	20歳代	151	29.8	14.6	19.2	25.2	7.9	20.5	7.3	13.9	9.3	15.2	6.6
30歳代	344	29.4	20.9	19.5	19.8	11.0	18.0	11.0	9.9	9.9	6.4	7.0	5.8	
40歳代	303	26.1	23.1	27.7	17.8	7.9	11.9	8.6	10.2	7.6	8.6	6.6	7.9	
50歳代	330	29.7	29.7	21.5	18.2	15.5	14.2	13.0	10.0	9.1	7.6	9.7	7.9	
60歳代	405	30.9	30.9	25.9	16.0	21.7	15.3	16.8	13.3	10.4	10.1	13.8	9.9	
70歳以上	284	27.5	23.2	23.9	18.0	21.8	14.1	17.3	20.8	10.6	9.9	10.2	4.2	
居住地域別	北東地域	723	24.3	23.1	18.9	28.5	14.0	17.7	14.0	17.2	11.6	11.2	7.9	5.3
	北西地域	474	27.2	20.7	23.4	23.8	15.0	18.1	14.6	12.0	10.1	9.1	8.2	6.8
	東部地域	230	35.2	24.3	20.9	8.3	19.1	11.3	13.5	13.0	13.0	7.8	13.5	7.4
	中央地域	316	28.8	23.7	26.9	23.7	13.9	18.4	9.8	9.8	13.6	10.4	10.8	12.0
	西部地域	194	30.9	24.2	26.8	33.0	13.9	11.9	18.0	11.3	7.7	6.7	8.8	7.7
	南部地域	782	30.1	23.4	22.0	8.6	21.5	15.2	13.3	13.2	9.3	10.4	9.2	8.7
	南西地域	313	35.1	30.0	31.3	9.6	13.1	9.3	11.5	11.5	8.0	8.0	13.4	10.2

(単位:%)

属性		件数 (n)	高齢者福祉 の充実	農業の振興	街並み景観 の整備	生涯学習・文 化・芸術施策 の充実	生涯学習・文 化・芸術施策 の充実	区画整理の 推進	観光都市づ くりの推進	地域福祉の 充実	防犯対策の 充実	障がい者福 祉の充実	地震などの 防災対策の 推進	学校教育の 充実	消費者保護 の充実
全体		3,073	7.1	6.2	6.1	6.1	4.0	3.8	3.7	3.6	3.4	2.9	2.9	2.8	
性別	男性	1,214	8.2	7.5	5.0	5.4	5.3	4.0	4.4	4.6	3.5	3.4	4.1	3.1	
	女性	1,822	6.4	5.3	6.9	6.6	3.2	3.7	3.3	2.9	3.3	2.6	2.1	2.6	
年齢別(男性)	20歳代	89	4.5	5.6	6.7	2.2	2.2	3.4	3.4	5.6	2.2	2.2	6.7	0.0	
	30歳代	183	4.4	8.2	6.0	4.4	6.6	1.1	4.4	1.1	0.5	0.0	2.2	2.2	
	40歳代	191	2.6	4.2	7.9	4.7	3.7	4.7	5.8	4.7	2.6	3.7	3.7	2.6	
	50歳代	205	3.9	8.3	2.9	3.9	3.4	3.4	2.9	4.4	6.3	3.4	2.9	2.4	
	60歳代	306	11.1	10.8	4.2	6.9	6.2	6.2	3.9	4.6	3.9	3.6	4.6	2.6	
	70歳以上	238	16.8	5.5	4.2	7.1	7.1	3.8	5.5	7.1	3.8	5.9	5.5	6.7	
年齢別(女性)	20歳代	151	4.6	5.3	7.9	6.0	2.6	4.0	4.6	4.0	2.6	2.0	2.6	2.0	
	30歳代	344	2.0	6.1	9.3	4.7	2.3	2.6	2.0	2.3	2.0	1.2	2.6	1.2	
	40歳代	303	2.0	5.9	5.9	3.3	3.6	3.6	2.6	3.3	1.3	2.3	2.6	0.7	
	50歳代	330	5.2	5.8	4.8	9.7	2.7	4.2	2.4	1.8	2.7	2.4	0.9	2.7	
	60歳代	405	8.1	4.2	7.2	8.6	3.0	4.2	4.2	3.5	4.4	3.5	2.5	4.0	
	70歳以上	284	16.5	4.2	6.7	6.7	4.6	3.5	4.9	3.2	6.3	4.2	1.8	4.6	
居住地域別	北東地域	723	4.6	6.6	6.1	6.6	6.6	3.5	2.9	4.6	3.2	2.6	2.6	2.6	
	北西地域	474	8.6	5.1	6.1	5.9	4.9	4.6	3.2	2.3	4.2	4.9	3.4	2.5	
	東部地域	230	11.7	5.2	7.4	7.8	1.3	1.3	6.5	4.3	3.9	3.0	3.0	2.2	
	中央地域	316	8.2	7.3	6.0	3.8	2.5	4.4	3.5	2.8	3.2	2.2	1.9	3.8	
	西部地域	194	4.6	5.7	8.2	7.7	4.6	6.2	5.2	2.1	4.6	1.5	2.6	3.1	
	南部地域	782	6.9	5.9	5.0	6.6	3.2	3.7	3.7	4.7	2.4	2.3	3.8	2.6	
	南西地域	313	8.3	7.3	7.0	4.2	1.9	4.2	4.2	2.2	3.8	3.5	1.9	3.8	

(単位:%)

属性		件数 (n)	児童福祉の充 実	国際交流など の国際化施策 の推進	国際交流など の国際化施策 の推進	男女共同参画 施策の推進	商工業の振興	市政への市民 参画の推進	青少年の健全 育成の推進	行政効率化 の推進	騒音などの公 害対策の推進	就学前教育の 充実	ITを活用し た情報化施策 の推進	無回答
全体		3,073	2.4	1.9	1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.5	1.5	0.7	22.8	
性別	男性	1,214	2.1	2.1	1.7	1.8	2.1	1.9	2.7	2.0	1.3	0.7	20.8	
	女性	1,822	2.6	1.8	2.0	1.8	1.5	1.6	0.9	1.2	1.6	0.7	23.1	
年齢別(男性)	20歳代	89	6.7	5.6	2.2	3.4	0.0	3.4	3.4	3.4	0.0	2.2	13.5	
	30歳代	183	2.2	0.5	1.1	1.6	0.5	0.5	1.1	1.1	2.7	0.0	24.6	
	40歳代	191	4.2	3.7	1.0	1.6	1.6	1.6	1.6	2.1	1.0	1.0	23.0	
	50歳代	205	1.5	0.5	0.5	1.5	2.9	1.0	4.4	2.0	2.0	0.5	25.9	
	60歳代	306	1.3	2.9	2.0	2.3	2.6	2.3	4.9	2.6	1.0	0.7	17.6	
	70歳以上	238	0.4	0.8	3.4	1.3	3.4	2.9	0.4	1.3	0.8	0.8	18.9	
年齢別(女性)	20歳代	151	4.6	1.3	2.0	2.6	1.3	3.3	2.0	1.3	2.0	0.0	21.9	
	30歳代	344	4.7	1.2	1.2	1.7	0.6	0.6	1.2	1.5	2.3	0.9	24.1	
	40歳代	303	3.0	1.7	2.0	2.0	1.0	0.3	0.3	1.0	1.7	1.3	24.1	
	50歳代	330	1.2	2.4	2.7	1.2	2.4	1.5	1.8	0.6	0.9	0.6	23.3	
	60歳代	405	2.5	2.0	1.5	1.0	2.7	2.2	0.5	0.7	1.5	0.2	20.7	
	70歳以上	284	0.4	2.1	2.8	2.8	0.7	2.5	0.0	2.5	1.4	0.7	24.3	
居住地域別	北東地域	723	3.3	2.5	3.3	2.4	1.7	1.8	1.1	1.8	1.7	0.8	22.1	
	北西地域	474	1.1	1.1	1.5	2.1	1.9	1.7	2.3	1.7	2.1	0.6	25.1	
	東部地域	230	3.9	1.3	0.4	1.7	1.3	0.9	0.4	0.9	2.6	0.4	20.9	
	中央地域	316	1.6	1.9	1.6	1.3	3.2	1.6	0.3	0.9	1.3	0.0	20.9	
	西部地域	194	3.1	1.5	2.6	2.1	1.0	3.6	3.6	1.5	1.0	0.5	16.0	
	南部地域	782	2.4	1.9	1.4	1.5	1.7	1.2	2.0	1.5	0.8	0.5	24.4	
	南西地域	313	1.9	2.9	1.3	1.0	1.6	2.6	1.6	1.3	1.6	2.2	19.2	

力を入れてほしい施策

力を入れてほしい施策については、「道路拡幅、歩道設置などの道路整備」が32.9%で最も高く、これに「高齢者福祉の充実」(32.2%)、「バス路線などの公共交通網の整備」(30.7%)が3割以上で続く結果であった。そのほか「健康診査などの保健予防医療対策の充実」(23.4%)、「学校教育の充実」(18.0%)が続いている。

図 72-1 力を入れてほしい施策

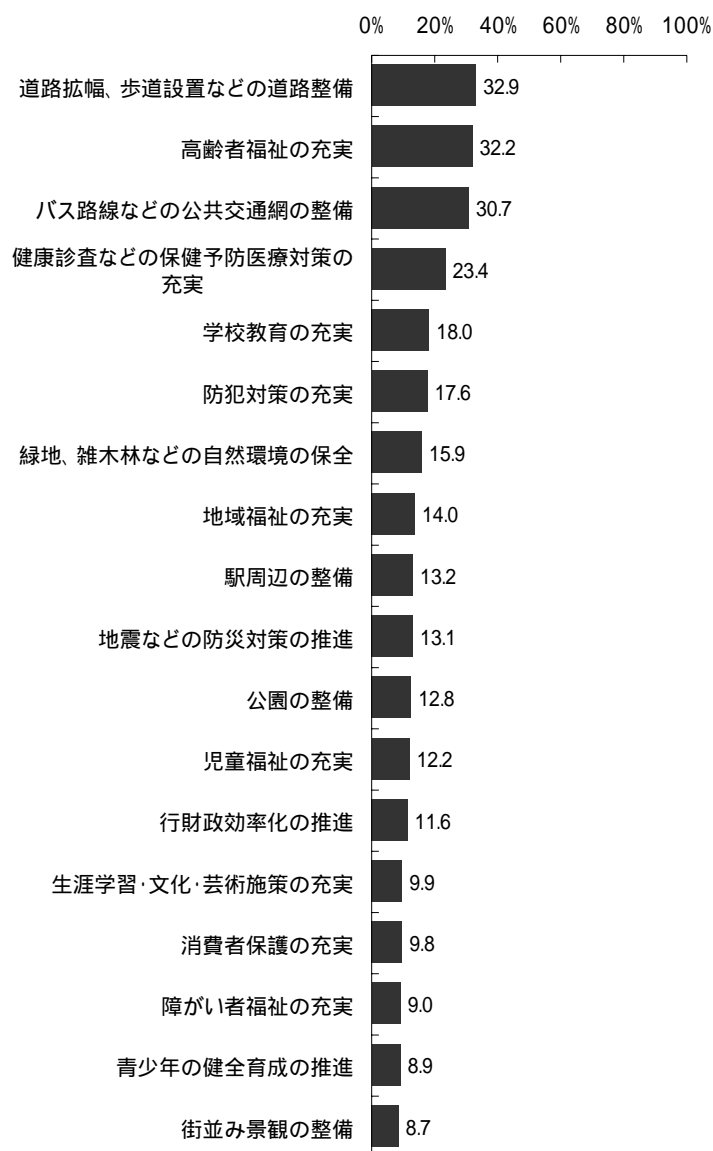
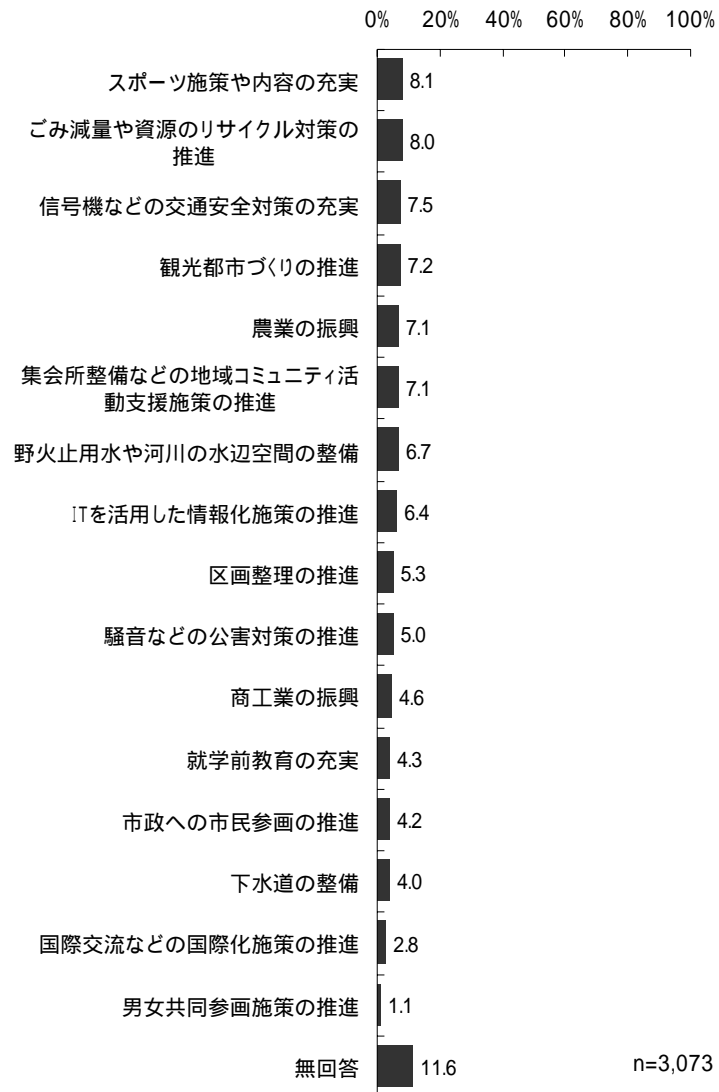


図 72-2 力を入れてほしい施策(つづき)



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴は見られなかった。

「性別・年齢別」では、男性の20歳代で「駅周辺の整備」(24.7%)が、男性の30歳代と女性の30歳代で「児童福祉の充実」(25.7%、33.4%)が、女性の40歳代で「学校教育の充実」(30.4%)が高くなっている。また、女性の30歳代では、「就学前教育の充実」(15.7%)も高かった。

そのほか、女性の70歳以上で「高齢者福祉の充実」が43.7%と高いのに対し、男性の20～40歳代(21.3%、16.4%、19.4%)と女性の20～30歳代(15.9%、18.6%)では、低い割合を示している。

「居住地域別」では、「東部地域」と「南西地域」で「バス路線などの公共交通網の整備」がそれぞれ43.5%、41.9%と高かった。

表 31 属性別の力を入れてほしい施策

(単位:%)

属性		件数 (n)	道路拡幅、歩道設置 などの道路整備	高齢者福祉の充実	バス路線などの公 共交通網の整備	健康予 防医療 対策の 充実	健康診 査など の保 全	学校 教育の 充実	防犯 対策の 充実	緑地、 雑木林 などの 自然環 境の保 全	地域 福祉の 充実	駅周 辺の整 備	地震 などの 防災 対策の 推進	公園 の整備	児童 福祉の 充実
全体		3,073	32.9	32.2	30.7	23.4	18.0	17.6	15.9	14.0	13.2	13.1	12.8	12.2	
性別	男性	1,214	34.2	31.8	27.5	20.6	16.2	18.2	18.3	14.2	14.4	10.4	12.5	9.7	
	女性	1,822	32.4	32.9	33.0	25.7	19.4	17.5	14.7	13.9	12.5	15.1	13.2	14.1	
年齢別 (男性)	20歳代	89	37.1	21.3	23.6	14.6	14.6	12.4	18.0	15.7	24.7	6.7	10.1	13.5	
	30歳代	183	35.5	16.4	29.5	20.8	21.3	20.2	14.8	10.4	14.2	9.3	20.2	25.7	
	40歳代	191	41.4	19.4	28.3	14.1	23.6	25.1	17.3	16.2	18.8	6.8	16.2	11.5	
	50歳代	205	38.0	37.1	26.8	17.6	16.6	21.5	23.9	18.0	15.1	14.6	12.2	3.4	
	60歳代	306	31.4	40.5	25.2	26.8	12.7	13.7	20.9	14.7	10.1	9.8	10.1	6.5	
	70歳以上	238	26.5	42.0	30.3	22.3	10.9	16.0	13.9	10.9	12.2	12.2	8.0	4.2	
年齢別 (女性)	20歳代	151	23.2	15.9	36.4	25.2	17.2	19.2	7.9	13.9	19.9	13.2	14.6	19.9	
	30歳代	344	36.0	18.6	28.5	27.9	33.4	17.2	11.0	14.5	16.3	12.2	25.6	33.4	
	40歳代	303	41.6	26.1	36.6	23.8	30.4	18.2	18.5	14.9	16.8	10.9	14.9	18.2	
	50歳代	330	36.1	41.2	33.9	22.1	11.8	20.6	15.2	17.3	11.8	21.5	10.3	6.1	
	60歳代	405	28.9	42.0	32.6	28.6	15.1	15.3	19.5	13.8	7.7	13.6	9.4	5.4	
	70歳以上	284	24.3	43.7	32.4	25.4	7.0	15.1	10.9	8.5	7.4	19.0	4.2	4.9	
居住 地域別	北東地域	723	33.1	30.7	22.3	24.1	18.5	21.6	17.6	13.8	16.5	12.7	14.7	14.9	
	北西地域	474	25.3	33.8	27.6	21.9	16.9	17.5	15.4	14.1	11.2	12.9	10.8	9.1	
	東部地域	230	21.7	35.2	43.5	29.1	15.2	15.2	16.5	16.1	7.0	16.5	8.7	10.0	
	中央地域	316	41.8	35.1	37.7	22.8	16.8	16.5	19.0	14.2	10.1	12.7	14.6	10.8	
	西部地域	194	41.8	30.4	26.3	24.7	22.2	20.1	14.4	8.8	13.4	11.3	13.4	12.9	
	南部地域	782	35.7	32.5	30.7	23.0	18.2	15.0	15.7	14.5	18.4	13.7	14.2	11.4	
	南西地域	313	33.5	32.3	41.9	23.0	20.1	18.2	12.1	15.3	4.8	12.5	9.6	16.6	

(単位:%)

属性		件数 (n)	進 行財政効率化の推 進	生 涯学習・文化・ 芸術施策の充実	消 費者保護の充実	障 がい者福祉の充 実	青 少年の健全育 成の推進	街 並み景観の整備	ス ポーツ施策や内 容の充実	ご み減量や資源のリ サイクル対策の推進	安 全対策の充実	信 号機などの交通 安全対策の充実	推 進 観 光都市づくりの 推進	農 業の振興	集 会所整備などの地 域コミュニティー活動 支援施策の推進
全体		3,073	11.6	9.9	9.8	9.0	8.9	8.7	8.1	8.0	7.5	7.2	7.1	7.1	7.1
性別	男性	1,214	15.6	9.6	10.2	7.5	9.2	10.5	8.9	8.3	7.7	7.8	8.4	6.4	6.4
	女性	1,822	9.2	10.3	9.7	10.2	8.8	7.5	7.6	7.9	7.6	6.9	6.4	7.6	7.6
年齢別(男性)	20歳代	89	14.6	2.2	9.0	16.9	9.0	11.2	12.4	7.9	10.1	10.1	9.0	2.2	2.2
	30歳代	183	8.7	6.6	10.4	4.9	7.7	9.3	12.6	9.8	8.2	3.8	6.6	4.9	4.9
	40歳代	191	9.9	8.4	9.9	6.8	6.8	14.7	9.9	7.3	7.9	8.4	10.5	3.7	3.7
	50歳代	205	16.1	13.2	7.8	6.3	9.3	13.7	10.7	7.8	4.4	8.3	11.7	5.4	5.4
	60歳代	306	20.3	13.4	11.8	6.2	9.5	11.1	6.9	9.8	8.2	8.5	6.9	11.4	11.4
	70歳以上	238	19.3	8.0	10.9	9.2	12.2	4.6	5.0	6.7	8.4	8.4	7.1	5.9	5.9
年齢別(女性)	20歳代	151	6.0	6.0	11.3	11.3	7.9	7.3	12.6	11.9	8.6	5.3	7.3	2.6	2.6
	30歳代	344	5.2	8.4	6.1	8.4	5.5	4.7	9.6	7.6	9.0	4.1	5.2	4.7	4.7
	40歳代	303	9.6	11.2	6.6	9.2	9.6	9.9	11.2	8.3	8.9	4.3	3.0	3.6	3.6
	50歳代	330	13.0	11.8	12.1	10.0	6.1	9.7	8.5	7.6	10.3	9.1	7.3	10.0	10.0
	60歳代	405	11.9	11.6	12.6	9.9	13.1	7.4	5.2	7.4	4.4	9.6	8.1	10.4	10.4
	70歳以上	284	7.4	9.5	9.9	13.0	9.9	6.3	1.1	6.7	4.9	7.4	7.4	11.3	11.3
居住地別	北東地域	723	13.7	9.5	10.0	8.9	8.3	10.9	10.2	9.5	8.9	7.2	6.2	7.1	7.1
	北西地域	474	10.1	9.7	10.8	10.3	9.5	9.9	6.5	10.3	5.3	8.4	9.3	7.0	7.0
	東部地域	230	11.3	12.2	9.6	11.7	9.6	7.0	11.7	7.8	4.3	4.8	7.0	6.1	6.1
	中央地域	316	10.4	9.2	12.3	7.6	7.6	7.9	3.8	6.0	11.7	9.2	7.0	5.7	5.7
	西部地域	194	9.8	10.3	7.7	10.8	7.7	7.2	7.7	5.2	9.8	6.2	7.7	5.7	5.7
	南部地域	782	13.0	10.9	8.1	7.2	9.1	7.8	7.9	7.3	7.4	6.6	7.0	7.2	7.2
	南西地域	313	9.3	8.3	12.5	10.9	11.2	7.0	8.3	7.0	5.4	7.3	6.1	10.2	10.2

(単位:%)

属性		件数 (n)	整 備 川 野 火 止 用 水 や 河 川 の 水 辺 空 間 の 整 備	進 情 報 化 施 策 の 推 進	区 画 整 理 の 推 進	騒 音 な ど の 公 害 対 策 の 推 進	商 工 業 の 振 興	充 実 就 学 前 教 育 の 充 実	参 画 の 推 進 市 政 へ の 市 民 参 画 の 推 進	下 水 道 の 整 備	進 国 際 交 流 な ど の 国 際 化 施 策 の 推 進	施 策 の 推 進 男 女 共 同 参 画 施 策 の 推 進	無 回 答
全体		3,073	6.7	6.4	5.3	5.0	4.6	4.3	4.2	4.0	2.8	1.1	11.6
性別	男性	1,214	8.2	8.6	6.3	5.6	6.9	3.1	5.6	3.8	3.0	0.7	11.5
	女性	1,822	5.8	5.0	4.8	4.7	3.1	5.2	3.4	4.2	2.7	1.3	10.4
年齢別(男性)	20歳代	89	5.6	14.6	2.2	12.4	11.2	2.2	5.6	1.1	4.5	0.0	11.2
	30歳代	183	6.0	14.8	10.4	6.0	8.2	8.2	2.2	1.1	2.7	0.5	4.9
	40歳代	191	9.4	9.4	7.9	6.8	8.9	4.7	3.1	3.1	2.1	0.5	9.4
	50歳代	205	12.2	13.2	4.9	5.9	6.3	1.5	6.3	5.9	2.9	0.5	8.3
	60歳代	306	9.8	4.6	6.9	3.6	6.2	0.7	9.5	5.9	3.3	1.3	12.1
	70歳以上	238	4.6	1.3	3.8	3.8	4.2	2.9	4.6	2.9	2.9	0.8	20.6
年齢別(女性)	20歳代	151	4.0	8.6	2.0	7.3	2.0	6.0	0.7	3.3	9.3	1.3	7.9
	30歳代	344	4.7	6.7	4.7	4.1	2.6	15.7	3.5	1.7	2.9	2.6	5.5
	40歳代	303	4.3	8.3	5.0	3.3	4.0	3.6	4.3	2.6	4.6	0.7	5.3
	50歳代	330	7.6	5.8	6.1	5.5	3.9	2.1	3.9	5.8	1.2	1.2	6.4
	60歳代	405	6.7	1.7	5.9	3.7	3.2	2.2	4.0	6.4	1.5	0.7	13.3
	70歳以上	284	6.0	1.8	3.2	6.0	2.1	1.1	2.5	4.6	0.7	1.1	23.6
居住地別	北東地域	723	6.2	6.8	6.2	6.4	4.3	5.8	3.5	3.3	2.8	1.0	9.7
	北西地域	474	7.0	6.5	5.9	4.0	3.2	4.4	4.9	4.6	3.6	2.3	12.9
	東部地域	230	3.9	5.2	3.0	7.0	5.7	3.5	6.1	0.9	1.3	1.3	11.7
	中央地域	316	7.9	5.1	5.1	5.1	6.3	5.1	4.4	4.7	3.2	0.3	9.2
	西部地域	194	10.3	4.1	6.7	5.7	6.2	2.1	5.7	5.2	1.0	0.0	11.3
	南部地域	782	6.6	7.0	5.0	4.5	4.1	4.0	4.5	3.8	3.1	0.9	12.1
	南西地域	313	7.0	8.0	3.8	3.5	5.4	3.2	2.6	6.1	2.9	1.0	8.0

【経年比較】

過去2回(平成11年度、平成7年度)と選択肢が大幅に変更しているため参考データとする。
 前回調査結果と比較すると、上位3位は前回と変わらず同じ結果であった。

表 32 力を入れてほしい施策(経年比較)

(単位:%)

選択肢	平成 20 年度	平成 16 年度	平成 11 年度	平成 7 年度
道路拡幅、歩道設置等の道路整備	32.9	46.5 (1)	-	-
(歩道の整備)	-	-	25.1 (2)	18.4 (5)
(道路の整備)	-	-	23.2 (3)	29.4 (1)
高齢者福祉対策の充実	32.2	38.5 (2)	-	-
バス路線などの公共交通網の整備	30.7	34.3 (3)	-	-
(バス路線の整備)	-	-	18.0 (6)	23.5 (3)
健康診査などの保健予防医療対策の充実	23.4	26.2 (6)	-	-
(健康を守る保健衛生行政の充実)	-	-	7.0 (15)	6.0 (17)
学校教育の充実	18.0	17.5 (8)	7.2 (14)	6.4 (15)
防犯対策の充実	17.6	31.3 (4)	-	-
緑地、雑木林などの自然環境の保全	15.9	29.2 (5)	-	-
(緑を守り育てる)	-	-	18.8 (5)	20.9 (4)
地域福祉の充実	14.0	-	-	-
駅周辺の整備	13.2	17.9 (7)	-	-
(駅前開発を進める)	-	-	12.4 (8)	14.4 (7)
地震などの防災対策の推進	13.1	14.1 (12)	-	-
(防災対策の充実)	-	-	12.3 (9)	11.2 (8)
公園の整備	12.8	16.8 (9)	10.6 (10)	10.9 (9)
児童福祉対策の充実	12.2	12.6 (14)	-	-
行財政改革の推進	11.6	4.6 (26)	-	-
生涯学習・文化・芸術施策の充実	9.9	10.8 (16)	-	-
(生涯学習の充実)	-	-	3.6 (24)	3.4 (20)
(地域の文化を高める)	-	-	2.3 (25)	2.6 (24)
消費者保護の充実	9.8	14.8 (11)	-	-
(消費者保護[悪徳商法追放のPRなど]の充実)	-	-	3.8 (23)	1.8 (25)
障害者福祉対策の充実	9.0	6.9 (21)	-	-
(福祉[高齢者、母子、父子、障害者、低所得者、保育]を充実)	-	-	31.2 (1)	26.0 (2)
青少年の健全育成の推進	8.9	12.6 (14)	4.0 (20)	3.1 (21)
街並み景観の整備	8.7	10.2 (18)	-	-
(景観のある街並みの整備)	-	-	8.8 (11)	9.3 (13)
スポーツ施策や内容の充実	8.1	13.9 (13)	-	-
(スポーツレクリエーション施設の整備)	-	-	8.2 (12)	9.7 (12)
ごみ減量や資源のリサイクル対策の推進	8.0	15.1 (10)	-	-
(廃棄物対策)	-	-	20.5 (4)	17.0 (6)
信号機などの交通安全対策の充実	7.5	10.8 (16)	-	-
(交通安全対策の充実)	-	-	8.1 (13)	6.5 (14)
観光都市づくりの推進	7.2	-	-	-
農業の振興	7.1	3.9 (28)	-	-
集会所整備など地域コミュニティ活動支援施策の推進	7.1	6.6 (24)	-	-
(施設コミュニティ施設の整備)	-	-	4.3 (19)	4.7 (19)
野火止用水や河川の水辺空間の整備	6.7	8.7 (19)	-	-
(用水・河川への親水的機能の整備)	-	-	4.0 (20)	4.8 (18)
ITを活用した情報化施策の推進	6.4	6.9 (21)	-	-
(コミュニティづくりを進める)	-	-	1.3 (28)	1.6 (27)
区画整理の推進	5.3	6.5 (25)	4.7 (17)	6.2 (16)
騒音などの公害対策の推進	5.0	7.6 (20)	-	-
(公害[汚水、振動、騒音など]をなくす)	-	-	12.8 (7)	10.5 (10)
商工業の振興	4.6	4.0 (27)	-	-
就学前教育の充実	4.3	-	-	-
市政への市民参画の推進	4.2	3.0 (29)	4.0 (20)	2.9 (23)
下水道の整備	4.0	6.9 (21)	4.5 (18)	10.3 (11)
国際交流などの国際化施策の推進	2.8	2.6 (31)	1.6 (27)	1.6 (27)
男女共同参画施策の推進	1.1	1.1 (32)	-	-
(女性の地位向上を図る)	-	-	1.8 (26)	1.7 (26)
その他	-	2.8 (30)	4.8 (16)	3.1 (21)

第12回新座市民意識調査

～調査へのご協力のお願い～

新座市のまちづくりについて あなたのご意見をお聞かせください

日ごろから、新座市政に深いご理解とご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

さて、このたび新座市では、市民の皆様の市政に対するご意見やご要望などをお伺いするために、「第12回市民意識調査」を実施いたします。調査の結果につきましては、平成23年度を初年度とする「第4次基本構想総合振興計画」の策定の基礎資料として活用し、今後の市のまちづくりに反映させていただきます。

基本構想総合振興計画とは、まちづくりの基本的な方向性を示すための長期的な計画です。お忙しいところ誠に恐縮ですが、皆様のご意見やご要望をまちづくりに生かすため、是非、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、市内にお住まいの満20歳以上の方6,000人を無作為に選ばせていただき、調査票をお送りしています。調査の結果は、「広報にいざ」などで公表いたしますが、統計的に処理し、個人の考え方が公表されることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成21年2月 新座市長 須田 健治

【記入に当たってのお願い】

- 1 回答は、ボールペン、濃い鉛筆などで、調査票に直接ご記入ください。
- 2 できるだけ封筒のあて名のご本人がご記入ください。ただし、ご記入が困難な場合には、ご家族の方などが代わりに記入していただいても差し支えありません。
- 3 回答は、問1から順にお答えください。
- 4 記入が終わりましたら、恐れ入りますが記入もれがないか確認の上、同封の返信用封筒に入れて、**平成21年2月27日(金)**までにご投函ください。切手は不要です。

お問い合わせ先

新座市 企画総務部 秘書広聴課
電話 048-477-1111 内線 1032
ファックス 048-482-6811

定住意識について

問1 あなたは、新座市を住みよいと感じていますか。それとも住みにくいと感じていますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 住みよい | ▶ (問1 - 1へ) |
| 2 どちらかといえば住みよい | |
| 3 どちらかといえば住みにくい | ▶ (問1 - 2へ) |
| 4 住みにくい | |
| 5 どちらともいえない | |

問1 - 1 問1で「1 住みよい」又は「2 どちらかといえば住みよい」を選んだ方にうかがいます。どういう点で住みよいと感じていますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 福祉や保健サービスが充実している |
| 2 道路や下水道などの都市基盤が整っている |
| 3 防犯や防災などの安全な生活環境が整っている |
| 4 教育、生涯学習などが充実している |
| 5 畑や雑木林が多く残り自然環境が豊かである |
| 6 平林寺、野火止用水などの歴史的文化遺産が数多く残されている |
| 7 交通の便がよい |
| 8 近所づきあいがよい(地域住民の連帯感が強い) |
| 9 公共施設が整っている |
| 10 買物など日常生活が便利である |
| 11 その他() |

問1 - 2 問1で「3 どちらかといえば住みにくい」又は「4 住みにくい」と選んだ方にうかがいます。

どういう点で住みにくいと感じていますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 福祉や保健サービスが充実していない |
| 2 道路や下水道などの都市基盤が整っていない |
| 3 防犯や防災などの安全な生活環境が整っていない |
| 4 教育、生涯学習などが充実していない |
| 5 畑や雑木林が減少し自然環境が悪い |
| 6 交通の便が悪い |
| 7 近所づきあいがうまくいっていない(地域住民の連帯感がない) |
| 8 公共施設が整っていない |
| 9 買物など日常生活が不便である |
| 10 その他() |

問2 あなたは、今後も新座市に住みたいと思いますか。それとも住みたいとは思いませんか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 ずっと住みたいと思う | 3 できれば市外に移りたい |
| 2 当分は住みたいと思う | 4 特に考えていない |

市の窓口サービスについて

問3 市の窓口サービスは、いかがですか。それぞれについて次の中から1つずつ選んで、をつけてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
全体の印象	1	2	3	4	5
職員の応対	1	2	3	4	5
事務処理の対応	1	2	3	4	5

(問3 - 1 ~ 問3 - 2へ)

問3 - 1 問3 で「3 やや不満」又は「4 不満」と選んだ方にうかがいます。

職員の応対のどういう点が不満ですか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

1 言葉づかいや態度	3 たらい回し
2 説明が不十分・不親切	4 その他()

問3 - 2 問3 で「3 やや不満」又は「4 不満」と選んだ方にうかがいます。

事務処理のどういう点が不満ですか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

1 待ち時間が長い	3 1か所で用件が済まない
2 申請書がわかりづらい	4 その他()

問4 あなたは、窓口サービスに対して、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

1 職員の対応を良くする	5 インターネットなどから自宅で申請・交付ができるようにする
2 事務処理を早くする	6 出張所の取り扱い業務を増やす
3 1か所で複数の用件が済むようにする	7 その他()
4 申請書をわかりやすくする	

広聴について

問5 あなたは、もし市政に対して個人的に苦情や要望などをお申し出になるとしたら、まずどのような方法を選びますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

1 市役所に電話する	6 町内会、自治会の役員を通して話す
2 直接、市役所に出向いて話す	7 市議会議員を通して話す
3 オンブズマンに申し立てる	8 新聞などに投書する
4 「市長市政懇談会」に参加する	9 その他()
5 「市長への手紙・ファックス・メール」を利用する	

市民相談について

問6 市では、専門家による様々な無料相談を行っています。あなたは、どのような相談を利用したい（または充実してほしい）と思いますか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 弁護士や司法書士などによる法律相談 | 7 女性を対象とした困りごと相談や法律相談 |
| 2 人権に関する相談 | 8 消費生活に関する相談 |
| 3 行政に対する苦情や要望の相談 | 9 就業や職場環境に関する相談 |
| 4 税理士などによる税金や年金に関する相談 | 10 教育や子育てに関する相談 |
| 5 土地・建物の登記に関する相談 | 11 病気や精神保健に関する相談 |
| 6 住宅やマンションに関する相談 | 12 その他（ ） |

情報公開・個人情報保護制度について

問7 市では、市民の皆さんの知る権利の保障として公文書の開示を求めることができる情報公開制度や、個人の権利利益を保護するための個人情報保護制度を設けていますが、あなたは、今後、情報公開制度を利用してみたいと思われませんか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 是非利用してみたい | 3 利用したいとは思わない |
| 2 機会があれば利用してみたい | 4 制度があることを知らない |

市政情報について

問8 あなたは、市政に関する情報や、市が実施するイベント情報などを知りたい場合、どのような方法を選びますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1 広報にいざを読む | 5 出張所や公民館に行ったり電話をしたりして、直接問い合わせる |
| 2 市のホームページを見る | 6 電子メールを使って問い合わせる |
| 3 携帯電話用の市のホームページを見る | 7 情報公開制度を利用する |
| 4 市役所に行ったり電話をしたりして、直接問い合わせる | 8 その他（ ） |

問9 あなたは、日常生活の中で、市政に関するどのような情報が必要ですか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1 防災・防犯や交通安全などに関する情報 | 10 消費生活に関する情報 |
| 2 ごみの収集などに関する生活環境情報 | 11 市の施設などの活動や利用に関する情報 |
| 3 都市計画に関する情報 | 12 スポーツ・レクリエーションに関する情報 |
| 4 福祉・健康・医療などに関する情報 | 13 観光に関する情報 |
| 5 税金・年金・健康保険などに関する情報 | 14 地域サークル活動に関する情報 |
| 6 子どもの教育に関する情報 | 15 イベントに関する情報 |
| 7 生涯学習に関する情報 | 16 その他（ ） |
| 8 文化財・歴史に関する情報 | |
| 9 市民活動（ボランティア・NPOなど）に関する情報 | |

問10 今後新座市のホームページで利用したい情報・サービスはどれですか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 講座・講演などイベントの参加申込み | 4 電子申請・届出サービス |
| 2 住民票や税の各種証明書の請求 | 5 その他() |
| 3 公共施設の予約申込み | |

問11 あなたは、市政情報の提供に関して、今後、市がどのような点に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | |
|---|
| 1 広報紙やパンフレットなどの充実 |
| 2 ホームページなどインターネットを活用した情報提供 |
| 3 ケーブルテレビを通じた情報提供 |
| 4 地域に出向いて説明会を行うなど、市職員による積極的な広報活動 |
| 5 公民館や出張所の公共施設に情報端末を設置するなど、身近な地域拠点を活用した情報提供 |
| 6 その他() |

学校教育について

問12 あなたは、新座市の学校教育を更に行き届いたものにするためには、市が特に何に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1 教員の指導力の向上 | 9 道徳教育の充実 |
| 2 基礎的、基本的な学習内容の定着 | 10 障がいのある児童生徒の支援の充実 |
| 3 考える力、探求する力の育成 | 11 いじめ、不登校対策の充実 |
| 4 社会体験、自然体験の充実 | 12 部活動の充実 |
| 5 善悪を判断できる力の育成 | 13 学校施設、設備の充実 |
| 6 耐える力、がんばりぬく力の育成 | 14 英会話や英語活動を中心とした国際理解教育の充実 |
| 7 基本的な生活習慣の徹底 | 15 その他() |
| 8 教育相談の充実 | |

人権について

問13 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 女性 | 8 刑を終えて出所した人 |
| 2 子ども | 9 犯罪被害者など |
| 3 高齢者 | 10 インターネットによる人権侵害 |
| 4 障がい者 | 11 拉致問題 |
| 5 同和問題 | 12 その他() |
| 6 在日外国人の問題 | 13 特になし |
| 7 HIV感染者、ハンセン病・元患者など | |

環境問題について

問 14 あなたが、環境問題について、特に関心のある項目はどれですか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

1 地球の温暖化	7 騒音、振動、悪臭などの公害問題
2 オゾン層の破壊	8 熱帯林の減少
3 酸性雨	9 砂漠化
4 大気汚染	10 その他()
5 海洋汚染・水質汚濁	11 環境問題に関心はない
6 生態系の破壊	

問 15 あなたが環境に関する施策として、市に望むことはなんですか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

1 地球温暖化対策などの地球環境保全のための取組	7 安全で快適な道路環境などの整備
2 ごみの減量やリサイクル	8 身近な自然や生態系の保全
3 大気、水、土壌などの汚染防止対策	9 有害鳥獣などの動物対策
4 騒音、振動、悪臭などの公害対策	10 環境活動団体(ボランティアなど)の支援
5 化学物質(アスベスト、ダイオキシンなど)による汚染の防止	11 環境を守るための法・条例などの整備
6 不法投棄防止や清掃活動などによる美しい街並みの形成	12 環境教育の促進
	13 環境情報の整備と公開
	14 その他()

問 16 あなたが、環境に負荷をかけないために実践していること、心がけていることはありますか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

1 必要のない照明や見ていないテレビは消している	11 自動車はハイブリット車などの低公害車を使用している
2 冷暖房を使用する際は、適正温度に設定している	13 再生紙など、リサイクル製品を選んで購入している
3 排水口に油を流さない	14 ごみ減量のため、詰め替え商品を選んで購入している
4 ごみの分別を徹底し、リサイクル資源として出せるものは資源ごみに出している	15 ソーラーシステムなどの自然エネルギー利用型施設を自宅に設置している
5 風呂の残り湯の再利用や、蛇口の水を出しっぱなしにしないなど、節水に努めている	16 高効率給湯器を自宅に設置している
6 洗剤を適量使用している	17 夏季に室内温度を下げるために、自宅に緑のカーテン(壁面緑化)を設置している
7 生ごみの水きりをしている	18 環境保全のために、ボランティア活動などの地域活動をしている
8 電気機器などは省エネタイプを選んで購入している	19 環境関連のイベントに参加している
9 車の利用を控えるために、徒歩・自転車・バス・電車などを利用している	20 その他()
10 自動車に乗るときは、アイドリングストップなどのエコドライブをしている	21 特にない

地域の商店街について

問17 あなたは、身近な商店街で買い物をするか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 よく利用する | 3 ほとんど利用しない |
| 2 ときどき利用する | 4 まったく利用しない・近くに商店街がない |

問18 あなたが、商店街（商店会）に求めるものは何ですか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 柔軟で細やかなサービス | 6 安くて安定した価格 |
| 2 地域住民とのコミュニケーション | 7 安全で清潔な環境 |
| 3 豊富な商品知識や専門性 | 8 駐車場などの施設整備 |
| 4 地域の特産やオリジナル商品 | 9 お祭りやイベントによるにぎわい |
| 5 大型店に負けない豊富な品揃え | 10 その他 () |

市民参加について

市では、新座市自治憲章条例に基づく連帯と協働によるまちづくり、様々な市民参画の仕組みづくりを進めています。そこで、お尋ねします。

問19 市政への市民の皆さんの参加の仕方には、市の計画策定への参加や環境美化などの地域活動、ボランティア活動への参加など、様々な形態がありますが、あなたは、これらの市民活動に参加してみたいと思いますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 積極的に参加したい | 3 参加したいとは思わない |
| 2 きっかけがあれば参加したい | |

問20 あなたが市政に参加するとしたら、どのような形で参加しますか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1 市の計画づくりの作業やその課程に参加する |
| 2 市が開く事業説明会や懇談会などに参加する |
| 3 町内会・自治会の活動に参加する |
| 4 ボランティア活動やNPOの活動に参加する |
| 5 手紙や電話、電子メールなどで直接意見を提出する |
| 6 その他 () |

問21 市政への市民参加を進めるために、どのような点に力を入れたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んで、をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 地域活動などの情報を積極的に提供する。 |
| 2 地域活動や市民活動を担う人材の育成を進める。 |
| 3 市の計画策定や事業への参画（ワークショップなど）を広げる。 |
| 4 市民が自主的に取り組むまちづくり活動を支援する。 |

問22 あなたは、今後、地域活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいと思いますか。次の中からいくつでも選んで、をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 町内会や自治会の活動 | 9 高齢者や障がい者に対する福祉活動 |
| 2 子ども会やPTAの活動 | 10 自然環境の保全に関する活動 |
| 3 老人クラブの活動 | 11 人権擁護に関する活動 |
| 4 地域の清掃や緑化運動 | 12 文化財を守る活動 |
| 5 祭りやイベントなどの催し | 13 国際交流や国際協力に関する活動 |
| 6 防犯、防災、交通安全に関する活動 | 14 その他() |
| 7 文化、スポーツ、学習活動の指導や助言 | 15 参加したいと思わない |
| 8 青少年の健全育成に関する活動 | |

問23 あなたは、市民の皆さんの地域活動に対して、市がどのような支援をすればよいと思いますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 様々な市民活動やボランティア活動を紹介する |
| 2 会議や研修などに利用できる場所を提供する |
| 3 組織づくりや活動運営について相談窓口をつくる |
| 4 リーダーなどの人材育成を行う |
| 5 活動団体やグループ間の交流や意見交換の機会をつくる |
| 6 活動団体やグループが活動するために役立つ行政情報を提供する |
| 7 活動団体やグループに対する経済的支援を行う |
| 8 活動の成果が行政に反映されるような仕組みをつくる |
| 9 市が中心になって、活動団体やグループづくりを行う |
| 10 市民の自主的活動に市があまり関与しないほうがよい |
| 11 その他() |

地下鉄の延伸について

問24 都市高速鉄道12号線(都営大江戸線)の練馬区大泉学園町までの延伸が計画されていますが、市では更に新座市方面に延伸を図るため、所沢市・清瀬市・練馬区と協議会を設立し、延伸促進のための活動に取り組んでいます。あなたは、このような地下鉄延伸のための市の取り組みをご存知ですか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問25 市では、地下鉄12号線の延伸について、大泉学園町から関越自動車道の北側を北上し、市内に2駅設置して東所沢駅へ向かう路線を要望しています。あなたは、地下鉄12号線を延伸することについて、どう思いますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 ぜひ延伸してほしい | 3 延伸する必要はない |
| 2 できれば延伸してほしい | 4 どちらともいえない |

スマートインターチェンジの設置について

問26 市では、関越自動車道新座料金所の北側に、既設の道路（志木街道・水道道路・片山県道など）に接続できるスマートインターチェンジを設置することについて、調査・研究を進めています。

あなたは、このようなスマートインターチェンジの設置のための市の取り組みをご存知ですか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

1 知っている

2 知らない

問27 あなたは、市内にスマートインターチェンジを設置することについてどう思いますか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

1 ぜひ設置してほしい

3 設置する必要はない

2 できれば設置してほしい

4 どちらともいえない

新座市らしさについて

問28 あなたにとって、新座らしさを感じるものは何ですか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

1 武蔵野の面影を残す雑木林

11 総合運動公園のお花畑（菜の花・ひまわり）の景観

2 野火止用水

12 都市計画道路が整備された沿道（新座中央通り、ひばり通りなど）の街並み・景観

3 平林寺とその境内林の景観

13 区画整理で整備された新座駅周辺の街並み・景観

4 平林寺半僧坊大祭

14 大和田氷川神社夏まつり（裸みこし・大和田ばやし）

5 新座阿波踊り大会

6 新座市民まつり

7 “すぐそこ新座”春まつり・ひまわりまつり

8 栄緑道と桜並木

9 黒目川・柳瀬川の水辺景観

10 湧き水「妙音沢」の水辺環境

15 新座市に特別住民登録をした鉄腕アトム

16 その他（ ）

新座市のイメージについて

問29 現在の新座市は、どのようなイメージのまちだと思いますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください。

1 歴史と文化、伝統のあるまち

9 発展を続ける活力あるまち

2 水と緑に恵まれた自然環境豊かなまち

10 都心に近い便利なまち

3 文化活動、イベントなどの盛んなまち

11 都市として整備されたまち

4 農業の盛んなまち

12 人情味にあふれた親しみのあるまち

5 工業の発展したまち

13 イメージの薄いありふれたまち

6 商業のにぎわいのあるまち

14 その他（ ）

7 暮らしやすい生活環境、施設の整ったまち

15 わからない

8 教育や福祉、医療の充実したまち

問30 これからの新座市はどのようなまちになっていけばよいと思いますか。次の中から3つまで選んで、をつけてください

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 歴史と文化を活かしたまち | 9 教育環境の充実したまち |
| 2 自然環境との調和がとれたまち | 10 ひとにやさしい福祉を重視したまち |
| 3 文化活動とイベントなどの盛んなまち | 11 新しい産業をおこす活力あるまち |
| 4 農業との調和を大切にしたまち | 12 レジャー、スポーツ施設などが整ったまち |
| 5 研究所や工場の立地を活かしたまち | 13 地域活動がさかんな親しみのあるまち |
| 6 商店街が便利でにぎわいのあるまち | 14 個性的で先進的なまち |
| 7 大規模商店があるにぎわいのあるまち | 15 道路など都市の基盤が整ったまち |
| 8 快適な住宅地が広がるまち | 16 その他() |

市政への要望について

問31 あなたが、市の施策で満足しているものはどれですか。また、今後、力を入れてほしいと思うものはどれですか。それぞれについて次の中から5つまで選んで、下の の中に番号を書いてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| (都市基盤) | (商工業・農業振興、消費生活) |
| 1 道路拡幅、歩道設置などの道路整備 | 20 消費者保護の充実 |
| 2 駅周辺の整備 | 21 農業の振興 |
| 3 街並み景観の整備 | 22 商工業の振興 |
| 4 公園の整備 | (生涯学習・スポーツ、教育) |
| 5 区画整理の推進 | 23 スポーツ施策や内容の充実 |
| 6 下水道の整備 | 24 生涯学習・文化・芸術施策の充実 |
| 7 緑地、雑木林などの自然環境の保全 | 25 学校教育の充実 |
| 8 野火止用水や河川の水辺空間の整備 | 26 就学前教育の充実 |
| (交通、防災、防犯、公害) | 27 青少年の健全育成の推進 |
| 9 バス路線などの公共交通網の整備 | (自治と連帯) |
| 10 信号機などの交通安全対策の充実 | 28 行財政効率化の推進 |
| 11 ごみ減量や資源のリサイクル対策の推進 | 29 男女共同参画施策の推進 |
| 12 防犯対策の充実 | 30 国際交流などの国際化施策の推進 |
| 13 地震などの防災対策の推進 | 31 集会所整備などの地域コミュニティ活動支援施策の推進 |
| 14 騒音などの公害対策の推進 | 32 市政への市民参画の推進 |
| (福祉、保健) | 33 ITを活用した情報化施策の推進 |
| 15 地域福祉の充実 | 34 観光都市づくりの推進 |
| 16 高齢者福祉の充実 | |
| 17 児童福祉の充実 | |
| 18 障がい者福祉の充実 | |
| 19 健康診査などの保健予防医療対策の充実 | |

満足している施策
(番号を記入してください)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

これから力をいれてほしい施策
(番号を記入してください)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

あなた自身のことについて

問32 あなたの性別は。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問33 あなたの年齢は。

- | | |
|--------|---------|
| 1 20歳代 | 4 50歳代 |
| 2 30歳代 | 5 60歳代 |
| 3 40歳代 | 6 70歳以上 |

問34 あなたがお住まいの地域は。

- | |
|--------------------------------|
| 1 北東地域(東北、北野、東、野火止5～8丁目、畑中3丁目) |
| 2 北西地域(新座、中野、大和田) |
| 3 東部地域(栄、池田) |
| 4 中央地域(畑中1～2丁目、馬場、野火止1～2丁目) |
| 5 西部地域(野火止3～4丁目、菅沢、あたご) |
| 6 南部地域(堀ノ内、道場、片山、石神、野寺、栗原) |
| 7 南西地域(本多、西堀、新堀) |

問35 あなたのご職業は。

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1 自営業(農業、商店、工場などの経営者) | 6 学生 |
| 2 会社員 | 7 家事従事者 |
| 3 教員・公務員 | 8 無職 |
| 4 会社・団体などの役員 | 9 その他() |
| 5 パートタイマーなど | |

問36 あなたの新座市の居住年数は。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 3年未満 | 5 15以上20年未満 |
| 2 3以上5年未満 | 6 20年以上 |
| 3 5以上10年未満 | 7 生まれてからずっと |
| 4 10以上15年未満 | |

問37 あなたがお住まいの住宅は。

1 持ち家(一戸建て)	5 社宅
2 持ち家(分譲マンション)	6 間借り、寮、住み込み
3 民間賃貸住宅	7 その他()
4 公営賃貸住宅	

問38 あなたの家族構成は。

1 単身世帯(ひとり暮らし)	4 三世帯世帯(親と子と孫など)
2 一世帯世帯(夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ)	5 その他()
3 二世帯世帯(親子など)	

問39 あなたの通勤・通学先は。

1 自宅(農業、自営業など)	4 東京都
2 市内	5 その他
3 埼玉県内の他市町村	6 通勤・通学はしていない

これで調査は終わりです。最後に、これからの新座市のまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

(新座市をこんなまちにしたい、こんな施策に取り組んでほしいなど、あなたのお考えをお書きください。)

お忙しいところ、調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、平成21年2月27日(金)までに返送してください。

**第12回 新座市民意識調査
報告書**

発行日 / 平成 21 年(2009 年)3 月

発 行 / 新座市企画総務部秘書広聴課

〒352 - 8623

新座市野火止一丁目 1 番 1 号

電話 048-477-1111 (代表)

調 査 / 株式会社 ぎょうせい

東京都江東区新木場一丁目 18 番 11 号

電話 03-6892-6659 (代表)



再生紙を使用しています。